

## 12月28日(月)晴・15/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月28日(月)08時59分12秒

2020

日記は今日で終了。  
一年、ご愛読、有難うございました。  
良いお年をお迎え下さい。

写真・上 上高地(2月)  
・中 御嶽山(8月)  
・下 経ヶ岳





## 12月26日(土)晴・12/38

[返信・引  
用編集  
済](#)

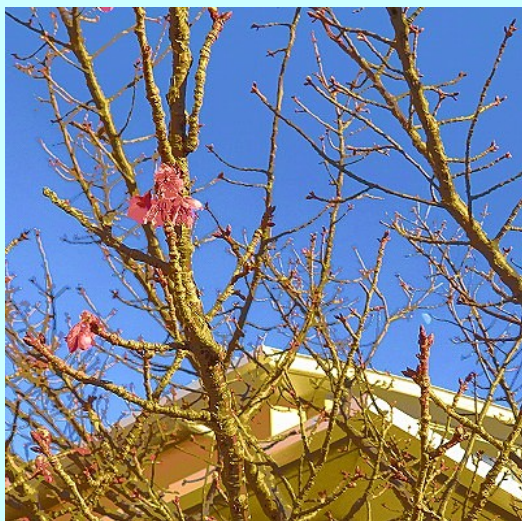
投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月26日(土)06時55分7秒

先日、

伊豆ウオーキングで、旧土肥小学校に寄って、  
「土肥桜」の開花を確認した。

開花はわずかで数輪。  
花は大きくなく小さい。

それでも開花は開花。  
1月末が楽しみです。





## 12月25日(金)10/50

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月25日(金)06時27分12秒

今年も

大詰め。しかし、余り切迫感はない。自由人故か。  
今年の登山は、来週で50回。  
コロナの割には多かった。近年、50回はなかった。

ただ、宿泊登山は少なかった。ま、コロナを考えれば  
仕方がないか。先日、黒戸尾根を上って、七条小屋に宿泊の  
友人は、シュラフ・食料持参が宿泊条件だったという。  
どこもコロナ対策で必死だ。

200名山は、大日ヶ岳・経ヶ岳・武甲山に上った。  
200は、まだまだ厳しい山が残っている。来年は、  
楽しみつつ上りたい。

伊豆巡礼は順調だった。酷暑の休講はあったが、特に  
大きな事故もなく無事終えた。オプションの第二回・  
小豆島お遍路は、コロナで春実施が秋に延期されたが、  
順調に終わった。

伊豆ウォーキングは、2018年4月から約2年半で今月  
完歩・結願・満願成就した。参加者は、平均15名程度  
だが、完歩は1名だった。2年以上の行事で、全て  
参加は、なかなか難しいもの。

ほか、念願の四国お遍路報告書を年内に編纂終了と考えて  
いたが結局、多忙・欲が出て、来春に持ち越しとなった。  
ま、時間を掛けて良いものをのスタンス。

そんなこんなで今年も静かに終わる。





[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 12月24日(木)9晴・9/53

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月24日(木)07時02分36秒

昨日は、

12月度・伊豆一周ウォーキングで下田・爪木崎した。  
同時に、2018年4月25日から二年半続いたウォーキングの  
最終回でした。

当初の計画は、柿田川公園～源兵衛川～三嶋大社の予定でしたが、  
爪木崎のスイセンがよいで、急遽、計画変更になりました。

今回は、ウォーキングがないので、ユックリ出発。まず、修善寺  
JAに寄って農産物の買い物。天城峠を越えて、爪木崎着。風が  
なく陽光が溢れ気温は高い。

無料駐車場から少し歩いてスイゼン畑着。スイセンは、場所に寄って  
咲き方に差はあるが、おおむね花盛り。周囲には、いい香りも漂って  
いた。

灯台まで歩きバスで無料駐車場に戻り昼食。今回は、女子班が  
「スイトン(スイセンでない・笑い)入りお汁粉」を作ってくれた。  
無風・高温の有り難い環境下で皆さん、舌鼓を打った。お汁粉は、  
久しぶりだが、小豆が美味しかった。

2年半で女子班は、都合3回料理を提供してくれた。下田・青野川、

お花見は＝豚汁、大室山・桜公園＝お汁粉、そして今回。手間・労力と面倒だが、いつも奮闘をいただき感謝・感謝でした。

午後は、蓮台寺・金谷旅館＝千人風呂で温泉もあったが、コロナで断念。婆沙羅峠を越えて松崎に入り、梅月園でスイーツの買い物を済ませ、西海岸を土肥に向かった。

土肥では、旧土肥小学校の早咲き「土肥桜」を確認した。まだまだ、数輪だが、確かに開花していた。余りに早いのは、11月の高温が影響したのだろう。隣の清雲寺は、初めて訪れましたが、なかなか立派なお寺でした。日蓮の板絵は一見のお価値があるそうです。

そんなこんなで、伊豆ウオーキングは無事終了。数々のトラブルもありましたが、大きな事故がなく幸いだった。1月からは、新たに、「富士山一周ウオーキング」が始まります。





## 12月23日(水)晴・9/52

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月23日(水)05時31分10秒

つづき

(追伸)昨日、書き忘れたが、頂上で会員のMさんが谷峨駅から上って頂上で合流した。Mさんは、義母がデイサービスに行くので、9時前は家を出られない。この日、義母を送り出してから、はせ参じた。その情熱に敬意を感じた。

兎に角、寒かった。高山の冬山でも、こんな寒さはあまりない。しかし、誰一人「帰ろう」をいう方はいない。理由は、「空腹でお腹を満たしたい」だった。

しかし、この極寒の中で二名の方が、しっかり「ビア」をやっているのには驚いた。私も持参したが、さすがに躊躇した。やっとモチも焼けノリを巻いて、一人一個振舞った。カップラーメンを持参したお湯で流し込んだ。ゲストは何とか、ぬるい鍋焼きうどんを食べた。

この寒さの原因は、雪が舞う気温もあるが、風だった。風は気温より寒さを感じさせる。それでも粘りに粘って1時間の昼食だった。頂上で記念写真で下山。

ところが、下山してすぐのトイレ付近まで下ったら、何と風が全くなく、朝食場所より寒くはなかった。風は東からだったが、

樹木があり遮られていた。場所の選択がまずかったと反省。

下山の谷峨道は、階段は多いが、自然道で山北道より、はるかに良かった。遅い時間だったが、多くの方が上って来る。谷峨駅で電車の時間があったので、頂上で作れなかったお汁粉を振舞った。ローカル駅は有り難い。

この日は、長い林道、極寒の昼食だったが、長く記憶に残る山になるだろう。おわり





## 12月22日(火)晴・8/44

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月22日(火)05時57分46秒

つづき

炭焼き小屋を後にした。先に林道から上がる登山道があった。山北駅にあった通行止めの看板が下がっていた。二か所崩壊してるようだ。

無視して上ったが、すぐ上に再び通行止めのトラロープ。山の会だけなら突破だが、今回は一般の方が二名参加している。結局、おとなしく林道に行くことにした。

下山後、山レコを見たら、何とか通行できた報告があった。今回は、大野山だからで事前調査をしなかった。仮に報告を見ていたら、突破しただろう。ただ、林道コースは初見でそれなりに新しい発見があった。それはそれで収穫だった。

林道は長かった。上からゾロゾロ多くの方が下って来る。この登山者は、谷峨→山北だろうか。ま、首都圏の方はそうかもしれない。我々、静岡は山北→谷峨である。

途中、工事中だが立派な「かやぶき」の民家があった。周りは人家が多かった。大野山上部に、こんなに人家があるのは知らなかった。半分くらい別荘だろうか。確かに日当たりは良好で、晴れていれば富士山は大きい。

林道を上り切り、いよいよ登山道かと思いきや、結局、車道はほとんど頂上まで続いていた。予定より30分プラスだった。時間は、すでに12時近く、多くの登山者が昼食中だった。

展望は素晴らしい。ただ、雲が多く、富士山・丹沢の山はハッキリしない。しかも、風があり寒い。陽だまりを期待して来たがガッカリ。とにかく、空腹なのでベンチで昼食。

そうこうするうちに、何と「雪が舞って」来た。手がかじかんで調理が出来ない。低温でガスが十分噴出せず、熱燗が冷たかった。モチがなかなか焼けなかった。

つづく



## 12月21日(月)晴・10/40

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月21日(月)06時03分15秒

土曜日は、

忘年山行で、西丹沢・大野山(723m)でした。  
コースは、山北駅～洒水の滝～大野山登山口～共和小学校跡～  
林道～大野山～谷峨駅。  
天気＝曇り(頂上は雪が舞い極寒だった)。参加＝5名＋1名

2020忘年山行。久しぶりに御殿場線で行く。御殿場線は、  
私が登山を始めたころは、蒸気機関車だった。電化は昭和43年  
(1968年)だった。

その件を初参加のIさん・Hさんに話したら、ちょっと驚いたようだ。  
当時、岩波・富士岡には、スイッチバックがあって、御殿場まで、  
1時間掛かった。

山北駅で下車。駅に登山道崩壊で通行止めのビラがあって気になった。  
朝の挨拶。今回は先日、裾野広報で募集した前述の2名が初参加。  
洒水の滝に向かう。

洒水の滝の落差は、69m＋16m＋29m＝114mという。  
以前、夏に来た時は、女性が白衣で水行をしていた。冷たくて  
5分入るのがやっとという。

滝は工事中で核心部まで行けなかった。ただ、数年前の前回も工事中  
だった。去年の台風の影響かも知れないが、随分、長い工事だ。それに  
しても見事な滝である。

踵を返し大野山登山口に向かう。高くない山だが、結構な急坂が  
続く。古宿の集落には、凝った人形が出迎えてくれた。集落の外れに  
前回も頂いた「ユズ」の大木がある。

頂上の料理に利用しようと、少しだけ頂いた。登山道分岐手前で  
地元の方が炭を焼いて出釜をしていた。雑炭で畑に蒔くそうだ。炭が  
畑に有効は初めて聞いた。

つづく



## 12月18日(金)晴・10/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月18日(金)08時01分6秒

昨日は

富士山・ニッ塚でした。  
今季、初雪山。  
雪の感触が嬉しかったです。



## 12月17日(木)晴・10/42

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年12月17日(木)06時05分27秒

先日

塩ノ山登山時、塩山市内で見た花。  
ツバキ??サザンカ??

調べたら、サザンカのようにです。  
それにしても、凄い。





## 12月16日(水)晴・9.8/50

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月16日(水)05時17分44秒

今朝は、  
室内で9.8度と今季一番の寒さだった。

昨日の富士山は、笑ってしまった。  
最初、富士山におかしな雲が掛かっていると思った。

しかし、よく見ると雲でなかった。  
雲と思ったのは、雪だった。

あんな片肺みたいな雪を見たことは記憶がない。  
TVでは、雲が御殿場方面しか発生しなかったため、  
と言っていた。

それにしても、おかしな雪でした。





## 12月15日(火)晴・14/50

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2020年12月15日(火)08時37分19秒

### 狛犬

狛犬（こまいぬ）とは、獅子や犬に似た日本の獣で、想像上の生物とされる。

像として神社や寺院の入口の両脇、あるいは本殿・本堂の正面左右などに一対で向き合う形、または守るべき寺社に背を向け、参拝者と正対する形で置かれる事が多く、またその際には無角の獅子と有角の狛犬とが一対とされる。



飛鳥時代に日本に伝わった当初は獅子で、左右の姿に差異はなかったが、平安時代になってそれぞれ異なる外見を持つ獅子と狛犬の像が対で置かれる

ようになり、狭義には後者のみを「狛犬」と称すが、現在では両者を併せて

犬と呼ぶのが一般化している・・・ネット

## 武甲山の狛犬

横瀬町の武甲山の登山道入り口（表参道）に2対居ます。

狛犬は向かって左側の方が「阿」形で右側が「吽」形です。

歳はとってもまだまだ若いモンには負けないぞ！という感じの狛犬です。

昭和二年（1927）奉納

向かって左側「吽」形、顔が苔で覆われてしまっています。

苔を落としてやりたいが勝手にやってよいものなのか？・・・

そのままにしておいた。

・昭和十四（1939）年奉納

武甲山山頂の御嶽神社に居る狛犬（狼型）。

愛嬌あります。

首から上だけを見ると恐竜みたいな顔。

優しいような顔だから草食恐竜かな。・・・ネット





## 12月14日(月)晴・風 15/50

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年12月14日(月)06時16分28秒

深山日本百名山

で、全て冬上った方がいる。

福岡大学つ山岳部・新開忠孝氏。年齢は72歳。私と同じくらい。  
2010年、62歳から始め、8年掛かった。

「冬山」の定義は、ヨーロッパなどは、冬至日から春分の日前日  
だが、氏は(日本)は、12月1日から3月31日としている。

ただ、昨今の温暖化を考えると、春分の日から31日までの

10日余は、ちょっと「冬」と呼ぶには、微妙な10日間。

ちなみに、その時期に上った山は、10峰ある。幌尻・薬師・白山・飯豊・五龍・白馬・越後駒・利尻・妙高・美しヶ原。いずれにしても厳しい山だが、それにしても他の、90座は、「正しい冬」上っている訳で、全体の価値が落ちる訳ではない。

ちなみに私は、36座しかなかった。夏の百名山は、多くの方が夢中で上る。(ただ、全ての方が、深田と同じコースではない)

冬は真の山岳が存在する。そこを上るのは稀有。素晴らしい偉業だ。冬の百名山をおとした方が現れたことは、大いなる驚異と同時に、仲間として大きな喜び。共に祝福を捧げたい。





沢海（たくみ）から展望台に上がると、御浜岬（みはま）が大きく美しかった。

時間がまだあるので、更に頑張る。結局、井田への降り口まで歩いた。私は

何故か「力が余っていた（??）」ので、最後は走ってしまった。（´艸`）

二年以上続いた伊豆巡礼は、2月に3名結願（けちがん）する。長い長い2年だった。

おわり





## 12月10日(木)晴・18/50

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月10日(木)06時42分23秒

昨日は

12月度・伊豆巡礼でした。

巡路は、土肥・86番安楽寺～小土肥～舟山～舟山峠（仮称）～戸田・87番

大行寺～井田入り口。天気＝曇り、距離＝約15km、参加＝13名。

先月、最終の土肥・安楽寺から出発。天気は曇り。

旅人峠から小土肥に入り、ショート・カットで県道を渡る。

余りに暑いので着替えをした。ところが人数が3名少ない。

トイレ時、はぐれたようだ。この日は、サポーターのKが休みでラストの点検がなかった。2名はすぐ分かったが、Nさんが行方不明。県道を左に行くべき所を右に下ってしまったようだ。

すぐバスに連絡して、拾ってくれるよう依頼。しかし、そのバスが道路を歩いている会員を見落として拾えず、再びUターンして拾いに行った。

全員結集して再び出発。舟山手前で休憩。ここでTさんが、「ワビスケ」の枝を採取。家に植えるとのこと。道路工事を経て、戸田への峠道に入る。11時過ぎで、昼食を何処でと迷ったが、結局、持参で行く。

峠道を20分程上ったが、Nさんが不調。「気持ちが悪い」という。ちょっと良くない状態。すぐバスを呼ぶが既に戸田・道の駅に行ってしまった。すぐ来て貰う。携帯が通じて良かった。Nさんをバスに乗せ、峠を越える。

路が酷かった。全く手入れナシ。樹木が散乱し、汚れた落ち葉が堆積していた。看板は新しいのだが、整備まで予算がないのか。西伊豆歩道で売り込んでいるので、慣れない方が歩いたら大変なことになる。

つづく



## 12月8日(火)晴・15/58

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月8日(火)06時52分34秒

つづき

駐車場から妻坂峠に向けて出発。駐車場には多くの登山者がいたが、峠経由は他にいなかった。峠まで標高差約338m=1H。路は古の雰囲気を残したもので、実に感じが良かった。

高度が上がり峠が近づくと、風がゴーゴー騒ぎだした。峠はどうやら、風の通り道のような。すぐ上っ張りを着込んだ。峠から大持山(1294m)に向かう。

急登りを過ぎると、イイ感じの自然林が延々と続いた。路もイヤに幅広く、昔は牛馬が通ったのだろうか?? 大持山着。樹木が多く展望はスッキリしない。ただ、この後、すれ違った地元の方の話では、「富士山が見える」だったが、展望場所は気が付かなかった。

大持山から小持山は、小さなアップダウンが続いた。難しくない岩場もあった。反対側の武甲山方面から何人かやって来た。いつも思うが、周遊登山の場合、右・左周りは、どのように決めるのか興味がある。

今回の場合は、我々のコースはゼロ。反対の武甲山からは、10名以上いた。愛鷹連峰・越前岳なども、割石峠を上る時計回り、割石沢を下る反時計回りがある。私の思いは、最後にそのコースの最高峰を上って下る、というのがポリシーだが、皆さんの思いは不明。

小持山から、穏やかな路を経て、最低コルの「シラジクボ」着。コルから標高差約200mの上りで、武甲山に向かった。

つづく







## 12月7日(月)晴・15/58

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月7日(月)04時54分10秒

金曜日

・土曜日は、秩父・武甲山（日本二百名山・1304m）、山梨・塩ノ山（553m）でした。天気＝両日晴れ、累計標高差＝1010m、参加＝2名。

朝、車は氷でガジガジだった。秩父は盆地で標高約300m。晴天時は放射冷却がキツイ。

武甲山は「自然破壊」で名をはせた山。セメントの材料の石灰岩

採掘は、明治時代始まったという。山の北側は、大きくえぐられ  
およそ「山」とは呼べない山容に変貌した。

2017年～19年まで三年間、秩父三十四観音巡礼を行った。  
その時、武甲山は常に秩父の街を睥睨していた。同時に早朝から  
ガラガラ、採掘の音が響いていた。

そんな武甲山だが歴史は古く・・・日本武尊が、自らの甲（かぶと）を  
この山の岩室に奉納したという伝説が元禄時代の頃から定着した・・・ネ  
ット  
という。

頂上も本来は、1346mだったが、頂上すら破壊され、現在の  
標高は、三角点が1295m、頂上表記は、1304mである。  
しかし、民間の企業で頂上を破壊するすることが出来るのだろうか？  
そもそも、武甲山の持ち主は、誰・何処のものか。

そんな事を考えながら登山口に到着した。駐車場に鳥居があり  
大きな狛犬が二対、四体あった。真っ黒な「狼」で、今まで  
見たことがない狛犬だった。

つづく





[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 12月3日(木)晴・14/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月3日(木)08時04分10秒

つづき

位牌岳でブナ観察を終え前岳・北尾根を下山。  
尾根は、以前「山オヤジ尾根」とか、ローカルネームで呼ばれていた。

尾根はかなり急だ。上りはいずれにしても、ハイカーには、下りはなかなかキツイ。  
確かにキツイが、ユックリ下れば問題はない。岩場もない。

しかし、今回、下って驚いた。キツイ部分の尾根、標高約300mに固定ロープが完璧に張ってあった。  
ロープもチンケな物でなく、掴みやすい、やや太いものだった。

この規模になると、労力・時間・資金は相当掛かる。  
従って個人では出来ない。組織的なものだろう。  
裾野市の山岳界重鎮・K氏に聞いたら、たぶん須山の振興会??  
ではないかだった。

近年、南ALPSなどでも、かつて聖域とされていた山域に梯子・鎖設置が目立つ。一概に前岳と一緒に出来ないが、山岳が余りに「人工的・公園的」にするのは、いただけない。

南ALPSの場合、我々は、梯子・鎖なしで十分安全にやって来た。  
それを考えれば必要はない。登山のレベルを低下させるだけだ。

前岳は、一度設置したら管理をしっかりしなければならない。  
老朽化し荷重が掛かったら破損したでは、下手をしたら損害  
賠償にもなりかねない。設置した以上、当然、責任が伴うことを  
忘れてはならない。

(日記・2-3日、休みます)



## 12月2日(水)晴・15/44

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月2日(水)07時05分27秒

先日

位牌岳にブナ観察で上った。

下山時、

ところどころに「赤布（実際はナイロン）」があった。

「赤布」は、山のコースの目印で通常、木の枝とかに結ぶ。積雪が多い山域は、夏見ると、遥かに高い位置にあったり、その山域の積雪量が、うかがい知れる。

今回の「赤布」は、枝に結んでなかった。

何と「木ねじ（金属製）」で樹木に留めてあった。

．．．．これはないよね．．．．

と思ったのは、私だけだろうか？

何処の誰がこの赤布を留めたか分からない。

しかし、シカやイノシシではないだろう。

やったのは、やっぱり人間だろう。

自分が体に木ねじを打たれたらどうか。やっぱり痛いだらうね。

今度行ったら、対策を考えましょう。





## 12月1日(火)晴・15/53

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年12月1日(火)04時52分33秒

12月かあ～・・・。

先週、雨が降ったら、庭が「京都状態」??!!になった。  
一雨ごとに、モミジの葉がバサバサと落ちますね。

全て落ち切ると、冬がまじかになる。



## 11月30日(月)晴・14/55

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月30日(月)05時13分35秒

つづき

狩野川堤防を遡り、港大橋を渡り、魚市場着。  
昼食にするが、コロナ問題があり、テイクアウトか入場か  
個人に任せた。

17名中、入場は5名だった。他はテイクアウト。マグロ  
づくし丼を頼んだ。1200ーほどだった。バスで千本公園隣  
に移動して芝生の上でいただいた。トンビが食べ物を狙っている  
らしく、時折、低空飛行をする。

天気は快晴無風。食後は昼寝を楽しんだ。暑いくらいで日傘で  
日陰を作った。ヘリが行ったり来たりで五月蠅い。

午後は、バスで「花月」に寄って、ロール焼き菓子を買った。  
ほぼ、全員が購入。20本くらい出たか。店も驚いた。帰り際、  
主人が飛んできて、お菓子の端っこを二袋持ってきてくれた。  
バス団体ならではであろう。

港大橋から午後の部。香貫の八重坂峠を越え、香貫大橋を  
渡り、柿田川公園着。子供のころは、湧水に入り遊んだ。  
現在はそんなことは絶対できない。

記念写真を撮影し終了。12月は三嶋大社まで歩き、2年の  
「伊豆一周ウォーキング」を終了する。完歩は1名の予定。  
やっぱり、2年完歩は案外難しい。

おわり







## 11月27日(金)晴・17/57

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2020年11月27日(金)06時41分22秒

つづき

防波堤バリゲートを突破して牛伏山公園着。牛臥山の標高は丁度70m。立派な山だ。ババさまが掃除をしていた。キレイなトイレが維持されている。夜間は入場禁止も、キレイな理由かもしれない。

小島でウミウが群れていた。東の香貫山が大きい。オジサンが二人談笑。岬から海岸を回り込むと別天地。車道がなくここまで来る人は少ない。故に良好な環境が保もたれている。

道のない岩場へ進入。潮がだいぶ上がって来た。通過できるギリギリのタイミングだった。足元に不安な方は前に出でよう。「へつり」は、上に上がり、下から下から攻めるのがコツだ。

しかし、5分歩いたら、半分の方は概ね私のルートを辿ったが、半分は、もう上を歩いていた。これではいけない。なるべく水際を歩いたほうが良い。

最後の「へつり」が、やや難しかったが、無事終了。良かった。先の八幡神社に希望者が上った。展望が良かったとのこと。我入道の狩野川河口を遡る。このあたりに、土日は、「我入道渡し」がある。しかし、未だ乗ったことはない。残念。

近くに美味しいお菓子やがあるが、昼食時間が迫っているので、後で寄ることにした。

つづく





## 11月26日(木)晴・18/70

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月26日(木)14時07分5秒

昨日は

11月度・伊豆巡礼でした。  
コースは、狩野川放水路～御用邸記念公園～牛臥山公園～海岸～  
八幡神社～沼津港食堂（昼食）～八重坂峠～香貫大橋～柿田川公園。  
天気＝晴・やや暑い、距離＝約19km、参加＝17名。

前回最終の狩野川放水路から出発。天気は曇りだった。狭い獅子浜  
の道路を進む。時々、裏道を通過する。静かでよろしい。  
道が不明になると地元の方に聞く。朝早いので、年配の方が「海を  
眺めている」シーンが多い。

別に何をする訳ではない。ボーっと眺めているだけだが、それだけでも  
「癒し効果」はあるのだろう。（海を見ていたジョニー（ジョ爺）  
（`艸`）??!!）

江の浦に「津波避難マウント」があった。人工の山だ。上ってみた。  
高さは10mほど。上ってから会員に言われたが、無用な登山は  
ご法度らしい。ま、これもお勉強。

前回、七輪で焼いた美味しい魚をいただいた、「増米」に寄った。  
時間が早く、七輪はまだ準備中で火は入っていなかった。残念。  
店番の若い女性は、申し訳なさそうな顔だった、Aさんが買い物

を済ませた。

県道を避けて海岸沿いの裏道を進む。砂浜が沼津御用邸記念公園を  
経由して、牛臥山公園まで続いていた。砂浜を歩く。やっぱり自然の  
道は気持ちよい。

波は穏やか。ただ、潮が次第に上がって来た。この後、今日のポイント  
の牛臥山海岸をへつる（横歩き）ので、少し気になった。

記念公園の裏口に着いた。公園に入るか入らないか皆さんに聞いたが  
「特にナシ」でパスし、牛臥山公園に向かった。手前は大規模な  
防波堤工事中だった。

つづく





## 11月25日(水)曇・18/70

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月25日(水)05時27分38秒

11月13日つづき

SS, Mさんと合流して清滝山境内に上る。標高は約500mで展望は良い。

詩吟は寺番の方だった。毎日、13番・栄光寺から上ってくるようだ。

寺は立派・大きな岩山の下にある。境内を上った所に、お釈迦様が寝転んでいた。

ただ、多く見られるような横向きでなく、上向きだった。

このようなお釈迦様は初めて見た。境内の奥に大きな不動明王像があった。右側の岩は相当、大きなものだった。

14番から、車道を延々と下り、15番・佛ヶ滝でお勤め終了後、更に車道を下り、

寒霞溪(かんかけい)分岐から、16番・石門洞に上る。ちょっと厳しい上りだった。

上から比較的若い男子が一名降りて来た。

周りは、何とか岩と様々な名称の大岩が林立し

ていた。寺には名称のになっている「石門」があった。かなり大きなものだった。

ここも本堂は岩山内だった。サルが入るので(お参りするの??!!)扉はちゃんと

閉めて下さいと看板が下がっていた。

岩屋内はカビ臭かった。外に車があるので、何方かいるようだ。  
お勤め後、山を下ると途中にバスが待っていた。有り難い。昼食時間なので、ここで  
昼食とした。今日のランチは、「きな粉餅」だった。空腹に美味しかった。

昼食後、再び山を下る。寒霞渓湖を經由して、17番・一の谷庵に向かう。山里の庵で分かりにくかった。でも、雰囲気は良い庵だった。檀家の方が、チェーンソーでお墓の草刈りをしていた。再び下って、16番・極楽寺に向かう。

途中、オリーブを収穫していた。聞けば、実り方。オリーブの種類で化粧用・  
食用とか分かれているらしい。寺は小高い丘の上だった。しかし、実に立派な  
寺だった。

いってみれば「お城のような寺」だった。寺の前面に大きな池が左右にあった。  
池を渡って参道が続き、境内に導かれた。シビれるような寺だった。  
今回はここでお終い。時間はあったが、どのみち、もう一度来ないと終わらない  
ので止めた。

今回の小豆島は終わった。宿の小豆島・国民宿舎に向かう。過去、国民宿舎は  
問題が多かったが、今回はビンゴだった。小高い山上に建ち、展望はサイコー。  
風呂もよかった。3人部屋で二人は、コロナ対策??翌日、帰静した。

おわり





## 11月24日(火)曇・20/47

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月24日(火)06時48分23秒

今日は、昨日と気温は変わらないが、寒く感じる

つづき

スマホ紛失に気が付いたのは、上り始めて1時間後。  
選択肢はいくつかあった。

1. ここから二人で下って探す。
2. ここからGYだけ下って探す。
3. 予定通り歩き、下山後、探す。

1. は、予定のブナ観察ができない。

2. は、GYは初見のコースで支尾根が多く下れない。
3. 時間は掛からないので可能。

結局、予定通り歩き、下山後、探すことにした。  
しかし、GYは、その喪失感で、心穏やかでなかった。  
位牌岳に上り、昼食。

登山者が一人、食事中だった。  
曇りでやや寒かった。  
頂上の観測木・愛称=かがみは、豊作だった。  
下から仰ぐと、枝先に独特の「殻斗（かくと）」が沢山  
見られた。

寒いので下山。途中から段々晴れて来た。  
観察木=10は分かったが、9-1が分からなかった。  
10は看板があるから分かるが、9・9-1は、看板がなかった。  
人為的に外されたかも??!!

前岳の愛称=ちよ、の殻斗は見られなかった。落ちてもしなかった。  
やや、樹木が元気がないので心配だ。  
前岳北尾根を下る。しかし、驚いた。全コースにフィックス・ロープ  
が張られていた。

北尾根は、確かに急でロープがあれば安心だ。しかし、全コースに  
設置は経費・労力・時間が、相当掛かったであろう。I山の会・K  
さんに聞いたら、須山の振興会ではないかの話だった。

無事下山し、再びG尾根を上る。最初の急な沢が怪しいとおもったが  
なかった。尾根も丹念に見たがなかった。ある程度、重くツルツル  
しているので、枯葉の中に潜ってしまったかも……。いずれにしても、  
雲を掴むような感じだった。

喪失感満タンで下山。仕方がない。どうにもならない。せめて機内  
モードでなければ、発信音で発見できたのではないかと、残念だった。  
以後、気を付けるしかない。

私も今年、帽子とストックを忘れた。落とし物ではない。そんなもので  
よかったが、車のカギとか、年齢とともに気を付けなければいけない……。

おわり





11月23日(月)20/67

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月23日(月)06時10分33秒

土曜日は

愛鷹連峰・位牌岳でした。コースは、大沢～G尾根～位牌岳～前岳～山オヤジ尾根～大沢。天気は曇り～晴れ。参加は2名。

目的はブナ観察。わが会のブナ観察区域は、大沢～割石峠～呼子岳～割石峠～鋸岳～位牌岳～前岳。しかし、いつも鋸岳通過が大変。

今回は鋸岳をパスして位牌岳に上った。大沢中ほどの堰堤からG尾根に入る。G尾根は仮称で正式名ではない。堰堤でGYのスマホでルートを確認。この後、大問題が発生。

昨日の大雨で珍しく流れがある大沢を渡り、苔むしたゴロタ石の沢を詰めて進路を左にとり、G尾根に乗る。G尾根は以前何かと利用したが、最近上り下りはなかった。

北面で位牌岳に上るルートは、1. 鋸岳 2. 北尾根 3. G尾根 4. 前岳がある。

1. の鋸岳は前述のとおり厳しく危険。2. はそれほど危険でないが上りが厳しい。3. G尾根は、上りもマアママで位牌も近い。4. は、一番安全だが長い。

結局、G尾根が一番上り勝手がよい。急登だが尾根が踏まれていないのでむしろ上り易い。

しばらく来なかったなので、いくらか藪が増えたような気がした。

1時間ほど上って後ろのGYが、驚くべきことを発した。

「スマホがない」だった。大沢でルートを確認後、チャックのないズボンのポケットに入れた。しかし、急登で膝を上げた際、落ちた??!!かも知れない。

GYは顔面蒼白。エライことになった。実はGYは、先日の小豆島おへんろ

時、高松港で財布をトイレで無くした。気が付いたのが、既にフェリーで小豆島に渡った後で、大騒ぎになった。

結局、誰かいい方が拾い、高松の警察署に届けられた。被害はなかった。

取りに行くのは大変なので、警察に後日、着払いで送って貰った。  
以前も財布行方不明事件があった。最近、歳で集中力が散漫になったか  
・・・??!!

つづく



## 11月20日(金)曇・20/70

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月20日(金)06時36分40秒

山岳会の  
会報「れいほう」12月号を発行しました。  
ご覧ください。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>





[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 11月18日(水)曇・18/69

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月18日(水)07時10分33秒

つづき

ブナ観察は、2000年からだから、ちょうど20年になる。実績表を見れば分かるが、いい年、そうでない年がある。愛鷹連峰の場合、地が火山性で急峻なので土壌は瘠せている。毎年は厳しいかも知れない。

今年、春上った時、開花が沢山見られた。花が咲けば結果、結実は豊富になる。毎年、観察を行うのは、わが子を見るように愛しく楽しい。結果が良ければ嬉しいし、悪ければ落胆する。

越前岳では、同時に頂上西側をロープで仕切って、植生保護を実施している。こちらも19年になるが、当時、丸裸だった斜面は、現在、豊かな植生に変わっている。

いかに登山者の踏み込みがストレスを与えるか実証された。同時に頂上で土壌流失が著しく、ここ20年で平均40cm、最大1mほど減少した。

主因はオーバーユース。余りに登山者が訪れ過ぎた結果だ。赤土で粘土質の土壌は、登山靴に付着しやすい。特に冬は顕著で霜柱でぬかるんだ頂上に登山靴で踏み込むと、土壌が

持ち去られ易い。

私が登山を始めた50余年前の越前岳は、ブナが生い茂り展望はむしろ悪い山だった。頂上に樹木があれば、土壌流失は少ない。

50年前に戻すのは、既に不可能だが、これ以上の流失は何としても防がなければならない。近く土地管理者の裾野市に働きかける予定である。

写真・上、中=2001年越前岳頂上西。樹木はまったくない。  
下=2020年。樹木は多く茂っている。





[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 11月17日(火)晴・18/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月16日(月)06時40分37秒

14日は、

愛鷹連峰・大沢～呼子岳～越前岳でブナ観察でした。  
ブナ観察は、2000年から行っている。  
春は葉の活力度、秋は実の結実度を観察する。  
今回は、結実度。  
ブナも他の植物と同じように毎年、たくさん実は付けない。  
でも、今年は豊作だった。  
ブナが元気で育っていれば、自然環境は平穏ということ。  
それならば、人間界も心配はない。

20年の記録です。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-1-19.pdf>





## 11月13日(金)晴・16/53

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年11月13日(金)07時20分55秒

11月11日つづき

7日＝早朝、宿の窓を開けると、地面が濡れていた。

夕べ、少し降ったようだ。

バスで昨日最終の5番・堀越庵に戻り出発。すぐ、10番・西照庵があった。ご本尊は、珍しい「愛染明王」ご本尊真言は、「オン マカラギャ バゾロシュニシャ バザラサトバ」とやはり、あまり聞いたことがなかった。

この日の目玉は、14番・清滝山の上り。標高差が約450m。



厳しい上りである。アプローチがイマイチ分からなかった。結局、昨日通過した、栄光寺脇からだった。粟地ダムから流れる川を詰めてダムに達した。

脇に老人ホームがあって、丁度、職員が朝の登所だった。「頑張ってください」のエールを受ける。ダムから林道を上る。当初、山道かと思ったが、山道は最後のわずかで、概ね林道だった。寺下に来るとバスで上った、SSとMさんの呼び声が聞こえた。

寺が見えると、寺から朗々と詩吟が聞こえた。後で聞いたら年配の寺番の方の朝のボイス・トレーニングだった。それにしても見事な詩吟だった。

つづく





[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 11月13日(木)晴・15/49

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月12日(木)05時48分36秒

昨日は

11月度・伊豆巡礼でした。巡路は、田子地先～安良里～黄金崎トンネル～バス～黄金崎～バス～黄金崎トンネル～恋人岬～バス～最福寺(昼食)～バス～恋人岬～土肥～安楽寺。天気=晴れ、距離=約20km、参加=16名。

前回最終の田子地先から出発。天気は良く、程よく冷えている。土地の方と朝の挨拶が続く。今回のコースはトンネルが多い。一番の難所は、黄金崎トンネル。約1km。しかも、今回は工事中で、反対車線が右側通行で、モロに後ろから来るので恐ろしかった。

無事抜けて、バスで黄金崎でトイレ休憩。Sちゃんのみ、ソフトクリームを舐めていた。再びトンネル先に戻り巡礼続行。宇久須で「小アジ鮓」店を見たが、営業はしていないか?? 美味しい鮓だったが残念。

恋人岬手前で昼食時間。バスで近くの「最福寺」に向かう。陽光が溢れる、芝生の境内で昼食。空腹で美味しかった。食後は住職の説明で「宝物館」見学。皆様、いたく感動・感心。

午後は少し飛ばす。何としても土肥・安楽寺に着きたい。  
旧道を進み、丸山城跡をパスし、土肥浜着。土肥山川を少し  
遡り寺着。

しかし、驚いた。安楽寺を象徴する、樹齢1000年の大楠の葉  
が所々欠落し、全体的に元気がなかった。昨今の気象変動の影響  
だろうか。何としても頑張っても貰いたい。本堂でこの日最初で最後  
のお勤め。気合を感じる、中々良いお経だった。

記念撮影後、「まぶ湯」を見学して終了。厳しい巡礼だったが、完全  
燃焼の一日でした。合掌。





[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 11月11日(水)晴・15/55

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月10日(火)17時35分52秒

つづき

6日=起床5時、バス発6時35分。バスで昨日最終の常光寺まで行く。  
7番・向庵はすぐ近くだった。

2番・碁石山に向かう。山道に入るところに放置された甘柿が  
たわわに実っていた。

「自然お接待」と勝手に解釈し何個か頂いた。美味しかった。  
荒れた道を上る。一人では気持ちが悪くて歩けないような道。  
この道は、バイパスで上に林道があった。

林道が終わると寺があった。大きな寺だった。入り口に「鳥居」  
があった。右手に巨大な大師像。坂手港を睥睨していた。  
階段を上ると碁石山の岩場が現れた。岩は凝灰岩で八ヶ岳の大同心

の

ような岩がポコポコ出ている。浸食つくされシッカリしているので  
全く問題ない。碁石山の名称はここから来たか。

80歳のSちゃん、83歳の大姉御・Tさんもガンガン上る。  
岩場の途中に見慣れない珍しい花があった。帰って調べたら  
「イワレンゲ」だった。ちょっと、サボテンの花のようだった。  
乾燥に強く岩場を好むらしい。ただ、本州にはない植物。

頂上は433mある。展望が素晴らしい、立派な山だった。記念写真を撮って下山。本堂でお勤め。岩屋が本堂だった。

意外だったが、若い僧侶がいた。昨日の常光寺から毎日上って来るといった。一通のお経を一緒にやってくれた。いつも思うが、本物の僧侶の声は素晴らしい。岩屋だから更によく聞こえた。

山を下る。次の二つの寺も岩屋だった。下りきれば、3番・観音寺。ここで昼食にした。この日は、「温かいラーメン」が美味しかった。

午後は、田の浦庵まで厳しい道だった。そもそも歩かれていないので道は荒れ放題。イノシシの堀っ返しも凄い。予定往復するつもりだったが中止した。庵近くに「本当の岬の分校跡」があった。

昨日の映画村より、静かで余程良かった。分校から、最後の踏ん張り。約4.5kmの車道を古江まで歩く。疲れ切った体にアサファルト道は辛い。15:34、長い一日が終わった。

つづく（日記は、10日に書きました）





[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

## 11月10日(火)晴・16/56

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月10日(火)06時50分21秒

小豆島・お遍路2

4日＝約700kmで高松着。高松ミュージアムに寄り弘法大師の常設展を見学。天保年間の約200年前のご朱印帳があった。また、複製だが大師の筆は見事だった。

65歳以上は無料。唯一未満のGYは300ー支払った。どう見ても65歳以上の感じだが真面目。ただ、この後、彼は「財布紛失」の事件。幸い出てきて、後日、高松警察に着払いで送って貰った。( ;´Д`)

14:20のフェリーは、「危険物運搬」で一般車は乗れず、1H待たされた。おかげで福田着は暗くなっていた。昨年も宿泊した「ちぐさ」は、相変わらず豪華な夕食。またしても、完食できなかった。貸し切りで、一人一部屋だった。枕元に潮騒が聞こえる宿。

5日＝6時朝食。6時33分、宿から歩く。福田港の朝日が見事。天気は良かった。海岸線を進む。静かな播磨灘が見事。途中、大阪城築城時、切り出した城石の残りを見学。小豆島は花崗岩（御影石）の産地。各所に石切り場跡がある。

山を越えて、岡ノ坊で昼食。Kが奮闘した「キノコ汁」がサイコー

だった。今日の宿「ひろきや旅館」はすぐ近くだった。午後は常光寺で終了。

時間は早かったが、次の碁石山が岩山で時間も掛かるので、翌日、見学予定の「24の瞳映画村」に行く。映画村は入場料が高いだけで最悪だった。翌日、行った本当の分校跡のが良かった。宿の「ひろきや旅館」は、温かい、いい宿だった。

つづく





## 11月9日(月)晴・19/63

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月9日(月)06時48分29秒

先週の4～8日まで、

第二回・小豆島お遍路でした。  
天気は全日、雨なし。参加10名。

4日=長泉発4；00—高松—小豆島・土庄（とのしょう）—福田・「ちぐさ」（泊）

5日=福田～86番・当浜庵～8番・常光寺～バス・24の瞳映画村～安田・「ひろきや旅館」（泊）

6日=常光庵～2番・碁石山～3番・観音寺～6番・田ノ浦庵～安田・「ひろきや旅館」（泊）

7日=10番・西照庵～14番・清滝山～20番・佛ヶ滝～16番・極楽寺～小豆島・

「国民宿舎」（泊）

8日=帰静

1. 全体的に天気には恵まれた。
2. コースは、踏まれていないコースもあり、なかなか厳しかった。
3. 清滝山の上りは、標高差約450m。
4. 宿は、全て良かった。
5. 昼食は、Kの奮闘で美味しいものを食べれた。





**11月3日(火)雨・21/70**

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月3日(火)06時51分2秒

[返信・引  
用編集  
済](#)

これはイイ

柑橘類のシーズン。  
毎年、ユズとか絞るのに難儀していた。

探してみたら、実にイイものがあった。  
ジャンボエンチョーにあった。  
価格は、2650ー。

今年は、庭の本ユズが大豊作。  
今まで、こんなに実らなかった。

夏ミカンも温州ミカンも大豊作。  
連鎖しているのだろうか??

おかげで、このところ毎日「ユズ湯」を楽しんでいる。  
「ユズ湯」は、サイコーですね。





## 11月2日(月)曇・18/58

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年11月2日(月)06時31分3秒

つづき

バスで山を下る。県道までかなり下り木負に着いた。昼食時間を過ぎたので、そのままバスで「長浜城跡」に向かう。「長浜城跡」は、近年、沼津市が整備した。標高39mだが、展望は極めて素晴らしい。

空腹で文句をいいながらも階段を上り頂上広場着。いい所だった。北の駿河湾の向こうに富士山が大きい。昼食は美味しかった。暑くもなく寒くもなく、丁度良い。ビアが美味い。食後、15分程昼寝。ますます気持ちよい。ただ、女性軍のおしゃべりが五月蠅い。会話は、手話でやって欲しい。(´艸`)記念写真を撮って下山。

午後のウォーキング開始。空腹が満たされ、昼寝のお陰で午前より快調。途中、太宰治が逗留し、「斜陽」を執筆したとされる安田屋旅館着。以前は見学できたが、今はコロナで駄目。残念。

淡島を左に見て飛ばす。途中の魚屋にアジが干してあった。美味しそうだったが  
車道の脇でちょっと嫌だ。右手の家の垣根に「ムベ」がたわわに実っていた。  
以前、高松山下で貰ったが、これは美味しかった。

放水路まで長いと思ったが案外、近かった。長い長いウォーキングだったが、ようやくゴール。皆さんもワラワラと到着。無事終了し良かった。これで年内終了の目鼻が付きました。お疲れ様でした。

おわり



10月30日(金)晴・19/54

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月30日(金)07時12分2秒

つづき

店を辞し、さらに進む。立保付近で、何処かのオジサンが小舟で何かを採っていた。舟から長いサオを操り、メガネで覗いている。県道から近いので大声で聞けば、「ウニ」を採っているといった。タコも美味しいが・・・。

ようやく木負に着いた。大瀬崎から、ちょうど3時間掛かった。ここでバスの人となり、「木負の大スギ」を見学に行く。スギは、近いと思ったが、何と標高約500mくらいの山中にあった。入口まで、バスで延々と上った。

スギまで、入り口から更に15分ほど上る。北面故、周りは暗くヒンヤリするスギの人工林が続く。その中に周りを睥睨するかのよう大スギが現れた。ネットでは、老木で衰えて見えたが、実物は立派なモノだった。

樹齢は約400年。縄文杉ほどではないが、決して見劣りしなかった。弘法大師が、修禅寺・奥の院開基の際、木の下に「虚空蔵菩薩」を安置したという。

つづく





## 10月29日(木)晴・19/60

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年10月29日(木)06時55分3秒

昨日は

10月度・伊豆ウォーキングでした。コースは、大瀬崎～西浦・江梨～西浦・

木負～西浦・三津～狩野川放水路。天気＝晴れ・爽やか、参加＝17名、歩数＝約35000、距離＝約21km、時間＝約7時間半。

勤労者山岳連盟の「山筋ゴーゴー体操」をKの指導で心身をほぐし、7:50、大瀬崎発。天気は良く爽やかだった。今日は、ほとんど上り下りがない海岸線の県道R17をひたすら歩くのみ。

北の左手には駿河湾が広がる。海拔0mからの富士山がひとときわ際立つ。前衛に愛鷹連峰。見慣れない方角で新鮮だった。右手は金冠山がそびえ、ミカン畑が広がる。

1時間ほど歩き、江梨先で休憩。廃屋みたいな建物が右手にあり、海側にやはり廃バスがあった。建物は無人かと思ったが、二階の窓に着るものが下がっていた。建屋にトイレがあった。目ざとい会員が早速使用。

そのうち住人とおぼしき若い衆が犬を抱えて出てきた。トイレに行きたかった

らしいが、皆が使っていて困った風だった。聞けばバスは昼間、お店として

営業し、ドリンクはいただけるとのこと。しかし、こんな辺鄙なところにお客さんが来るのか・・・??と思った。ま、好きな方がいつかも。

更に進む。西浦・久料（くりょう）は、漁港で漁船が繋がれていた。軒先でご夫婦がミカンの選別をしていた。「極早生ミカン」が最後の出荷という。ダメなミカンを頂けるかと思ったが、そうは行かなかった。

西浦・古宇に「井里絵（いさり）」があった。本来、食事を出す店だが、現在はお休み。ただ、ミカン・シーズンでミカン販売のみ行っていた。詰め放題＝300一のミカンがあったが、残は少ない。そうしたら、店のオジサンが、「残りは食べて下さい」とのこと。皆さん、ワラワラと頂きました。お昼前で空腹を感じたところでとても美味しかった。

つづく





## 10月28日(水)晴・19/60

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月27日(火)17時31分22秒

つづき

御巢鷹山付近は、紅葉が良かった。静岡県東部にはない、赤が鮮やかだった。紅葉は、黄色でなく、やっぱり赤がイイ。御巢鷹山手前で北口下山道に入る。

北口下山道を下るが、今日の最終目的は、「水曇山」だった。この山(岩峰)は、地元、山梨山の会K氏のお勧めだった。何回も来れる山ではないので、行ってみることにした。



下山道を下って行くと、右・北口下山口、左・水曇山の道標があった。迷わず左に進む。しかし、結果的にこの道は、「水曇山」に行かなかった。何故か不明だが、GPSを見ると、標高1700mで左に行くところを右に下っている。しかし、現地ではルートが不明だった。

結局、結果的に北口下山道北の尾根を下っていた。一応、赤布はあったが、一般道ではなかった。しかも、尾根は急峻で厳しいものだった。三ツ峠山の東北面は傾斜がキツイ。加えて昨今、北口は登山者が少ない、道は荒れ放題で不明瞭。

下りきれば林道に出て北口登山口着。ここから長い林道・車道を経て登山口着。往復8時間。長く厳しい一日だった。

おわり（日記は27日記入）





## 10月27日(火)晴・19/60

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月27日(火)06時23分28秒

つづき

南東尾根の道は、「山レコ」を見たら、やはりあった。  
標高点・1312mから大久保山に至っている。  
しかし、道は落ち葉でハッキリしなかった。

大久保山からイイ感じの樹相がつづく。ナラ系の樹木が多い。恐らく人の手は入っていないだろう。左下に人の声が聞こえた。

達磨石からの一般道と屏風岩方面からだった。ただ、屏風岩を俯瞰したかったが、ここからは見えなかった。ひと上りでパラボナアンテナ基地が見えた。三ツ峠山は、顕著なアンテナ基地。地図では4基ある。最初のもは、一番東のもの。

有刺鉄線に沿って反対側に回ると道路に出た。先の基地では工事人が20名くらい作業をしていた。唯一女性が1名いた。裏を上ると頂上だった。12:30。約4時間半掛かった。概ね標高差通りだった。

人が多く詰まらない頂上。パイプを吹かしたキザなオヤジ・クライマーがいた。最近、パイプは珍しい。履物は「地下足袋」だった。あれで屏風岩を上ったのか??地下足袋は、つま先が利かないので厳しいが・・・。

やがて女子班も到着。ここで昼食にした。霧が湧いて展望はなし。富士山は全く見えない。22日は参加者Hの誕生日だったが、忘れて祝えなかった。Kが作った煮込みラーメンが美味かった。やっぱり、カップラーメンは、美味くない。

ほどほどで下山。先ほどの工事基地に戻り、御巢鷹山に向かう。こちらは嘘のように登山者はいなかった。

つづく





## 10月26日(月)晴・17/60

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月26日(月)07時06分42秒

土曜日は、

三ツ峠山(1785m)・東尾根でした。コースは、都留市・宝鉦山、一の橋～東尾根～三ツ峠山～御巢鷹山～北口登山道～水曇山～東尾根～宝鉦山～一の橋。天気=晴れ、標高差=1187m、参加=4名。

懸案であった、東尾根を実行。涼しくなって上りやすくなった。都留ICで降りて、宝鉦山手前、大幡川に架かる一の橋が出発口。駐車場は橋の脇にある。

8:02発。林道を少し進み東尾根に乗る。最初からモーレッツな急登。8:23、すぐ第一鉄塔があった。9:20、第二鉄塔を通過。北に本社ヶ丸が大きかった。日当たりがよく、辺りに「センブリ」が沢山あった。

女子班がワラワラと採取。女子班は先日、わざわざ乾徳山まで採りに行った。余りイイのがなかったとの報告だったが、ここのは大きく立派。「センブリ」は、胃腸の良薬。

第二鉄塔の先で、先頭のKが「紫色のキノコ」を発見。ハッキリしないが「ムラサキシメジ」ではないかとのこと。標高点1179mを経て、東南尾根分岐の標高約1450mまでが、今回一番厳しい上りだった。急登の上、

落ち葉・

腐葉土がフカフカで歩き難いこと、はなはなしかった。

これを上ると道は緩やかになり、美しい自然林が出てきた。先が大久保山（1546m）だった。「つる山友会」の立派な看板に何と「登山道」とあった。

ハッキリはしないが、2万5千円では、先ほどの標高約1450mの南東尾根

下途中まで、西桂町・下暮地から道が伸びている。可能性があれば、この道が

続いているのだろうか??

つづく





[返信・引  
用 編集  
済](#)

**10月23日(金)雨・21/66**

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月23日(金)06時41分36秒

つづき

「おまたぎ堂」は、その昔、下の病気が多かったことから、病気を  
駆除するまじないどころだった。便器の形をまたいでまじないをする。  
正面には様々なの男性・女性器が並んでいた。

棚のケースの中には、男女の行いの模型があった。住職に  
「住職の趣味ですか？」と聞いたら、檀家に熱心な方がいるとの  
ことだった。このような話は、A班は時間が厳しいので聞くことが出来な  
い。  
B班は、時間の制約がないので、ゆっくり話を聞ける。

寺を辞し、狩野川を渡って伊豆長岡の温泉場に入る。次の12番・  
長温寺は温泉場の真ん中にある。到着すると住職が優しく迎えてくれた。  
この日、檀家の方の「ご詠歌」の練習日で、6～7名並んでいた。

我々のお勤めを待っていてくれ、ご詠歌と一緒に詠った。ご詠歌は  
初めて。歌詞の右に音符のような絵がある。上げたり下げたり伸ばしたり  
その記号で詠う。ゆっくりで長く伸ばすところが多いので、慣れないと  
難しかった。同じ歌詞で違う旋律を二回詠った。

13番・北條寺は江間にある。途中、足湯に寄ったら、赤い軽の

オープンカーがあった。オーナーは、足湯の隣の方だった。  
ロータス社製だった。現在は製造していない。新車は300万といった。

北條寺着。左手に「ロウバイ」の小山がある。ただ、渡辺住職は、  
最近、ますます耳が遠くなり、会話が進まない。  
そんなこともあり、今回は初めて外でお勤めをした。本堂の  
運慶作といわれる仏像、北條政子が寄進したといわれる「牡丹鳥獣文繡帳」  
を見たかったが残念だった。境内で昼食を食べ、午後の部に移った。

つづく





## 10月22日(木)曇・19/57

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月22日(木)06時43分5秒

昨日は、

伊豆巡礼B班でした。巡路は、九番札所・澄楽寺～十番札所・蔵春院～十一番札所・長源寺～十二番札所・長温寺一十三番札所・北條寺～十四番札所・慈光寺～十五番札所・高岩院。天気＝晴れ、距離＝約10km、参加＝10名。

前回最終の澄楽寺から出発。大仁の町をブラブラ進む。深沢川を渡る。水がキレイ。左手の広瀬神社が大きい。駿豆線・田京駅で右折して寺に向かう。

蔵春院は大きく立派でキレイな寺。ご本尊は、釈迦牟尼仏（しゃかむにぶつ）

だが、観音堂も併設している。昔は、裏の山上に観音堂があったという。

奥様は親切な方。寺に松が多いのは、新しい住職が赴任の時、祝いで植えるからと教えてくれた。入り口にアケビを作ってあった。2～3ヶ口を広げていたが、高いので取れなかった。

長源寺に向かう。寺は高台にあり見晴らしが良い。ここも大きくキレイで立派な寺。お勤め後、住職が寺の話。天井画を寝転んで見ると、文字が浮かぶという。いろいろ考えたが分からない。正解は「ホトケ」だった。



また、トイレの神様が、「おまたぎ堂」に祭ってあった。寺には何回か訪れているが知らなかった。「おまたぎ堂」は、なかなかユニークだった。

つづく



## 10月21日(水)晴・18/57

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月21日(水)05時55分22秒

今日は、伊豆巡礼B班です。

10月度・伊豆巡礼A班の記録が纏まりました。  
ご覧ください。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page201.html>



## 10月20日(火)晴・18/64

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月20日(火)06時49分31秒

今日は、気温が17.5度だった。

つづき

仁科川の沿って83番・東福寺に向かう。

川では釣り人が何人かいた。中には浅瀬に座って釣っている人もいた。

道路に上がっている方に聞いたら、釣っているのは「鮎」で、友釣りは釣れない、エサがイイといった。エサは、「アミエビ」がイイという。25cmくらいののが釣れるといった。

寺に着いた。山門の上に梵鐘がある。珍しい作りだ。寺はキレイ。境内には、これまた珍しく、弘法大師の像が立っている。寺の考えが、うかがい知れた。

本堂でお勤め。天井に「五百羅漢」の「コテ絵」がある。檀家で東京の篤志家が寄贈したという。なかなか見事なものだ。若い嫁さんが、いろいろ丁寧に対応してくれた。

これまた最近では珍しい。どこの寺も、案外、素っ気ない。中には、迷惑がる寺もある。有り難いことである。ただ、ここの大バアさまは、厳しくて以前、到着が遅れたら小言をいわれた。

84番・法眼寺着。寺の住職は、元サラリーマン。訳アリ??のバツイチ。前住職が亡くなって赴任した。初めて会ったころは細身だったが、現在は100kgあるか。強面だがイイ方で話は弾む。一緒に記念撮影をした。

終了後、仁科港の魚介土産屋で買い物を済ませ、沢田公園に寄った。その後、田子地先まで歩き終了した。それ程、暑くはなかったが、今回は疲れた巡礼でした。

おわり



## 10月19日(月)曇・19/50

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月19日(月)06時40分8秒

### 山の会

機関誌「れいほう」10月号が出来ました。  
ご覧下さい。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>

写真は富士山の三段染めです。  
新雪・紅葉・緑





10月16日(金)晴・20/50

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月16日(金)06時47分48秒

つづき

バスで前月最終の81番・宝蔵院に向かう。宝蔵院は、標高約550mの高所にある。寺は大きく立派。道路もない昔、よくぞこんな寺を作ったものだ。お金も時間も費やした。昔、松崎は航路で潤った。篤志家がいたのだろうか。

境内に苔むした石仏が多数ある。石仏は、古人が麓から背負いあげたもの。軽くても30kgくらい。様々な願いを込めて上げたのだろう。現在は、そのような風習はなくなった。でも、巡礼は未だに続く。

林道の寺分岐で前回道を間違え、寺に未達だったO夫妻、サポのKが先に下車し寺に向かった。我々は寺の駐車場にバスで上がり巡礼開始。Oらと途中で会った。速い。

寺から一色集落まで標高差約500mを下る。適度な勾配の車道で歩き易いは歩き易い。途中、伊豆ジオパーク発祥の「枕状溶岩」があった。この地層は、伊豆で一番古いといわれる。

<http://shinshima.com/blog/post-6731/>

一色の82番・慈眼着。寺は無住職なので外でお勤めが多い。ところが寺入り口に来たら、地元のオジサンに「寺に行くのか??」と声を掛けられた。地区の区長さんで寺管理もしていて、「鍵を開けます」

とってくれた。

ブラブラ寺に向かうと、畑仕事とオバさんが、イモを掘っていて安納芋をひとつるプレゼントしてくれた。ああ、こんな風景の田舎はイイですね。寺では、久しぶりに本堂でお勤めを行った。寺は地区の集会場も兼ねていた。

ここから、83番・東福寺に向かった。

つづく



## 10月15日(木)曇・22/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月15日(木)07時05分12秒

昨日は、

10月度・伊豆巡礼でした。巡路は、81番・宝蔵院～82番・慈眼寺～83番・東福寺～84番・法眼寺～田子。天気は晴れ・高温。歩数＝約3万、距離＝約18km。







[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 10月14日(水)晴・24/60

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年10月14日(水)04時33分37秒

今日は、10月度・伊豆巡礼です。

つづき

御殿庭で休憩して、宝永山に向かう。  
カラマツが下部から上部に向けて、紅葉の微妙な具合が美しい。  
霧が去来する。残念ながら山頂は見えない。  
ここからトップで行く。Hちゃんは、旦那の重いザックを背負った。  
どうやら、訓練のようだ。

火山礫をザックザック進む。足元が不安定なので、雪面のように  
蹴りこむ感じの足運びがよろしい。肩にコケモモが少しあった。  
Kは明日もこのコースから五合目に上がって、コケモモ採取というが、  
恐るべき体力・精神力だ。(結果は、御殿庭でリタイヤだった)

最後を踏ん張って、2352m峰着。ガスで展望はゼロ。Hちゃん、  
初見参だが残念。記念写真で下山。御殿庭で昼食。先着が三名。  
ただ、この方々は上には行かなかった。

そうこうしているうちに、ガスが飛んで、青空がのぞき、山頂付近も  
見えてきた。I夫婦に急がせ記念写真。いい写真が撮れて良かった。  
太陽も差し高温になりビアが進んだ。

下山はザックザック快適。デポしたキノコが重い。下山後、裾野の会員宅でキノコをバター炒めで食べた。美味しかった。ビアは会員が作った手製ビア。これが、なかなか行けた。サイコーだった。ご馳走様でした～！！！！



## 10月13日(火)晴・23/70

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月12日(月)07時59分27秒

一昨日は

富士山・宝永山2352m峰でした。コースは、幕岩下沢(仮称)～幕岩～御殿庭～2352m峰。天気=晴れ、参加=4名、標高差=1012m

幕岩下沢橋(仮称)から出発。秋晴れが気持ちよい。沢は一週間の雨で湿って、滑りやすかった。天気はイイ。いつも見える富士山頂はガスで見えなかった。青空に紅葉が映える。今日は会員のI君の嫁様Hさんがゲストで参加。

当初、我々と一緒に歩けるか心配したが全く杞憂だった。理由は、50歳と若いこともあるが、趣味がマラソンで心肺機能に強い。加え、脚力が鍛えられているからだった。

幕岩で最初の休憩。ここから今回の楽しがあった。一週間近く雨が降り、ジゴボウ(花猪口・キノコ)が丁度良いのではないかだった。Kがキノコ用のカゴを用意した。これなら柔らかいキノコが潰れない。

上って行くと、カラマツ林の中にジゴボウがニョキニョキだった。それも新鮮で、出たばかりの完璧なものが多い。I君夫妻も沢山採取。嫁様も大いに喜んでくれた。

三辻でキノコをデポし登山に戻る。ここから厳しい上りになる。嫁様は荷物が軽いので速い。追いつくのが大変。こちらも頑張ってガシガシ上る。呼吸法を変え、追いかけるようにして、ついにI君を追い越して御殿庭に着いた。

つづく





## 10月9日(金)雨・20/70

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月9日(金)06時30分44秒

つづき

冷風に追われるように下山。帰って知ったが、実は権兵衛峠に下る手があった。こちらは寺コースの半分の時間で下れる。道も悪くない。縦走で短時間ならいうことはない。残念だった。

昼食には早かったが、早朝登山で空腹を覚えた。風が弱い九合目で早い昼食。土曜日なので、ゾロゾロ上って来る。一人の年配者が来た。単独だった。

両手ストックだった。やや疲れた感じ。「お幾つですか」と聞く。私と同年配と踏んだが、一歳若かった。しかし、単独でこのコースを上るのは偉い。大いに励まし送った。

昨日の登山もあり、膝が重たい。痛くはないが、スッキリしない。途中で頂上付近で会った若い衆に何人か抜かれた。若い衆は、「ピョンピョン」下って行く。だから速い。我々は「ドテドテ」だから遅い。

八合で地元、伊那の若い衆と交流。トラックの運転手で毎週、静岡・浜松に来るといふ。前述の山岳マラソンを、ここでやっているという。コースの手入れもやっているようだ。

六合付近で「ジゴボウ」を沢山ゲットした。帰って味噌汁で3日間食べた。美味しかった。前日は、バター炒めだったが、これも美味しかった。秋はキノコが楽しみだ。ただ、今年「タマゴダケ」は全くダメだった。

二～三合付近で、女子が「マツタケ」を探したがなかった。臭いはするといふが残念。寺に戻り、安全登山に感謝し、境内の梵鐘を一打する。「心を込めて打て」と注意書きがあった。いい音色で山々に木霊した。

下山後、昨日の「みはらしの湯」に浸かり、下のソバ屋で名物の「ソースカツどん・ソバ」セットを食べた。伊那のカツどんは、ボリュームが凄い。昨年暮れ、冬山時も食べたが、ソバが食べきれなかった。

今回もソバが残った。GYは全て平らげた。ほか三名は、ソバは「お土産」にして貰った。その日に帰静。念願の山に上れて良かった。手ごたえ十分で記憶に残る山だろう。

おわり





## 10月8日(木)雨・20/65

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月8日(木)06時19分24秒

秋山合宿で、白砂山だったが、雨・台風でオジャン！！

つづき

八合からピークを二つ越える。しかも、笹が酷くなった。帰りに会った伊那の若い衆の話では、夏に山岳マラソンがあるという。

しかし、こんな酷い笹で走れるだろうか。道幅も狭いので

ほとんど抜くことも出来ない。マラソンをやるなら、もう少し整備したほうが良さそう。

九合目手前に、何処かで見たような枯花が沢山あった。葉が紅葉し白い綿毛が長かった。たぶん「ヤナギラン」と思った。帰って確かめたら、やっぱり「ヤナギラン」だった。夏上れば見れそうだが、ここを夏上るのは考えられない。

九合を越えて再び下り、最後の上り。北西の風が冷たく、手袋・上着を着けた。枯れ木を越えて頂上着。Sさんは既に着いていた。頂上は、モミの木が邪魔し展望は良くない。

昨日、上った坊主岳は、すぐ近くだが良く分からなかった。細長い石仏が東の仲仙寺方向を向いていた。この石仏も、十一面観音像だろうか。ただ、ネットを見たら歴史的なものでなく「知り合いの電気工事屋さんのお父さん作の観音様」とあった・・・。( ;´Д`)

兎に角、寒かった。冷風があるので、体感温度は10度以下だろう。寒いので写真を撮って貰い来た道を下山。下山も長い。登山時間の8割は掛かる。しかも、足元を笹が邪魔して不安定なこと、この上ない。

下からゾロゾロ、たくさん登山者が上って来る。いつもとは逆でこれから上る登山者を「励まし下る」のは、悪い気分ではなかった。

つづく





## 10月7日(水)晴・22/52

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月7日(水)03時38分48秒

つづき

いつも寝坊の女子班が珍しく4:00に起床。男子も起きる。  
昨夜は、隣のGYの鼾が五月蠅く、いささか寝不足。  
夜は高原だったが、寒くなかった。

テキパキとテントを撤収し、外で朝食。  
昨夜の鍋をベースにしたオジヤを食べる。味はマアママ。  
駐車場に移動し5:15、ヘッドランプを点けて出発。



最初は人工林を進む。梢に街の灯りがチラホラ。  
全く音がない静寂な山。足音だけ響く。  
6時前、夜が明けた。今日は、標高差が1300mある。

登山は標高差が1000m以上あると厳しくなる。  
普通、標高差300mを1時間掛かる。1300mだと4時間  
以上の計算。当然、下りも上りの8割程度掛かる。

ひたすら上るのみ。歩き難い笹が多い。女子が何か見つけた。  
右下の林の笹の中に「カモシカ」がいるという。だが、保護色で  
ハッキリしない。薄暗いうえ、目も悪いので分かりにくい。  
でも、Hは「生まれて初めて見た」と喜んだ。

横断道が終わると、右下の大泉ダムから伸びる道と合流する四合目着。  
ダムからの道は寺道より30分ほど早いらしい。ただ、上るなら、やっぱり  
寺からがイイ。

登山道は四合から五合、六合と続く。辺りに「ジゴボウ」  
(花猪口)がチラホラ見えた。下山時に採取しよう。  
七合は、ちょっとしたピークで少し展望があった。

先は八合まで長かった。延々と唐松林が伸びていた。  
ただ、笹は狩ってあり気持ちは良い。八合は、コース  
唯一の展望台だった。

先行者が一人。先行したKと話していた。東京・山楽会  
のSさん61歳だった。今朝、ダムから上った。聞けば、  
山岳スキーもやると言った。

つづく





## 10月6日(火)晴・23/52

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月6日(火)05時58分15秒

つづき

坊主岳を下山し、翌日の経ヶ岳の下見で伊那に移動。  
再び、権兵衛峠を潜り、羽広集落に向かう。  
集落は、小高い丘に位置し、伊那扇状地が見渡せ、リンゴ・  
柿などが、たわわに実っていた。

経ヶ岳登山口は、羽広観音と呼ばれる十一面観音を祭った  
仲仙寺境内にあった。寺は大きく立派。境内があまりに  
広く閑散としている。

登山口確認後、近くの「みはらしの湯」で温泉。日帰り温泉にしては大きな施設。露天風呂があって500-は安すぎる。入場の際、消毒・顔認証体温測定・住所記入があった。JAFは50-割引。

温泉は、アルカリ系で良かった。露天から目を凝らすと、富士山みたいな山が見えたが方向が??だった。テントは近くの某所で張った。

キャンプ場ではないが、天井があって濡れない・電灯・トイレ・水道完備で無料・静かの最高の場所で感謝・感謝でした。

夕餉は、鍋をつついた。酒も進み美味しかった。当夜は、満月が素晴らしかったと報告あり。ただ、私はトイレ時、何故か見れなかった。

つづく



## 10月5日(月)曇・23/75

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月5日(月)06時18分53秒

先週

金・土は、塩尻・坊主岳(1961m)・経ヶ岳(2296m)でした。

金曜日、長泉5:00発。

伊那IC先の小黒川SICで降りて、権兵衛トンネルを潜り、奈良井ダム登山口着。

9:00登山開始。天気は良く、まあまあ涼しい。

最初から、物凄い急登。

ほどなく山の神着。安全登山を祈願。

標高1429mの三角点着。少しなだらかになる。

ただ、笹が五月蠅い。再び急登になる。

右手に明日上る経ヶ岳がチラホラ。登山道脇に時々、

美味しいキノコのジゴボウ(ハナイグチ)があった。

下山時、採取すべく、マーキングをする。

上るほど胸までの笹が五月蠅い。坊主岳は山名はあるが、

2万5千図に登山道表記はない。

従って十分整備されていない。しかし、好きな方は上る。

ようやく笹から解放されると、頂上の坊主のような丸い

山稜に出た。

頂上は樹木が全くない、素晴らしい展望だった。

通常3時間かかる、標高差910mを2時間22分だった。

一本上りで効率は良かった。

西に先日上った御嶽山、北西に焼岳、その向こうに穂高が

尖っていた。風はやや冷たかったが、ビアを一本やった。

収穫した落花生が美味かった。

下山も、これまた一本下りで膝はガクガク。

でも、その分早かった。1時間30分で下った。

有名な山ではなかったが、イイ山だった。

つづく



## 10月1日(木)曇・23/60

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年10月1日(木)06時57分9秒

今年も、あと僅かだね。

温故知新

2000年8月9日～13日

南アルプス=信濃俣河内（しなのまたごうち=沢の名称）  
の写真館を上げました。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/kiroku-7-47>





## 9月30日(水)晴・21/55

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月30日(水)06時26分56秒

昨夜、

今年、二回目の「月下美人」が、咲いたらしい。  
らしいは、夜確認できなかったから。

昨夜あたり、咲きそうなのは分かっていましたが、  
すっかり忘れていた。  
夜中、一回起きたので、確認すべきだった。残念。

今回は三輪だった。  
昨夜も満月だった（または満月に近い）らしいが、  
前回もそうだった。

月下美人は、月の状態で咲く??!!  
ネットでは、必ずしも関係ないようだ。  
ただ、花は食用になるようで、台湾では盛んに食べられて  
いるという。

また、焼酎漬けで保存も出来るようですね。



**9月29日(火)晴・24/50**

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月29日(火)11時40分48秒

静岡県静岡市保護課の

山崎由晴さんが、フェイスブックに  
南アルプス・千枚岳の「駒鳥池」を

[返信・引  
用 編集  
済](#)



アップしました。

リニア新幹線が南アルプス貫通すると、このような貴重な自然がなくなる可能性があります。

[https://www.facebook.com/yoshiharu.yamazaki.58?\\_tn\\_=%2CdC-R-R&id=ARApWaRU5R3UFoeJvBIWM8e4b1Biy9LMZVe2IWDJ1bUutZ3\\_MKXLZA97tgCsGZHu\\_X7\\_I0-xwCA7Nxxw&hc\\_ref=ARRsUT-oR0u6LcESAAjA\\_4DbSWckmGnAPi-tIF-09Y2BBjopdo6k0gWzZgKBSKjP7js&fref=nf](https://www.facebook.com/yoshiharu.yamazaki.58?_tn_=%2CdC-R-R&id=ARApWaRU5R3UFoeJvBIWM8e4b1Biy9LMZVe2IWDJ1bUutZ3_MKXLZA97tgCsGZHu_X7_I0-xwCA7Nxxw&hc_ref=ARRsUT-oR0u6LcESAAjA_4DbSWckmGnAPi-tIF-09Y2BBjopdo6k0gWzZgKBSKjP7js&fref=nf)



9月28日(月)晴・22/70

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年9月28日(月)06時25分3秒

先週

土曜日は、山でしたが終日雨で途中退却でした。  
昨日、日曜日は予報に反して晴れた。残念。

先日のヨーグルトの写真が入れ替わらなかった。  
掲示板の調子が良くないです





## 9月25日(金)曇 25/60

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月25日(金)08時11分2秒

昨日は、

ワゴンRのリコールでスズキアリーナへ行った。

修理・点検は半日で終わった。

ただ、時間と経費（ガソリン代）とか使わせて、「ご苦労様」で終わり。  
お礼でティッシュくらいは、罰が当たらないのでは・・・。( ;´Д`)

今夏は、ヨーグルトをよく食べた。

食後に美味しい。

トッピングを何にするか。

ジャム・果実がいい。

今、ブドウが美味しい。

皮ごと食べられる、シャインマスカットはサイコーです。





## 9月24日(木)晴 24/60

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月24日(木)06時01分38秒

昨日は、

たいした雨も降らず、「やられた」の感じでした。  
台風の予報は難しい。

そんな訳でもないが、畑仕事に精を出した。  
今、冬野菜の仕込みが忙しい。

ハクサイ・ダイコンの種を蒔く。ダイコンは、植え替えが出来ないから、種を蒔いて作る。ハクサイは、園芸店に苗を売っているが、私は種から育てる。

畝を作って、ビール缶の浅い穴に種を5～6粒蒔く。  
一週間ほどで、芽が出る。  
全部育てる訳ではないので、良いものを2株残して  
他は間引く。

この間引きした、ハクサイが美味しい。  
ダイコンも美味しい。これは絶対、スーパーでも  
買えない。野菜を作っている人の特権だ。

他、この時期、キャベツ・ブロッコリーなど  
仕込みました。



## 9月23日(水)雨・23/70

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年9月23日(水)10時40分8秒

今日は、9月度・伊豆ウオークでした。が、台風で中止。  
しかし、予想に反して、台風が東に逸れ、雨はほとんど  
降らなかった。?

一昨日、区から敬老の紅白饅頭が届きました。  
ただ、甘いものは、あまり食べない。  
半分頂きました。( ;´д`)





## 9月22日(火)晴・23/65

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年9月22日(火)05時53分45秒  
今朝は、寒いくらいだ。

機関誌「れいほう」10月号が出来ました。  
9月は、まだまだ暑く、成果がある山は、出来なかった。  
ご覧ください。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-1-7.pdf>





## 9月21日(月)晴・24/80

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月21日(月)06時25分7秒

今朝は、半そででは寒い！！！！

土曜日は、西丹沢＝大室山・南尾根（仮称・大モミ尾根）でした。  
先週の「タマゴダケ」リベンジ。  
車は、また、白石キャンプ場のサトーさんに頼んだ。

先週は、ルートを間違った。  
今回は、間違わず進んだ。

いい尾根が続く。



何故かモミの巨木が続く。  
南尾根では、味気ないので、「仮称＝大モミ尾根」とした。

上られているのだろうか?? 赤布が点在する。  
大汗で1200m峰まで上った。  
見れば、まだ出きらない、タマゴダケが数個あった。

昨年、9月7日、ここで大量にゲットしたが・・・。  
今年はまだ早いのか??  
自然は難しい。

結局、1200m峰でゼロだった。  
諦めて下る。  
しかし、下山中、上りでは気が付かなかったが、1個見つけた。  
キレイな、タマゴダケだった。  
ティッシュで丁寧にくるみ、タッパに入れた。





[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

## 9月18日(金)曇・28/80

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月18日(金)09時54分36秒

9月10日(木)晴・27/80

先日お知らせした、下伊那神社の「アマビエ像」の記事が昨日の静岡新聞に掲載されました。

長八美術館前を通過し、伊那下神社を見学する。神社の係りの方がチェーンソーで、コロナ撲滅を願い「アマビエ像」を作っていた。「アマビエ」は、半人半魚の江戸時代の妖怪。疫病の神らしい。願いが叶うことを祈った。



## 9月17日(木)晴・25/75

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月17日(木)05時48分47秒

昨日は

伊豆巡礼・B班でした。

巡路は、4番・城富院～5番・玉洞院～6番・金剛寺  
～7番・泉龍寺～8番・益山寺～9番・澄楽寺。

天気＝曇り、参加＝10名。

今月、二回目の巡礼。

B班は、ノンビリ・ユックリ・マツタリ。

田舎道には。クリ・カキが実っていました。  
クリを拾い、カキをいただいた。

ブラブラ行くと、

みちみち、ヒガンバナが咲き、キレイでした。

皆さん、植物は「正確」だね、と感心。

B班は、バス併用だが、意外と疲れた。

不思議だね。





## 9月16日(水)曇・25/73

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月16日(水)05時39分22秒

つづき

不明の三名は、O夫妻とサポータのK。Kは不調のO奥さんに付き添ったようだ。どうやら、最後の上りの分岐で右に来ないで、左に行ってしまったようだ。

ともかく、お勤めをし、記念写真を撮って下山。途中、携帯があり左の林道の下にいると連絡が入る。やはり、分岐を左に行ってしまったようだ。

分岐は大きな看板があるので、よく見れば間違わない。私も長い登山活動で何回か道間違いはあった。先日も丹沢で間違った。原因は、「思い込み」が多い。地図・資料をしっかりと読まないで、「自分のイメージで判断」してしまう。

専門的に地図は「見る」でなく「読む」と表現する。登山の場合、下手をすると遭難に繋がるので注意が必要。この日は異常な暑さで判断が狂った??!!

バスで林道を白川方面に下る。程なく、3名に合流。やれやれでした。松崎に下りコンビニに寄る。余りの暑さだったので、ビア・アイスなどで心身のクールダウン。今回の巡礼も無事終了で良かったです。

おわり





9月15日(火)晴・27/70

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月15日(火)08時01分56秒

つづき

帰一寺で昼食を食べた。初物のサトイモと落花生を振舞った。美味しいと言ってくれた。食後は、本堂で昼寝。この場合、足を仏さまに向けてはいけない。

寺を辞す。午後の陽光は凄まじかった。カンカン照りの炎天。この中を標高差約420mの宝蔵院まで上る。最初からバスに乗る方もいた。

最初から暑い。熱い。アツイ。モーレツな熱気。一人二人とバスの人になる。汗は止まるところを知らない。いくら人間が水で出来ているといえ、一体何処からこんなに流れてくるのか。

途中、民家の柿が色付いていた。一步一步、我慢・忍耐・辛抱で歩く。途中、約半分の所に、ご朱印係りのYさんの家がある。ちょっと奥まって家が分からない。「Yさ〜ん、Yさ〜ん」と叫んだら、程なく現れた。皆は公民館で休憩。地下水が出ていたが温かった。

集落から道は更に厳しくなる。四国もそうだが、道路もない昔、山上に寺が多い。資材はどうして運搬したのか。現在では考えられない信仰心があったのだろう。

宝蔵院最後の上り分岐着。寺は右に行く。我々は自然に右に導かれる。気が付いたら、周りには3名しかいなかった。皆さん、余りに暑さに耐えかねてバスに乗ったようだ。

ただ、境内で人数を確認したら、11名しかいなかった。えええ～、あと3名はいずこに??!!

つづく



9月14日(月)晴・26/80

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月14日(月)05時45分18秒

つづき

建久寺を辞し、再び田舎道をから帰一寺に着いた。  
山門の右に大きく立派な榎の巨木がある。ネットでは、  
樹齢300年とあった。

階段を上り本堂に入る。T住職はいなかった。住職は前回の  
町議選で2位で当選した。次の町長選挙にも出馬するのでは  
と噂されている。実は現在の町長も寺の住職。昔から寺の住職は  
役場職員とか先生とか兼業が多い。

若奥さんが応対。ここで意外な話を聞いた。巡礼時、お参りの証で  
ご朱印を貰う。これは有料で300円。四国など掛軸の場合は、  
500円。八十八か所貰うと結構掛かる。

聞いた話は、修善寺・熊坂にある6番札所・金剛寺のご朱印を  
預かっているという。普通、ご朱印は寺をおおむね順番に  
訪ねて貰う。従って、修善寺の寺のご朱印が、遥かかなたの  
松崎町にあるのは、そもそも不自然だ。

そのような話は他にもある。同じく西伊豆の85番・大聖寺の  
ご朱印も、何と西浦の某寺に預けられた。大聖寺は先代が亡くなり  
ご子息がやっている近くの寺に一時預けられたが、現在は西浦。

例えば、遠路から歩き巡礼で大聖寺に訪れて、ご朱印を貰う場合、西浦  
まで行けということか。大聖寺がどのような事情で西浦に行ったか、  
定かではないが、いろいろ噂はある。

ただ、一つ言えることは、寺が全く巡礼者やお参りする人のことを  
考えていないこと。伊豆札所で最も高位の住職さえ、「仕方がない、  
それに従って下さい」だった。では、「何とかしましょう」の気概  
はない。

私も巡礼は13年やっているが、寺の「いやらしさ」を数々経験した。  
巡礼を始める前は、寺は純白無垢の場で、俗界から乖離した聖域と  
考えていたが、とんでもなかった。

勿論、有り難いお寺も多い。有素晴らしい住職もたくさんいる。



ただ、寺は私利私欲では、民衆を救えない。

つづく



## 9月11日(金)晴・268/80

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月11日(金)05時32分51秒

つづき

禅海寺を辞し、裏道を建久寺に向かう。途中の畑に「カルガモ」が沢山いた。その数、100羽くらいか。それも成鳥。ここを通過時いつもいた。それは知っていたが、今までは幼鳥だった。

行く末は、どうなるのか??まさか、食用ではないと思うが・・・。  
ネットでは、やっぱり食用となるようです。

味は良く美味しいようです。しかし、生活を共にした「仲間」を食べるのは辛く抵抗はあり。

[https://agri.mynavi.jp/2019\\_02\\_15\\_57585/](https://agri.mynavi.jp/2019_02_15_57585/)

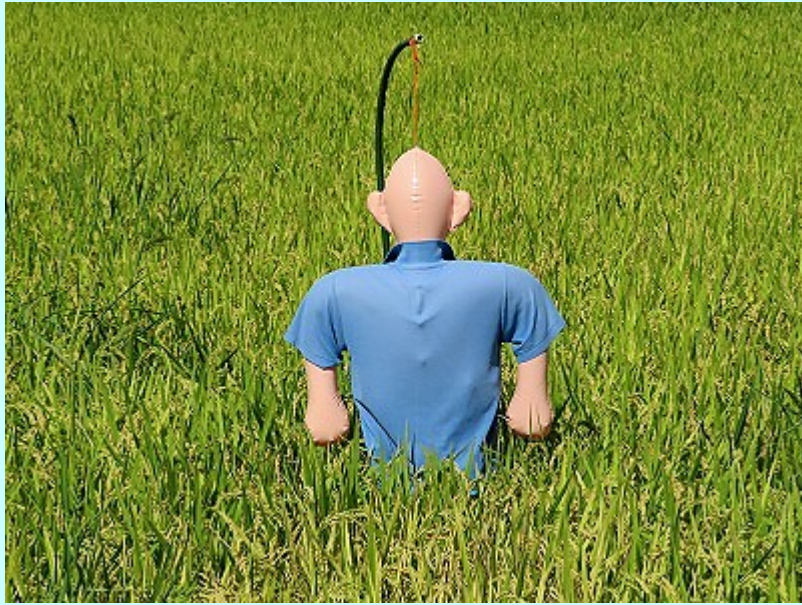
先を行くと、何やら賑やかだった。県立・松崎高校があった。ど田舎の高校だが、生徒数は、まあまあの感じだった。下田のへき地の子供は沼津に下宿して高校に通うという。大学並みの経費が掛かる。大変だ。

建久寺も、ちょっと分かりにくい。地元の方に道を尋ねた。寺に着き寺番に電話したら、ご朱印は、こちらに来てくれとのこと。係りが赴いた。しかし、帰りがイヤに早かった。聞けば、ご朱印は捺印でなく、既に押されたページを渡された。

ご朱印は、300一支払っているのに、本来、ご朱印帳にシッカリ押して貰いたい。これでは手抜きだ。理由は、コロナで長居して貰いたくない。最近、寺でお務めもしないで、スタンプ・ラリーみたいな輩が多く閉口しているだった。

昔は寺に来て、ちゃんと対応したのに。我々は「歩き巡礼」だ。その辺のミーハーと一緒にして欲しくなかった。

つづく



## 9月10日(木)晴・27/80

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年9月10日(木)06時03分42秒

昨日は、

9月度・伊豆巡礼でした。巡路は、75番・天然寺～76番・浄泉寺～77番・円通寺(無住)～78番・禅海寺～79番・建久寺(無住)～80番・帰一寺(昼食)～81番・宝蔵寺。天気は晴れ・高温。距離=約14km。標高差=帰一寺約80m～宝蔵院約500m=420m。参加=14名

前回最終地75番・天然寺前から出発。天気は良い。木陰は涼しい。稲穂が首を垂れた田舎道を進む。婚姻色で赤くなった沢蟹が沢山いた。

長八美術館前を通過し、伊那下神社を見学する。神社の係りの方がチェンソーで、コロナ撲滅を願い「アマビエ像」を作っていた。「アマビエ」は、半人半魚の江戸時代の妖怪。疫病の神らしい。願いが叶うことを祈った。

浄泉寺に入る。本堂はやや寂れた感じ。住職は在住だがお務めは外。境内の墓地の一角に六角経蔵ある。

これは、お経本の蔵で一説には10万冊収められているという。ただ、これを全て読破するのは不可能。そこで考え出されたのが、この蔵をグルグル回せば、読んだことと同じ御利益が得られる、とした。

例のマニ車と同じだが、回すには一人=100-必要。皆さまワラワラと回し、ご利益を得ました。墓地を通過し、77番・円通寺着。ここは無住。外でお務めを済ます。松崎町内を通過し、78番・禅海寺に向かう。

寺は細い入り組んだ道で、やや分かりにくい。寺入り口近くに「禅」というカフェがあった。懐かしい「氷旗」が揺れていた。暑かったので皆さん、「食べた～い」だった。ちなみに、宇治金時は、550-でした。

つづく



9月9日(水)晴・27/85

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月9日(水)04時33分6秒

今日は、

9月度・伊豆巡礼です。天気は、良さそうです。

昨日、どうにも「我慢」出来ず、「里芋」を試掘りしました。  
大きさは、まあまあでした。  
通常、早くてもお彼岸ころでしょうか。

美味しかった・まろやかだった・サイコーでした。  
勿論、調理は自分でやります!!!(´艸`)





## 9月8日(火)雨・28/80

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月8日(火)07時56分5秒

土曜日は、

西丹沢・大室山(1587m) 1350m・南尾根でした。  
天気=晴れ、猛暑。標高差=約750m。参加=6名。

まだまだ、暑い日が続くが出かけた。理由は、1、参加者のGYが誕生日。2、昨年、同尾根で「タマゴダケ」を大量にゲットした。3、川遊びをしたい、だった。

9月に入ったが、キャンプ場は盛況だった。河内川を上りつめて犬越路分岐に来たが、寸前の橋が昨年の豪雨でえぐられ通行止め。仕方がないので、近くの白石オートキャンプ場に駐車した。

対応した係りのS・Mさんは親切な方だった。駐車量は500ーで安価。キャンプ場から出発。大室山南尾根は昨年も上っている。間違いようもない所。と、少なくとも思っていた。

尾根の最南端から取り付く。左に斜上する記憶にあるルートだった。Kが「昨年、降りたところ」と注意を喚起した。しかし、私はそんなはずはないと、聞く耳を持たなかった。

だが、これが今回の最大の失敗だったことに気が付いたのは2時間後だった。

つづく





9月7日(月)曇・27/80

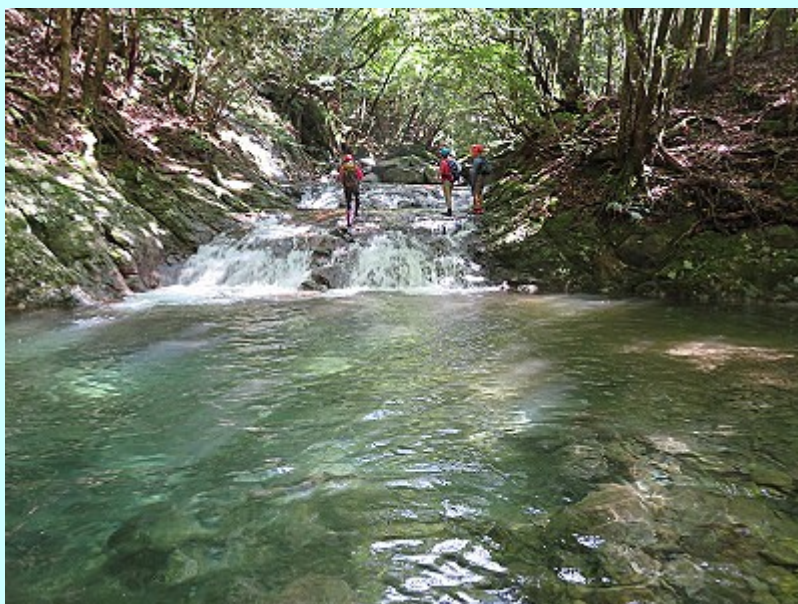
[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月7日(月)05時52分39秒

先日の

河津川・リバーウオークの報告書が出来ました。  
読んで下さいませ。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-357.p>





**9月4日(金)晴・27度 82%**

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月4日(金)06時11分46秒

なかなか

実現しなかった、裾野市広報に「伊豆巡礼」と「裾野麗峰山の会」のPRが掲載された。

これは、伊豆巡礼で裾野市在住のNさんが尽力してくれた結果です。

勿論、Nさんだけでなく、市会議員のNさんも奮闘していただきました。

過去、裾野市役所に何回となく依頼はしましたが、市は「そのようなものは扱っていない」で実現しなかった。広報は、三島市・長泉町などは、全く問題なく掲載してくれる。

市町村によって、何故、このように差があるのかは分からない。強いて言えば「文化の違い」だろうか。役場は、住民に有益な情報を伝えるのも重要な役割があると思うが、様々な思惑があるのだろうか。

今のところ、沼津市・富士市などもダメ。ま、一つは税金で個人事業的なものを掲載できないがあるようだ。ただ、事業といっても、旅行会社ではない。ほとんどボランティアである。



## 9月3日(木)曇・28度80%

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月3日(木)05時49分10秒

長泉町は、

毎年、敬老の日に現金＝5000－を支給する。  
時々、支給する市町村はあるようだが、毎年は少ないようだ。  
確か、65歳から貰っているような気がするが・・・。

それにプラスで、区から紅白饅頭とかも出る。  
そして、今年はコロナで講演会など出来ず、余った  
予算??で、タクシー券・5000－??も支給するそうだ。

加えて、今年もプレミアム商品券販売がある。  
これは8000－分の商品券を5000－で販売するもの。  
一人＝3000－プラス。

我が家は、3名だから9000－のお得になる。  
なんやかんやで、随分の大盤振る舞い。  
いやはや長泉町はお金があるようだ。

しかし、全て税金で賄う訳。  
有難いといえは有り難いが、手放しで喜んでいいものか。

コロナ対策とか、そちらも十分手を尽くして頂きたいと  
思うわけですが・・・。





## 9月2日(水)晴・28度 72%

[返信・引](#)  
[用編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月2日(水)06時34分47秒

つづき

再び遡行。

途中にワサビ田が二か所あった・

下の小さなワサビ田は、センサーがあって近づくと、

「ビービー」警戒音を発した。電源はソーラーだろうか。

途中、イイ感じのナメ滝がある。気温が上がりKが泳いだ。

キレイな滝なので動画も撮影。

さらに上って行くと、10mほどの二階滝がある。  
のっぺりとした滝で上れない。下から見て右の左岸を  
巻く。沢の右岸・左岸は、上から見た方向で決める。

これは、アルピニズムがイギリス発祥で、議会の右左も  
同じで、議長から見た方向で左右が決まっているという。

滝を巻いて再び沢に降りると、なんと水が濁って来た。  
この時点で、理由は不明。  
もう一つ、上れない滝があって、R414を歩いて  
濁りの理由が分かった。上流で工事をやっていたのだ。

結局、沢遊びはここで終了。2時間ほどだった。あと、1時間  
遊びたいところだったが残念。トンネルを潜り、旧道を上り  
途中の樹間で昼食。木漏れ日と冷風がサイコー。食後は、ゴロゴロ  
昼寝でした。

おわり





## 9月12日(火)曇・27度・70%

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年9月1日(火)05時55分40秒

今朝は、だいぶ凌ぎやすい。

つづき

朝もやは次第になくなり、強い日差しが差し込んできた。  
河津川本流は、大きな滝はない。  
ナメ状の美しい滝が続く。

私が沢登りを初めて行ったのは、1966年(S41年)  
東丹沢・源次郎沢だった。今から54年前。当時19歳だった。  
勤めていたK電機・山岳部の先輩に連れられた。

その時、一番印象に残ったのは、「山は岩で出来ている」だった。  
岩山は楽しく、面白く、夢中にさせた。それから私は、登山に傾倒してい  
った。  
源次郎沢は、私の登山の「原点」になった。

途中、ちょっとした滝があった。出口が被っていて、乗越しが厳しい。  
Kが積極果敢に攻めたが、どうしても最後が抜けられない。  
上から「お助けロープ」を差し出した。

その時、思いっきり背伸びをしたら、ズボンの間に強烈な水流が  
入り、ズボンが脱げたらしい。我々3名は上にいたので、その様子は

「残念ながら」目視できなかった。

が、当人は、両手が塞がっていたので、どうにもこうにも困ったようだ。  
(´艸`)

結局、ロープで滝下に戻り、ことなきを得た。やれやれ、後続者がいなくて  
よかったよかった。

つづく







## 8月31日(月)晴・28度・75%

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月31日(月)05時31分49秒

土曜日は、

天城・河津川本流でリバー・ウォークでした。  
天気は晴れ・高温、参加は4名。

天城トンネルを越えて、二階滝駐車場着。  
長泉からここまで有料を使って約1時間。伊豆も便利になった。  
トイレはウオシュレットで完璧。

装備を整えR414を歩いて河津方面に下る。  
414右は河津川本流がザーザー流れている。  
鍋失トンネル手前で踊り子歩道を河津川に下る。

下りきると橋がある。ここから河津川に入る。  
流れは豊かで清冽。  
河津川は上流に人工物はない。キレイで安心して  
水に入れる。

太陽はまだ沢まで届かない。朝もやの中、幻想的な  
光景が広がる。写真係の私以外は、積極的に水と  
戯れる。

しかし早朝、まだまだ水温は低い。ワーワーキャーキャー

いいながら遡行はつづく。

つづく



## 8月28日(金)曇・28度・80%

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月28日(金)06時02分41秒

つづき

御殿場線は、御殿場駅から神奈川に向かって下って行く。  
駿河小山付近は、牧歌的な風景がつづく。  
ただ、この付近は厄介なことがあった。

トンネルが出て来た。SLは煙を吐く。  
遠目には迫力があってなかなかイイ。  
しかし、トンネルで車窓を開けておくと、煙が客車に入ってくる。

石炭の煙は、「油煙」と呼ばれ、人体には刺激が強い。  
目鼻口は堪らない。3月では、まだ閉めていることが多いから  
まだまだ良いが、夏はその都度、開けたり閉めたり、厄介な訳。

電車は松田駅で一旦降りて、新松田駅から小田急に乗り換え  
渋沢駅北口からバスで登山口の大倉に向かった。  
下土狩駅から、ここまで約2時間くらいだった。

バスは満員だった。当時は、土日連休はない。登山とかレジャーは  
日曜日に集中する。初めての太倉でバスを降りて、いよいよ山に向かう。  
私の格好は、靴は借りた、ビニール製のキャラバンシューズ。

ザックは、これまた借りた帆布製のもの。何故か背中にローマ字で  
「WATANABE」と書いてあった。ズボンは、学生服を切って  
ニッカーを作った。天気は良く寒くはなかった。

いよいよ未知の世界に突入する。胸は高鳴った。

つづく



## 8月28日(木)晴・28度・80%

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月27日(木)06時20分0秒

温故知新。コロナ・猛暑で昔の記録を紐解く。

### 原点の山

日時 1966年03月〇〇日（日は不明）  
山域 東丹沢・源次郎沢  
パーティー 国産電機山岳部  
瀬戸・井上茂・井上国・後藤（19歳）ほか

記録 人生初の沢登に参加。今思えば、源次郎沢は本格的  
沢でなく、初心者向けの沢だった。  
3月、里はようやく春めいてきた。御殿場線・下土狩  
駅から蒸気機関車で出発。  
御殿場線は、昭和43年（1968年）電化された。  
当時は、御殿場まで約1時間。途中、岩波と南御殿場  
で、「スイッチ・バック」と呼ばれるものがあった。  
ようするに、傾斜が強い場所は、SLのスタートがきつい  
ので、一旦、バックし平らな場所から、「せの～」で  
勢いをつけて上る。  
そんなことを二回もやるから、時間が掛かる訳。

つづく



## 8月26日(水)晴・27度・70%

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月26日(水)06時18分27秒

昨日

畑のジャンボ（おおまさり）落花生を「試掘」した。  
結果は、まあまあだった。

殻は大きいが入っていない、「しらす」が多かった。

「しらす」は、なぜ出来るか不明。  
ネットでは、肥料が不足という。  
落花生は、カルシウムが必要で石灰は十分やった。

でも、毎年「しらす」は多い。  
まだまだ、研究が必要ですね。



## 8月25日(火)晴・27度・74%

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月25日(火)05時48分6秒

つづき

富士山・ニッ塚は、フジアザミ・オンタデ・イタドリなどが繁茂していた。

ニッ塚は、冬来ることが多いが、夏、これほど草花が多いことを再認識した。

しかし、今回、驚いた。

何気なく見たフジアザミの花が、辺りに散らばっていた。

株の周りは、鹿の足跡が多数。

目撃したわけではないが、散らばった花の原因は、鹿の「試食」と推察された。

ただ、「まずい」のか??完全に食べてはいなかった。

食べたというより、「ちぎった」感じだった。

周りの多くのフジアザミは健在だった。全体で2~3株だろうか。オンタデ・イタドリは食われていなかった。

以前、南アルプスで一面の「バイケイソウ」畑で穂先だけ、食べられていたのを見た。通常、鹿は「バイケイソウ」を食べない。毒があるからだ。鹿はそれを知っている。

しかし余程、空腹に耐えかねたのだろうか、出たばかりの穂先だけ食べていた。新芽は、毒が薄いのだろうか。

「フジアザミ」の毒性は聞いていない。が、今まで食用になっていないのが不思議。

しかし、何らかの理由で、空腹に耐えかねて食べられる可能性はある。今後、注視が必要です。





## 8月24日(月)晴・25度・80%

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年8月24日(月)06時31分40秒

今朝は、気温25度、湿度80%で爽やか。

昨日は、悪天候予報。訓練で富士山・ニッ塚でした。  
しかし、結局、たいした雨は降らなかった。  
畑・野菜はカラカラ。期待したが残念だった。

富士山は誰もいなかった。  
霧が深い。風が冷たく、寒いくらいだった。

帰りに地元のパトロールのオジサン三人に会った。



いつも使っている洞門の駐車場の「立ち入り禁止」の看板は何故かと聞いたら、あそこは「私有地」とのこと。

富士山下部は確かに私有地は多いが、中部にもあるのは知らなかった。それでは、あそこに大きな駐車場設置はなかなか難しいかもです。

(暑いので涼しい写真)





## 8月21日(金)晴・29度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月21日(金)04時59分34秒

最近、コロナ・猛暑で温故知新している。

- ・ 山行 NO. 0006
  - ・ 日時 1965年3月(日にち不明)
  - ・ 山域 東丹沢・水無川＝源次郎沢
  - ・ タイトル 生涯初、沢登り
  - ・ 年齢 19歳1ヶ月
- ・ 記録・・・ 当時は車がない時代でレジャーは、山野跋涉が多かった。おにぎり一つ持って行けば、一日楽しめた。18歳で会社の山岳部に入部した。それまで大した山はやっていなかったが、ある日、沢登りに誘われた。ま、今にしてみれば、沢登りといっても、本格的なモノでなく、登山靴でも上れる沢だった。

当時は、御殿場線のSLで山に向かった。御殿場駅までスイッチ・バックが二か所あり、約1時間掛かった。松田駅で降りて、新松田駅から小田急で渋沢駅に行きバスで大倉に着いた。ここが登山口だった。





## 8月20日(木)晴・28度・70%

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月20日(木)05時58分46秒

機関誌

「れいほう」9月号を出しました。  
ご覧ください。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>

写真 八丁池登山口で「自然の杖」がたくさんあった。





## 8月19日(水)晴・28度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月19日(水)05時28分50秒

先日、

天城の帰りに、湯ヶ島の「いづみ園」で温泉。

770ーと安い。

静かでイイ環境。

庭に巨大な「欐（ケヤキ）」があった。

あまりに見事な巨木。

受付の方（主??）に聞いたら、「約500年」という。

素晴らしい巨木。  
伊豆には、巨木が点在します。  
写真では、実際の大きさが伝わらず残念！！！！



## 8月18日(火)晴・29度、75%

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年8月18日(火)06時05分43秒

今朝は、気温は29度だが、湿度が75%とやや低く昨日よりいい

15日つづき

女人堂に下ると、熱中症になった女性が、事なきを得たと話していた。順調に下り、ロープウェイで無事帰還。ロープウェイはノンストップでグルグル回っていた。

車で山を下る。今宵の宿をどこにするか中々決まらない。

キャンプ場がコロナ閉鎖で一番困る。

結局、R19の藪原「道の駅」でテン泊。ややトラックが五月蠅かった。翌日は、奈良井宿を見学。

早朝でガラガラ。

七夕祭りで軽トラが各戸に真竹を配っていた。帰りには、早くも飾りをつけた

家があった。途中に感じの良い宿があった。宿泊は1万程度。知っていれば

泊まりたかった。

土産物屋で仲間がわっぱを買った。小ぶりのもので4千円。漆を塗ってある。

G Yさんは、山用にニケ買った。声の大きい元気なオバサマと交流。80を

過ぎているというが、若くて元気。他人と話すのが好きで、それが若さの秘訣といった。

最後は、甲府南の「みたまの湯」で汗を流し、合宿を終了した。ビア・トンカツ

が美味かった。

天候・仲間に恵まれイイ山旅だった。ドライバーのKさんに感謝・感謝です。





## 8月17日(月)晴・30度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月17日(月)04時51分14秒

今朝は、朝から30度だった。

昨日は、連日の猛暑に堪えかねて、狩野川本流で「リバー・ウォーク」でした。

いや～、やっぱり日本の夏は沢ですね～。

サイコーに涼しく快適でした！！





## 8月15日(土)晴・29度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月15日(土)06時23分58秒

つづき

頂上祠で山伏格好の中年男性と若い女性が神主と祈禱を行っていた。理由は分からない。我々も神主の許可をいただき、噴火犠牲者・山岳遭難者の供養のため般若心経を一巻唱えた。幸いメンバー4名全員、巡礼経験者だった。私は御嶽神社の有料お札をいただいた。

頂上を後にする。昼食時間だが、頂上滞在は短時間にしたい。ガシガシ下って、石室山荘で昼食。疲れた。3日目の疲れがドッと出ていた。座敷に上がりビアをいただく。

「ったかうどん」を頼んで食べた。うどんはイイ出汁が出ていた。山荘の主人は温かい方だった。噴火時の話を聞く。噴石はここまで直線距離で1kmくらいだが飛んでこなかったという。

ただ、空は真っ黒で地鳴りが恐ろしかったそう。奥様は悲鳴を上げて半狂乱だったという。その後、噴石に備え屋根を二重構造に補強したという。正に生涯にあるかなしかの経験をした。頂上の御嶽神社の神主は、噴火日9月27日は、既に下山済で難を逃れた。

下りは、3日間の疲れで、時々、足がもつれた。下りでも十分足が上がり  
ず時々、  
引っ掛かる。特に左足がおかしい。いよいよ歳か。困ったものだ。  
女人堂上まで下ると、行者装束の若い衆が上って来た。聞けば保科君とい  
い、  
御嶽神社の神主という。まだ30半ば。

先ほど私がいただいた頂上御嶽神社に今日から寝泊まりするという。  
今いる方は下山するそうだ。荷は20kgくらい。お酒も飲むそうだ。  
イイ若い衆で、何だかんだ20分ほど話し込んでしまった。他の下山者は、  
そそくさと下るが、このような機会は少ない。貴重な交流だ。

つづく





## 8月14日(金)晴・29度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月14日(金)05時51分27秒

つづき

石室からひと上りで覚明堂通過。無人だった。辺りから頂上付近が仰ぐことが出来た。

空はすっきり晴れ上がり蒼穹が広がった。日差しは強いが高山故、案外爽やかだった。

眼下に二の池が見えた。

少し汚れていた。ちなみに、池は五つあるようだ。

最後上りきると、コンクリート製の大きく四角いブロックがあった。

噴火後に作られたシェルターだった。左下は柱だけ残された、

ボロボロの頂上小屋があった。噴火があったのは、小屋裏の地獄谷。

こんな近くで噴火があったら逃げることは出来ない。

慰霊碑は、死者58名、今も行方不明5名と記されていた、

行方不明5名は、一体どこにいったのだろう。

剣ヶ峰に上る階段の脇は、石灯笼などが噴火時の状態で残されていた、

写真の石灯笼は、上部が傾いたまま、微妙なバランスで立っていた。

ちょっと、映画で観る、ポンペイの噴火のようだった。

当日、ここは生き地獄だっただろう。

天空から噴石は降る、空は真っ暗、泣き叫ぶ登山者がいる、地鳴・地震は

恐ろしく続く、  
運が悪かったといえはそれまでだが、それを考えると胸を締め付けられる  
思いだった。

つづく



## 8月13日(木)晴・28度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月13日(木)08時54分30秒

アサイチで光長寺に墓掃除。朝から猛暑。蚊がいなくて幸い。

つづき

・・・御嶽山信仰の歴史は、遠く平安・鎌倉・室町時代に興った民間信仰と

山岳信仰が結びつき、御嶽山も最初は修験道の間として独自の山岳信仰として

栄えるようになったといわれています。

そして徐々に厳しい修行を重ねた道者といわれる人々が集団で登拝することが

風習となりました。

そんな中、1784年(天明4年)に尾張の行者・覚明(かくめい)によって

三岳村の黒沢口が開かれ、続いて1794年(寛政6年)には武蔵國の行者・普寛(ふかん)

によって王滝口が一般民衆に開放され、これを機に木曾周辺で留まっていた御嶽信仰が

全国的な信仰へと広がっていきました・・・ネット

大きな鳥居の中に、真っ黒な、覚明と普寛の像が鎮座していたこの登山道が開かれたのは

今から約250年前。その割に荒れていない。勿論、関係者・信者のたゆまない努力がある。

南面の花は期待するほどなかった。上記のものと、アキノキリンソウ・オンタデくらい。

北面はコマクサ・ハクサンイチゲもあるようだ。

女人堂から南にトラバースして尾根に出る。岩が多くなった。

歩き易さは変わらない。天気は次第にガスが取れてきた。下部はモヤっていたが、

上部は晴れている。青空がのぞく。九合目・石室山荘着。小屋下も上れるが、

小屋中を通る登山道もある。面白い。帰りに寄りたいたいところだ。

ここで私は一つの山岳遭難事故を思い出した。2014年4月6日、静岡県連・M 労山のWさん(52)が、遭難し石室山荘の北下で翌日遺体が発見された。

王滝頂上小屋から単独行動ため詳細は不明だが、結果的に重大事故となっ

た。

この時期、積雪はまだ多い。4月といえ上旬では、冬山と変わらない。一旦、悪天候になれば厳しい山となる。基本的に単独冬山登山はやらない。。最近、つくづく思うことは、「基本を忘れない・基本に戻る・基本的な行動をする」である。

事故報告書 <http://susono-reihou.babyblue.jp/01-323.pdf>

つく





## 9月12日(水)晴・29度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月12日(水)06時06分50秒

今日も朝から暑い。8月度・伊豆巡礼は猛暑延期。

つづき

そのうち上から男性行者が何人か下って来た。

行者は、手に白と赤・青・黒などの、「紙垂」(しで)を持ち、歩きながらヒラヒラ振っていた。何のためか聞いたら、一種のお祓いらしい。

・・・神社の拝殿などにある5色の布は、五色絹(ごしきぎぬ)と言われるものです。

この5色は緑(青の代用)・黄・赤・白・紫(黒の代用)の5つになります。

五色絹が用いられているものとしては、神具である真榊や、建物の上棟祭のときに屋根の上に付けられる吹き流しなどに用いられています

・・・ネット

オジサンの話では、赤は怒り(を鎮める)、青は水を表しているといった。明るいオジサン達でした。更に上っていくと八合目・女人堂着。

大きく立派な小屋だった。女人堂は、ひとつの「結界」で高野山など同様、昔、

女性はこれ以上入れなかった。

・・・ちなみに、明治元年、「女人堂」が御嶽山で最初に山小屋としての営業を開始しています。



つまりは御嶽山の山小屋のルーツで、当時はそれほど黒沢口を使う登山者が多かったということに。

明治24年、ウエストンの御嶽山登山も黒沢口登山道往復と推測されています。

黒沢口八合目「女人堂」から5分ほど歩いた金剛童子の大岩が俗世と御神域の境界

になっています。明治5年、太政官通達で神社仏閣地の女人禁制が解かれるまで、

ここから先は、女人禁制。

女人堂がある8合目より先は、女性の登山が許されず、

「頂上を目指した男性の帰りを女性がこの小屋で待っていた」

ことからだといわれていますここを「女人頂上」とし、金剛童子の大岩が「結界石」

となっていたのです。

金剛童子の大岩があるため金剛堂とも呼ばれ、国土地理院の地図には金剛堂と表記。

つづく





## 8月11日(火)晴・29度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月11日(火)05時21分39秒

早朝から、29度とは??!!

つづき

ロープウェイ始発は8:30。料金は片道1300ー。往復2600ーだが、JAFF割引が一割ほどあった。チケット購入は片道の方もいる。昔はスキーでゲレンデを飯森駅まで上ったこともある。今回もの意見もあった。ただ、標高差は丁度600m。約2時間必要。ロープウェイは15分で着くから、やっぱり歩くのは大変。しかし、途中で早々下って来た若い衆がいた。

聞けば、「ゲレンデを歩いた」という。帰りはと聞けば「歩いて下る」とのこと。

いやはや、アッパレ!!!

アナウンスでロープウェイ中間で親子熊目撃情報があった。

我々は目撃できなかったが、何処かのオバサンは目撃した。見られず残念。

駅から最初は木屑を敷いた歩き易い道。すぐ、行者山荘着。年配の小屋番がいた。

とても丁寧で優しい感じだった。名物「ちからもち」が有名らしい。ゆっくり出来ないので、帰りに寄ることにした。道は階段が続いた。

自然の樹木を巧みに敷いてあった。高さは、高からず低からずで上りやすい。  
女性行者の方の歩幅に合わせてあるかも知れない。  
そういえば、下の駅に本格的は恰好をした、女性行者が3名いた。  
写真許可を願ったが拒否された。

つづく



## 8月10日(月)晴・28度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年8月10日(月)05時49分33秒

今日は、祭日??山の日??。暑くて山どころではないね。  
昔の記録は数多く残っているが、気温がないのが残念。  
しかし、こんなに暑かったか??!!

### 8日つづき

日時 2020年08月04日(火) 晴れ・比較的爽やか  
山域 長野・御嶽山(3067m・日本百名山)

コース 御岳ロープウェイ・鹿の湯駅BCーロープウェイー飯森高原駅発  
8:39 一行場山荘一八  
合目・女人堂 9:41 ー九合目・石室山荘 10:43 ー覚明堂 11:00 ー  
剣ヶ峰 11:26~38 ー  
石室山荘(昼食) 12:00~30 ー飯森高原駅 14:17 ーR19 藪原「道  
の駅」(泊)

標高差 上り 飯森高原駅約2130m~御嶽山・剣ヶ峰3067m=約937m  
下り 同上  
山状況 藪なし・階段多い・歩き易い・駐車場、飯森トイレあり・広大  
な駐車場  
参加者 4名

### 久しぶりの3000m峰

前日の高山市・位山から御嶽山に向かう。久しぶりの御嶽山。  
昔は、山岳スキーで何回か上った。  
ただ、何故か夏は沢のぼりはあったが、一般道は初見。御嶽山一般道は、  
ぐるりと7本もある。

日本一の富士山でも5本なのに。

従って明日、どのコースを上るかでアプローチが変わってくる。  
可能なら、比較的上り易く古典的でロープウェイがない、黒沢登山道が良  
かった。  
ただ、連日の猛暑の登山で全員いささか疲れていた。結局、ロープウェイ  
はあるが、  
仏像など見どころが多い、御岳ロープウェイ・飯森高原駅からに決まった。

次の課題はキャンプ場だった。三泊四日の日程で三泊キャンプ生活。快適なキャンプ場を期待したいが、今年はコロナで営業していない所が多かった。

あちらこちら当たってみたが、イイ所がない。絶対条件は、トイレがないとダメ。

最終的に御岳ロープウェイ駐車場に目鼻を付けた。

電話すると24時間トイレは利用できる返事で話し方が好意的だった。

16時に職員も全員下山するという。ま、会社も翌日ロープウェイを用してくれるので、優しい対応なのだろう。

食材を携え本館の下の大駐車場で明るいうちに夕食。全く問題なかった。

夕方、本館の軒下に移動してテント泊。静かで快適だった。

トイレはウオシュレットで便座が温かい。有難い。

つづく





## 8月8日(土)晴・25度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月8日(土)04時09分59秒  
6日つづき

大日ヶ岳を下山した。早朝発で疲れていた。  
時間はすでに15:30。これから車移動はイヤ。  
すぐ近くに「ひるがの高原キャンプ場」があった。

日曜日夕方まで空いていた。受付で聞けば、一人=1100-。  
車一台=1100-。安い。有難い。即決。

トイレは、ウォシュレットで完璧。シャワーは、5分で200-。  
蚊はいない。ヒグラシが鳴いている。静か。五月蠅いことはいわない。  
自由な雰囲気。サイコーだった。

テントは、大小二つ張る。それに昨年会で購入した、コールマンの  
大型フライテントを被せた。

夕食は、焼き肉だった。何故か食欲旺盛で、二日分を食べてしまった。  
恐るべき、老人集団。ちなみに4名の平均年齢は70歳だった。  
もちろん、ビアもガンガン。ワインを忘れて残念。夜半に少し雨でした。

つづく



## 8月7日(金)晴・27度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月7日(金)05時51分13秒

仲間に

貰った、月下美人が開花した。  
昨日、つぼみが大分、大きくなっていた。

夜、咲くだらうと思った。  
就寝時の20:30確認したが、まだだった。

今日、1:00ころ、トイレに起きた時、見たら  
バッチリ咲いていた。  
見なかったら、友人に怒られるところだったので、見れて良かった。

念のため5:00、再度確認にしたら、まだ半分、開いていました。  
でも、写真を見たら、やっぱり1:00のものが正解ですね。  
初めての花を見れて良かったですね。

写真・上 6日夕方  
・中 7日1:00  
・下 7日5:00







## 8月6日(木)晴・25度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月6日(木)06時19分52秒

2日～5日まで

夏山登山で、岐阜・大日ヶ岳（日本二百名山・1709m）、  
高山市・位山（日本二百名山・1529m）・長野・御嶽山（3067m）  
でした。

2日＝大日ヶ岳登山・標高差＝約759m

長泉6：00発。名古屋経由で大日ヶ岳・ひるがお高原登山口着。

駐車場は2面あった。10：37発。

キレイな登山道を上る。ブナが延々と続く。早くも下山者がいた。

早朝発、遅い時間の登山で体が重い。  
低山故、暑かった。しかも、急登でなく、ダラダラ上りが続く。  
展望もない。二百名山は、こんな感じが多い。

標高1400mあたりで展望が広がった。大日ヶ岳は、周辺では  
高い山だった。展望台で2名休んでした。一旦、下って最後の  
上りで13:11頂上着。標高差通りの時間だった。

5~6名休んいた。楽ちんコースの方も多かった。頂上には大きな  
大日如来像があった。信仰の山だった。周辺に高い山はなかった。  
遅い昼食を食べた。この山は、スキーで有名な山。今度は、雪山  
に来たい。

下山は、暑かったが案外楽だった。下山後、近くのキャンプ場で  
キャンプ。安価で設備が完璧で有難かった。夜半、小雨が降った。





## 8月2日(日)晴・25度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月2日(日)04時22分29秒

やっと、梅雨が明けた。

富士山・ニッ塚で「クロアゲハチョウ」をみた。

標高は、約1900m。

こんな高所まで飛来するのか。

もっとも、頂上まで、時々、「鹿」が来るといふから。

一生懸命、オンタデの蜜を吸っていた。

この場合、三蜜でなく、「ひと蜜」ですね。(´艸`)

(3～4日、日記休みます)





## 8月1日(土)晴・25度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年8月1日(土)05時43分14秒

いよいよ、8月かあ～！！

昨日は、富士山・ニッ塚（1929m）でした。  
このところ、雨模様で運動不足。  
ニッ塚でいい汗をかいた。

渡る風が気持ちよい。  
オンダデの中のホタルブクロが逸品でした。  
（実際は、もっとイイいろですが・・・）



## 7月30日(金)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月30日(木)06時24分20秒

梅雨が

なかなか明けない。思い出すのは1980年。この年も梅雨がなかなか明けず、夏山合宿が迫りヤキモキした。

その年は、8月1日～4日、中央ALPSの中御所谷本谷(4名)～空木岳～南駒ヶ岳～空木岳～池山尾根(8名)をやった。

1980年の天気概要

中旬末～下旬初めを除いてオホーツク海高気圧の勢力が強く、北海道～九州地方で低温、東北地方南部～九州地方で多雨、寡照が続いた。上・中旬には梅雨前線が本州南岸ないし本州上に停滞し、活動が活発で、西日本を中心に連日大雨が続いた。

1～3日には九州地方～近畿地方などで、5～17日には西日本を中心に九州地方～東北地方で大雨となった。梅雨前線が東北地方北部まで次第に北上し前線活動が弱まった中旬末～下旬初めに、九州地方南部～東北地方南部で梅雨が相次いで明けたが、東北地方北部の梅雨明けは8月3日頃に持ち越された。梅雨が明けたのもつかの間、下旬中頃以降再び本州付近で前線の活動が強まった。

全般に不安定な天気で、雷を伴う局地的な大雨が頻発した。北海道、東北地方では冷涼な曇雨天が続いた。これに対して南西諸島では太平洋高気圧に覆われ、月を通して高温・少雨が持続した。

しかし、入山前日梅雨が明け、結果はビンゴで、翌日から好天が続いた。それまでの悪天候を40年経ってもよく覚えているから、よほど悪かったのだろう。

その年、昨年末、敗退した空木岳・池山尾根を初めて下った。

ただ、長かったのは、何となく記憶にあるが、小地獄・大地獄は全く覚えていない

ないのだが・・・。

(写真=2019.07富士山・宝永山)



7月29日(水)曇・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月29日(水)06時12分20秒

ある方の

HPに「ベニバナイチヤクソウ」の写真があり、それは、「腐生植物」とあった。ネットなどでは、イチヤクソウは、「被子植物」とあったので違うと思った。

「被子植物」とは・・・

被子植物（ひししょくぶつ、Angiospermae、Magnoliophyta、Angiosperm）とは、

植物の分類の主要な1グループ名[1]。種子植物（顕花植物）のうち、一般に花と呼ばれる生殖器官の特殊化が進んで、胚珠が心皮にくるまれて子房の中に収まったものをいう。裸子植物と対をなす分類群である。「被子植物門」、

「被子植物類」。（とのこと。難しい）

で、「腐生植物」とは・・・

通常の植物は同化色素を有し、太陽光線のエネルギーを利用して生活するが、

若干のものはそのような色素を欠き、すべての有機物をほかの生物に仰がな

ければならない。その場合、ほかの生きている生物から直接養分を享受する

ものを寄生植物といい、死んだ生物体や排泄物から必要な有機物のすべてを

受けているものを腐生植物という。きまって菌根が発達する。

イチヤクソウ科のギンリョウソウ、ギンリョウソウモドキ、シャクジョウソウ

などがその例である。なお、植物を広義に解釈して菌類まで含めれば、腐生生活をする植物はきわめて多数で、これらは自然界における物質循環において、

分解者としての重要な働きを担当している。

ところが、イチヤクソウは、近年「潜在的腐植物」ということが分かった。潜在的な腐生植物（部分的菌従属栄養植物）

・・・ベニバナイチヤクソウの根には、イボタケ科などの周囲の樹木との間



に外菌根を作って共生している複数の種の菌根菌の菌糸が一株の根に同時に入り込んでアルブトイド菌根を形成し、樹木が光合成によって同化した有機物が菌根菌を介してベニバナイチヤクソウに供給されていることが、共生菌の遺伝子解析と、ラジオアイソトープをトレーサとして用いた研究によって証明された。さらに種子発芽の段階ではロウタケ属菌による菌発芽を行っていることが報告された。また、ベニバナイチヤクソウはカラマツなどと一緒に鉢に植えると、外菌根菌と三者共生を成立させて長期間生存可能であることも知られている。

これは、知りませんでした。勉強になりました。

写真は、ベニバナイチヤクソウ

2019、07、06

富士山・宝永山第二火口肩（標高約2300m付近）





[返信・引用](#)  
[編集済](#)

## 7月28日(火)曇・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月28日(火)08時12分35秒

先日

久しぶりに、大瀬崎に行った。

2007年12月31日～1月2日、ここから、  
金冠山～達磨山～仁科峠～猫越岳～二本杉峠（旧天城峠）を縦走した。  
この縦走の売りは、石廊崎同様、海拔0mから旧天城峠登山。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/227.pdf>

例年、年末年始は、雪山・冬山に入るが、前年2006年春に拙著「伊豆の里山50山」（実際は、61山）を発刊したが、当初、念頭にあった、

伊豆半島南行＝石廊崎～二本杉峠・・・2005年12月29（木）～1月01日（日）

伊豆半島北行＝大瀬崎～二本杉峠・・・2007年

伊豆半島東行＝二本杉峠～旧冷川峠・・・未実施

（方向は、旧天城峠・二本杉峠が中心。南・北は実際は、逆コース）

の二本が終わっていなかった。それを解決すべく実施された訳。

これで残ったのは、東行だが、ここは分散で終わっている。ま、通しでやりたいところ。ただ、ちょっと山的に面白くないのだが・・・。

(写真は、ツルアジサイ)



**7月27日(月)曇・25度**

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月27日(月)06時36分39秒

22日

沼津市・井田で「ハマボウ」を観察した。  
昨年も下田で観察しました。

この花は、他にない色が独特で美しい。



## 7月25日(土)雨・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月24日(金)17時29分49秒

つづき

2007年12月31日～1月2日に、大瀬崎（海拔＝0m）から金冠山を経て、達磨山（テント泊）して、旧天城峠（現在の二本杉峠・テント泊）し、翌日、下山した。

2006年12月29日～1月1日は、石廊崎から同じく、二本杉峠まで縦走した。これで、伊豆大縦走は北行・南行が完了した。残るは、二本杉峠から鹿路庭峠から旧冷川峠～巢雲山～亀石峠あたりまでの北行が残っているが、こちらはやや山岳的でないので躊躇している。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/227.pdf>

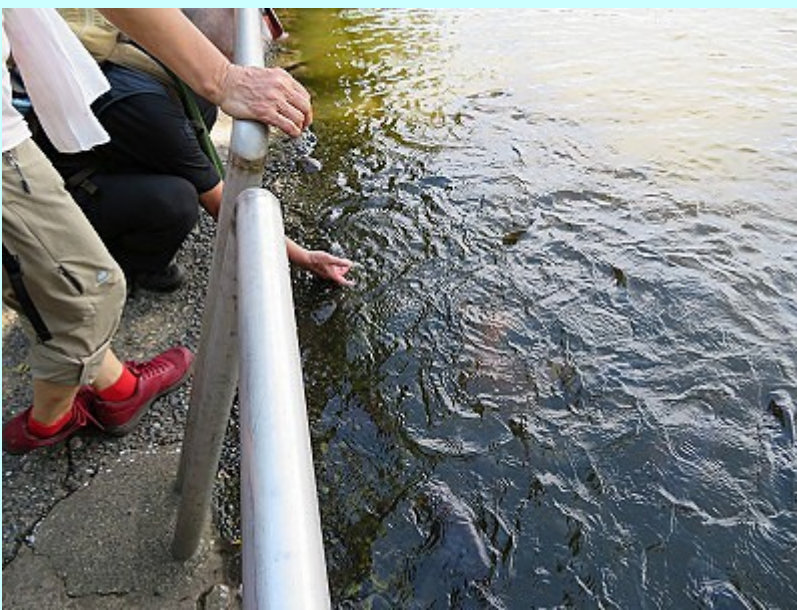
大瀬崎西海岸を歩き、神池に着いた。人懐っこいコイが大きな口を開けてワイワイとやって来る。ただ、エサがないので気の毒。池の先にご神木がある。見事なビャクシン。現在のものは、樹齢300年。昔、火災があり、もっと大きなものは、焼けたしまったという。

で、ここからが問題だった。大瀬神社は参拝に入場料がかかる。入場料はいくらか不明だが、どうしても皆さん、払いたくないらしい（??!!）

そこで、ゲート（??）の前でリターンし、海岸にもう一度出て、事なきを得た。（笑い・??!!）

女性軍は、ソフトクリームを食べたかったらしいが、お客が少ないためか販売していなかった。駐車場まで、ブラブラ歩き、本日は終了。暑く・長く、大変だった。が、完全燃焼の一日だった。

おわり



## 7月24日(金)曇・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月24日(金)05時42分33秒

つづき

午後のウォークを開始。午前中広がっていた雲は霧散し、暑い陽光が降り注いでいた。海岸から県道まで出るだけでゼイゼイハーハー。ここから標高差約200mの井田トンネルまで厳しい上り。

通常、登山では標高差300mを1時間掛かる。今回は炎天下。陽光もさることながら、道路の照り返しが半端でない。上から下から地獄の責めだった。何人かはバスの人になった。

他は耐えて・堪えて・我慢し、アリのごとくジリジリと上っていく。これは「修行」そのものだった。こんな時、熱中症が一番心配。無理は禁物だ。トンネルが見えたところで、クーラーがガンガン利いているバスで体を冷やす。

・・・う～ん、サイコー、気持ちイイ・・・。結局、試練の上りは約1時間掛かった。皆さま、よく頑張りました。トンネルからは下り。ルンルンで下る。

ほどなく、左に大瀬崎に通じる西伊豆・大瀬崎コースがありこれを下る。林間でイイ風が吹き涼しい。何よりも土の道は体に優しい。途中、車道をまじえ無事、大瀬崎着。

昔、ここから天城峠まで車道でなく、山を歩いたことを思い出した。

つづく



7月23日(木)曇・25度

[返信・引  
用 編集済](#)



投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月23日(木)05時53分58秒

昨日は

7月度・伊豆ウオーキングでした。コースは、恋人岬手前を少し～バス～戸田港～井田～大瀬崎でした。天気＝曇り～晴れカンカン照り。距離＝約15km。歩数＝25000。参加＝13名。

バスで恋人岬に向かう。途中、土肥・八木沢でハスの花が見事で見学。二か所あり、一方には、白いハスが咲いていた。白いハスは初めて見た。

前回最終の恋人岬手前まで行き、20分ほど歩き、コースをつないだ。これで三島大社～東伊豆海岸～南伊豆海岸～西伊豆海岸が結ばれた。終了後、バスで戸田港に到着し、北伊豆海岸を目指す。

戸田港は静かで穏やか。オヤジが朝から海を眺めたりしている。県道R17を井田に向かう。沢海（たくみ）集落は、山道を進みショートカット。道は荒れていた。

県道を出たところから、西伊豆歩道もあるが、この道は大変なので県道を進む。天気は予報通り曇りで直射日光はないので有難い。ただ、蒸し暑さは変わらない。

「夕映えの丘」で休憩。前回歩いた「御浜岬」を俯瞰。見事。長い県道を進み、井田に急下降。明神池を一周する。若い衆が釣りをしていた。池をまたぐ橋の脇に、「ハマボウ」が咲いていた。この花は、何度見てもイイ。

11時になったので、東屋で昼食。涼しい風が渡る。ビア二本が救いだった。昼食後、トイレを済ませ、午後のウオーク。天気は知らない間にカンカン照りになっていた。これは、想定外だった。

つづく



## 7月22日(水)曇・25度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月22日(水)04時37分7秒

今日は、7月度・伊豆ウオーキングです。

つづき

富士山で観察した植物・花は、

1. バイケイソウ・・・花は可愛いが悪臭
2. ツルアジサイ・・・樹木にからむアジサイ (写真・上)
3. フジハタザオ・・・ハタザオみたい
4. シロバナイチヤクソウ・・・赤もあるがなかった
5. シロツメクサ・・・小さいが可憐な花
6. オンタデ・・・タデとオンタデは違う
7. シモツケ・・・ピンクのキレイな花。シモツケは樹木。シモツケソウもある。

こちらは草。ややっこしい (写真・中)

8. フジアザミ・・・まだ、開花なし
9. イタドリ・・・白い花
10. ムラサキモメンズル・・・紫の花 (写真・下)
11. ミヤマオトコヨモギ・・・葉がヨモギみたい
12. ウツギ・・・アサギマダラが二頭いた

などでした。





## 7月21日(火)曇・24度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年7月21日(火)05時13分31秒

つづき

バイケイソウを鑑賞して更に上る。  
周りは原生林が広がり日光は差さないが、前方に空間が広がっていた。  
十年くらい前、大きな嵐が襲い、一帯の樹木をなぎ倒した。

その痕跡だった。富士山は地表下が溶岩のため、樹木の根は下に伸びることが出来ず、横に横に広がる。肝心の土台に根が真っ直ぐ入らないため風に弱い。一帯は帯状に倒木が続いている。

上りが急になった。梢の間に見覚えのある坊主の山が東に見えた。相変わらず仲間のスマホは受信中で画像は見られない。しかし大体、どのあたりか見当はついた。しかし、結果的に予想は、私は外れ、Kはビンゴだった。

更に上は「藪漕ぎ」だった。富士山でも藪漕ぎがあるのだ。小さな沢があり、左に逃げると、細い尾根があった。上ると道標が見えた。

御殿庭下に出る道だった。予想位置より下で落胆。やっぱりバリエーションは時間が掛かる。それでも「道」は歩きやすい。進路を左にとれば、水ヶ塚からの登山道に出た。標高は約1980m。

ここから2352m峰まで、標高差372mはキツイ。太陽はジリジリと水分を奪う。砂礫の登山道は登歩を奪う。風が少しあるのは救い。上空は青空が広がり、イイ感じの雲が流れる。

美しい富士山の夏。この広大な山域に人間は3名だった。

(つづく)





## 7月20日(月)曇・24度

[返信・引  
用 編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月20日(月)05時33分55秒

昨日は、

富士山・宝永山2352m峰でした。コースは、新ルートで2352m峰  
東沢(仮称)右岸尾根。天気は晴れ。参加は3名。

須山下山道上の須山登山道（須山口は、下山道と登山道がある）から開始。当初、この道の名称が分からなかった。途中に「南山林道分岐」の看板があった。

「南山林道」は、須山下山道・須山お胎内と水ヶ塚を結んでいるらしい。林道は進まないで直進する。スマホを見たら、道は、「須山登山道」ということが分かった。

ただ、道は荒廃し一般の方は歩けない状態だった。踏み跡はかすかにあった。やがて、幕岩からの周遊道に出た。上は道がないので適当に上っていく。仲間のスマホが電波を拾えず、私もGPS不持参で現在地が分からない。

しかし、この辺りは精通しているので問題はない。バイケイソウの群落があった。バイケイソウは毒があるらしくシカは食べない。花は見事に咲いているが、悪臭が漂う。悪臭もシカを避ける手段かもしれない。

つづく





[返信・引  
用 編集済](#)

## 7月18日(土)雨・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月18日(土)06時33分54秒

なかなか

梅雨が明けない。  
涼しいのは、有難いが・・・。

あの青空は何処に行ってしまった??!!  
精神も肉体も、よろしくない。

野菜も悲鳴を上げていますね。  
(写真は、一昨日撮影)







## 7月17日(金)雨・23度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年7月17日(金)06時22分17秒

つづき

結局、一番札所のご朱印は、苦肉の策だが、コンビニでカラー・コピーした。これは本来、禁じ手だが仕方がない。カラー・コピーは、一枚50円。ご朱印は300円。経費を考えれば、カラー・コピーが安上がり。

今後も寺が巡礼者に「いじわる」するなら、いっそ、全てコピーでも構わない。実際、そのような札所はある。小豆島札所である。小豆島はお堂・庵・殿（民家の感じ）があり、無住職が多い。いきおい、ご朱印は

貰いにくい。

そこで、小豆島のご朱印は、すでに全てご朱印を押した帳面がある。もちろん、これはコピーでないので、一押300ーする。ただ、正直言ってこれは、ご朱印係は、とても安気。なぜなら、13年の経験でいうと、

寺でご朱印を「貰う」のは、とても「気を使う」。

本来、ご朱印は経済活動で「購入する」と考えるが、そこはそこ。寺によっては、「押してやる」「有難いと思え」「お前ら、スタンプ・ラリーか」などなど、上から目線は多い。根底には、「寺は偉い」ところ。「いやなら辞めろ」の意識を感じさせる。

ただ四国お遍路は、それをあまり感じさせなかった。さすがに世界遺産を目指していることはある。絶対的に来訪者が多く、外人も少なくない。ようするに、「伊豆は時代遅れ・田舎で洗練された寺でない・自分のことしか考えていない」訳。

西伊豆・安良里の八十五番・大聖寺は、ご朱印を西浦・航浦院に預けてしまった。歩き巡礼の方は、一体どうしたらよいのだろうか。このような愚行が平気で行われる現実。

一番も八十五番も先代の時は、まったく問題なく良かった。いずれも先代が亡くなり住職が交代した寺。愛着がないのか、思考がおかしいのか、振り回されるのは、巡礼者である。（写真は、二番札所・弘道寺のハス）

つづく





## 7月16日(木)曇・22度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年7月16日(木)05時31分59秒

昨日は、

伊豆八十八札所巡礼・B班でした。

A班は歩き中心の班だが、B班は、年配者向けの巡礼。

従って、全て歩くわけでなく、歩いたりバスの乗ったりの巡礼。

今年度から要望に応じて新設した。

2020、7、15(水) 天気・曇り

コース＝八十八番・修禅寺～一番・嶺松院～二番・弘道寺～  
三番・最勝院～四番・城富院・・・六番・金剛寺

参加＝１０名

今回は、八十八番・修禅寺からスタートする。本堂に上がり最初のお勤め。再びここに戻ることを祈願。

バスに乗り一番に向かう。途中、松ヶ瀬で降りて、狩野川にかかる「松ヶ瀬橋」を往復する。松ヶ瀬橋は、狩野川で唯一の吊り橋。雨上がりの豊かな水量が素晴らしい。辺りの新緑が目にも染みる。

再びバスに乗り、伊豆中央道の矢熊高架橋付近で降りて歩く。歩くと気持ちが良い。やがて、一番・嶺松院着。寺は「発心寺」再び伊豆巡礼の無事を願う。

ただ、この寺は少し問題があった。住職が中にいるが、ご朱印をくれない。理由は、定かでないが、「コロナがどうのこうの・・・」前日も電話で長時間、やりとりしたが、埒が明かない。仕方がないので先のコンビニで以前のご朱印をカラーコピーした。

先日も東京の知り合いのNさんが、住職に延々と説教をされた。東京から、わざわざ訪ねてもだ。このような住職の対応は、伊豆巡礼を後退させかねない。（つづく）

写真・上 松ヶ瀬橋  
・中 矢熊高架橋  
・下 嶺松院





## 7月15日(水)曇・23度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月14日(火)18時17分29秒

今日は

伊豆八十八札所巡礼・B班。

A班は歩き中心の班だが、B班は、年配者向けの巡礼。

従って、全て歩くわけでなく、歩いたりバスの乗ったりの巡礼。

今年度から要望に応じて新設した。

今回は、八十八番・修禅寺からスタートする。

あ、話題が違った！！

先日は富士山でしたが、花は期待できなかった。  
かわりに「コケ」が案外、面白かった。

写真・上は、ネットを見ても分からなかったコケ。  
小岩についているコケ。

結構、大きいのもある。ただ、岩が転がったりすると、本当に「コケ」る。

ほかに、小さな赤い花を咲かせた「コケ」もあった。  
「コケ」も花が咲くようだ??!!

以前、北岳山頂で自称??「コケ博士」が、ここには非常に  
貴重な「コケ」があるといっていた。  
そういわれてもピンと来なかったが、「コケ」の世界も広いらしい。

最近は、「コケ女」なる方々もいるようで、なかなか盛況ですね。  
(日記は、14日に書きました)





[返信・引用](#)  
[編集済](#)

## 7月14日(火)雨・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月13日(月)17時25分2秒

ガラ携帯

の液晶が突然見えなくなりアウト。  
ドコモに行った。  
すでに、7年近く使っているので交換した。  
聞けば、携帯を始めて24年目という。

交換した機種は、今回で4台目。  
ま、寿命は6～7年というところか。

何故か後生大事に過去の機種を残してあった。  
見れば時代を感じた。

1台目の機種は、アンテナを伸ばすもの。  
携帯というより、無線機みたいなデザイン。

2台目は、丸くてズングリムックリしている。  
3台目は、薄すぎて滑りやすく、案外使いにくかった。  
そして今回で4台目。

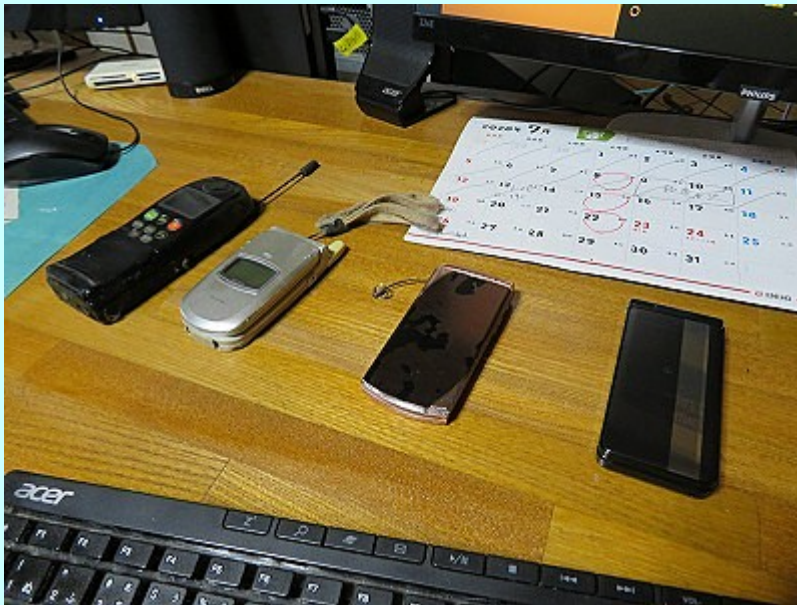
(この日記は、13日に書きました)

来店し話をいろいろ聞いて分かった。ショートメールも  
1回3円ほど掛かる。ただと思っていたのに・・・。  
アドレスを取ると、月額300ーほど。

長いメールは携帯ではやらないので、この機会に止めた。  
ただ、電池は3000ーほどするが、山用に購入した。  
どんな便利な機械でも、バッテリーがなければ話にならない。

何だかんだで4万掛かった。ま、しゃ～ないね。  
結局、時間を買っているわけだから、安いものか。  
それにしても、このところ出費が多い。

車のタイヤも交換したし、事故修理もあり、マフラーも換えた。  
そのような時期か?? (この日記は、13日に書きました)







## 7月13日(月)雨・22度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月13日(月)05時23分16秒

昨日は

富士山・ニッ塚(1929m)でした。  
貴重な梅雨の晴れ間。

登山者はチラホラ。  
しかし、静かな富士山。

渡る風は涼しく爽やか。





## 7月10日(金)曇・24度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月10日(金)08時32分58秒

カツオ

は、生も美味しいが、タタキもいける。  
本来は、「ワラ」で焼く。

高知の専門メーカーは、最近「ワラ」が入手し難くなって、自ら田んぼでコメを作り、「ワラ」を確保しているという。田んぼの係は、メーカーの社員。長くやっているので、コメ作りが面白くなってしまったという。

で、自分でやってみようと、作ってみた。  
ただ、「ワラ」では出来ないなので、コンロで焼いた。  
強火でコリッと焼きたいところだった。

出来栄は、まあまあだった。  
四国お遍路時、民宿でサービスで出してくれた、  
タタキの味は、今でも忘れられません。





## 7月9日(木)雨・23度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月9日(木)06時08分22秒

庭の

クレマチスは、一回目の花が咲き、一旦、枯れたように見えこれでお終いかなと思った。

ところが、ここにきて再び盛り返し、現在、またまた見事な花を咲かしている。

一回目で終わりと思ったが、二回目も楽しめそう。なかなか、よろしい。

ただ、先日購入し植えた二株は、今年の開花はない??!! 来年だろうか。高かったのに・・・。





## 7月8日(水)雨・25度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月8日(水)05時37分31秒

今日は、7月度・伊豆巡礼でしたが、雨で中止でした。

悪天候が続き、畑はグジャグジャ。  
特に風が強く、背の高いモロコシ・キュウリ・ヤマトイモなど  
影響が大きい。

キュウリなど葉が摺れておかしくなる。  
その点、やっぱり温室はいい。  
温室は、温度だけでなく、風対策も大きい。

そんな中、シシトウは元気。  
雨が降ろうが、風が吹こうが、しっかり花が咲き、  
結実している。

あっぱれ見事。美味しくいただいています。



## 7月7日(火)雨・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月7日(火)06時30分20秒

先日

仲間が梅雨の晴れ間に八ヶ岳に上った。

目的は花。

下界の6月中旬から7月上旬は、山では春。

花々が一斉に開花する。

ただ、梅雨でもあるから、天気の見極めは難しい。

北岳の「キタダケソウ」は、貴重な花だが、やはり梅雨時に咲く。

結果はビンゴだったようだ。

天気は入山時曇り、下山時小雨。これなら良いほうだ。

花々はサイコーだった。

ただ、硫黄山荘宿泊費が、またまた上がったのか11000ー。

なかなかの価格である。付近はテント泊は不可。

しかし、それだけの価値はありそうだ。

写真・上      クロユリ  
          ・中      ウルップソウ  
          ・下      イワウメ





## 7月6日(月)雨・24度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年7月6日(月)06時31分25秒

昨夜は、大雨だった。九州も困るね。

富士山で早くもキノコが出ていた。  
昨年、10月は「ジゴボウ」(花猪口)をたくさん採った。

ただ、花猪口は、まだまだ早い。  
出ていたのは、「アミダケ」??みたいな感じ。  
ダイコンオロシで美味しいらしい。

キノコは怖いから、仲間に聞いた。



写真の黒っぽいのは、ダメ。毒があるようだ。  
しかし、ほかのも、実物を見ていないので、何ともいえない。

結局、今回は安全第一でパス。次回を期待しましょう。



## 6月4日(土)雨・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月4日(土)06時25分32秒  
2日

は、富士山宝永山2352m峰でした。  
梅雨の晴れ間の快晴。  
前日の雨が上がり、空気が澄み、山々はクッキリ  
美しかった。

花が期待でしたが、シロバナイチヤクソウ・フジハタザオ・イワツメクサ  
・ムラサキモメンズル（花はまだ）くらいでした。

写真・上 イワツメクサ  
下 フジハタザオ





## 6月3日(金)晴・23度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月3日(金)05時38分27秒

先日

書いた、山中湖在住の山スキーの大先輩のYさん（現在95歳）のお話。

インドですか。昔々2回行きました。  
まさに非日常、そこが面白い。カシミールは夏でも涼しい。3000mの雪渓でスキーしました。

インドヒマラヤだから雪があっても不思議はないのですが。  
帰ってから、あそこの雪渓で滑ってみたいくなり、翌年仲間を誘って再びインドへ。今度はスキーを持って。

ソナマルグからポニーに乗って高度を稼ぎ、3000m超で雪渓に出ました。  
雪は大きなスプーンカットの連続でしたが、ショートスキーと登山靴で思ったより快適に滑れました。

2～300m1本滑っただけで満足して帰って来ました。  
山スキーは、渾身の一本で充分堪能するものですね。

・・・しかし、わざわざインドでスキーとは??!!  
1本で帰国とは、潔いというか、ちょっと勿体なかったかな～。昔、何回か登山靴で滑りましたが、難しいものです。まさに

「渾身の一本」だったでしょうね・・・



## 7月2日(木)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年7月2日(木)05時02分36秒

毎朝、

ヨーグルトを食べている。  
今の気温が丁度よく、出来具合はサイコー。

ヨーグルトには、様々なジャムを入れる。  
ただ、拙宅で作るのは、イチゴくらい。

ほかのジャムは貰ったり、野菜と交換したりする。  
巡礼仲間の御殿場・Sさんに、毎年「バラジャム」をもらう。

このジャムは、なかなかの逸品。  
ネットを見ると、殆どのバラはOKのようだ。

バラジャムは、発色が素晴らしい。シャキシャキと食感がイイ。  
バラをたくさん作っている方が羨ましいですね。





## 7月1日(水)豪雨・24度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年7月1日(水)07時03分25秒

7月です。災害が怖いですね。

先日、富士山・太郎坊上で、ハコネサンショウバラを見た。  
標高は、1300m以上。

すでに終わりだったが、富士山で見るのは、記憶がない。  
富士山にもあったを再認識。

ハコネサンショウバラ

<https://www.town.hakone.kanagawa.jp/index.cfm/8,1064,35,155.html>



## 6月30日(火)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月30日(火)05時31分37秒

26日つづき

R136に戻り、黄金崎トンネルに入る。1kmと長い。

3・11以降節電で中は暗い。

加えて大型車が通ると風圧が怖い。大型が来たら止まったほうがよい。トンネルを抜ければ黄金崎。なかなかカイイところ。

海がサイコーにキレイ。

無料休憩所があり三種類のソフトクリームが売っている。

皆さんペロペロ。

休憩後、展望台に上る。暑いが、ここも見事な海・空・山が広がる。

記念撮影後、浜に降りて浜道をたどり、再びR136に戻った。

その時、何故か町の散水車が来て 私たちが歩いている、カンカン照りの道路に

「散水を施してくれた」えええ〜!!!、これって「お接待??」。

お陰で道路の温度が下がり涼しかった。午後の炎天下の下、恋人岬を目指す。

しかし、15:00になったので、無理をせず終了。バスは冷房で快適。

土肥・松原公園で休憩し「足湯」に入った。温度が45度くらいで熱かった。でも刺激的でグッド。今回も「完全燃焼」のウォーキングでした。







## 6月29日(月)晴・21度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月29日(月)05時28分17秒

貴重な梅雨の晴れ間、今朝は涼しい

土曜日は、富士山・ニッ塚でした。  
雲の晴れ間に、富士山が顔を出しました。  
登山者がいない静かな山。



## 6月26日(金)曇・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月26日(金)03時29分59秒

つづき

堂ヶ島のババさまは、聞けば「海女」といった。  
堂ヶ島周辺で「潜るところがある？」聞いたら、「ある」だった。  
歳は私より10歳多かった。やや肥満だが顔はツヤツヤし若い。  
海の恩恵だろうか。というか、毎日仲間とワイワイやっていれば  
歳はとらないか。(´艸`)

午後は、再びバスで安良里(あらり)に移動。出発してすぐ、眼下を見ると、「トンボロ」が完璧に出ていた。

・・・三四郎島は、沖あい200メートルほどのところにある伝兵衛島・中ノ島・沖ノ瀬島・高島からなる4つの島で、見る角度により3つに見えたり、4つに見えたりすることからこう呼ばれている。また、干潮時には一番手前の伝兵衛島まで瀬が現れ足をぬらさずに歩いてわたることができます。この現象のことを「トンボロ」と言い、日本でも大変珍しい現象であります。・・・ネット

安良里から午後の歩き。以前、この港には、加山雄三のクルーザーが停泊していたが、火災で焼失した。ま、人生必ずしも良いことだけだけだはなさそうだが、ひょっとして船事故で亡くなっていたかもしれないと思えば、それも救われる。

町には、有名な「こあじ鮓」がある。ちょっと小ぶりのアジを乗せた鮓だがネギ・ショウガが利いて美味しい。ただ、ウオーク・巡礼実施の水曜日は定休日、久しく食していない。

R136に戻り、黄金崎トンネルに入る。1kmと長い。3・11以降節電で中は暗い。加えて大型車が通ると風圧が怖い。大型が来たら止まったほうがよい。トンネルを抜ければ黄金崎。なかなかイイところ。海がサイコーにキレイ。無料休憩所があり三種類のソフトクリームが売っている。皆さん、ほうばった。

つづく



## 6月25日(木)雨・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月25日(木)05時48分32秒

昨日は

2020・6月度伊豆ウォーキング。  
コロナで4・5月は休講。久しぶりのウォーキングでした。

コースは、波勝崎入り口～高通山登山口～バス～雲見霊廟～三浦(さんぽ)遊歩道～石部(いしぶ)～バス～堂ヶ島(昼食)～バス～安良里(あらり)～黄金崎～恋人岬手前。

天気は晴れ。高温だが湿度は少。歩数＝約2万、距離＝約14km、参加＝15名

3ヶ月ぶりのウォーキング。天気は良かった。曇りを期待したが、良すぎた。今のウォーキングは、順打ちでなく、花などが良い所を歩いている。従って、歩いた所は、飛び飛び。それをつなぐべく、波勝崎入り口から高通山登山口に向けてスタート。

20分ほどで登山口着。これで熱海～下田～雲見がつながった。バスで雲見霊廟に移動。ここから三浦(さんぽ)歩道に入る。暑い日だったが、山は案外いい風で涼しい。

大汗をかき、ひと上りで三競(さんきょう)展望台着。素晴らしい展望。海・山・空が広がる。この時期には珍しく、富士山がうっすら顔を見せている。テラスで記念撮影。

踵を返し、石部(いしぶ)に下る。ただ、石部側の道は荒れていた。グズグズの湿地とガラガラの岩場がつづく。それでも何とか下山。集落のババさまとジジさまと会話。ババさまは友人宅に向かっていた。ジジさまは、炎天下で畑仕事。しかし、耳が遠く年齢を聞いたが会話が進まなかった。

バスで石部を後にし、堂ヶ島に向かった。ちょうど11時。ここで1時間朝食。おみやげ屋のババさまが5～6人たむろ。お客がまったくないので、無聊(ぶりょう)をかこつていた。

つづく



## 6月24日(水)曇・24度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月23日(火)17時41分46秒

つづき

福ちゃん荘でトイレと休憩。  
山荘のオヤジ(?)は、気さくな方で前述のように会話が弾んだ。  
一口に山関係者といっても千差万別。

昔、山荘関係者でないが、乗鞍岳・F氏の「岳・俺の学び舎」の本に共感して会いに行ったことがある。当時、F氏は55歳くらいだっただろうか。しかし、会ってみて驚いた。余りに考えていたイメージとは違いすぎた。ガッカリして帰ってきた。

寺もそうである。一般的に寺は、「来るもの拒まず」と思う。しかし、中には明らかに、「拒んでいるような」寺もある。理由は分からない。巡礼・お遍路を13年経験して感じたことである。勿論、多くの寺はそんなことはありません。

上日川峠に下った。多くの方で賑わっていた。今日の大菩薩登山者は200人くらいか。そのうち190人は、上日川ダム経由。これから我々が下る旧道経由は、多くて10人ほど。

ただ、旧道は素晴らしい登山道。歩く人が少ないから、道が荒れていない。自然が素晴らしい。特にブナ林は特上である。皮肉なものである。車道が出来た故、こちらは保護された。

下りきれば、「千石茶屋」が営業していた。K嬢が奢ってくれた、「モモジュース」は逸品だった。これが、200円は超安い。ビア・ロング缶が350円も安すぎるだった。

ゲートに着き帰静。最近は、車中「直会」を楽しんでいる。運転者のご苦労様です。

日記は、23日書きました。





## 6月23日(火)曇・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月23日(火)05時46分38秒

つづき

丸川峠を後にする。峠は美しい高原状。山ツツジが咲いていた。今回も、花らしい花は、山ツツジだけだった。

峠から頂上まで、退屈な道が続く。急でもなく、なだらかでもない。ダラダラと上っている。しかも原生林の中で展望はない。当日は霧も掛かっていた。

前回、ここに来たのは、2018.4.6だった。峠から雪でなく氷が多く難儀した。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/927.pdf>

1時間半で頂上着。前述のとおり人が多かった。理由は昨日の通り。例のトイ・プードルもいた。昼食の時間で雷岩に下ったが人が多すぎる。前回の昼食地まで下った。そこは静かで霧も薄く上日川ダムも見えた。

ただ、風はなかったが、非常に寒かった。従ってビアは一本。GYは日本やった。手がかじかんで堪らなかった。福ちゃん荘のオヤジの話では、「10度くらいじゃない」だった。

登山道の脇だから、上る人・下る人がよく観察出来た。皆さんカラフルな格好で素晴らしい。が、靴はズックが多く、俄か登山者とすぐ分かった。経験者・未経験者は、靴を見れば分かる。

昼食は、そこそこに下山。ガラガラの道を下る。福ちゃん荘まで、30人くらい抜かした。最後の方は、昼食事、最初に下ったアベックだったが、随分、ユックリしていたものだ。

福ちゃん荘で、小屋のオヤジと交流。囲炉裏でミソオデンが美味しそうだった。炭が赤々と燃えていた。

つづく



## 6月25日(月)晴・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月22日(月)06時27分13秒

昨日は、

大菩薩嶺(2057m・深田百名山)登山でした。コースは、みそぎ沢～丸川峠～大菩薩嶺～上日川峠～旧道～みそぎ沢。天気＝くもり、標高差＝1004m、参加＝6名。

貴重な梅雨の晴れ間。天気は、まあまあだった。裂石からみそぎ沢登山口に向かう。林道は登山口で通行止めだった。上部が、去年の台風でやられたらしい。

帰路、福ちゃん荘のオヤジは、「かきいれどきに困りますね」と言ったら、「秋まで間に合えばいい」と太っ腹だった。

駐車場に車は数台。丸川峠経由は、標高差が1000mあるので敬遠する登山者が多い。「今日は静かでいい」と思っていた。しかし、後で分かったが、山頂は人・人・人だった。

「おかしいいな、何処からこんなに来たのか」「通行止めが時間で開けた??」と思いきや、何と甲斐大和駅～上日川ダム(大菩薩湖)来たという。この道は、長く遠い。峠には駅からしっかりバスも通じていた。

丸川峠に向かう。若い衆、何人かに抜かれた。コースタイム的には決して遅くないが、若い衆が荷物が少ない??で速い。ま、平均年齢は約63歳では、こんなものか。

黒いトイ・プードルを連れた夫婦と交流。こんな小さな犬をよく歩かせると思った。(拙宅でも同じ黒トイを飼っている)結局、この犬は、最後までほとんど歩いた。元々は、猟犬というが大したものがある。

(ただ、山に犬の連れ込みは、環境的に問題はある)

丸川荘にオヤジはいた。ただ、コロナがあるので外から挨拶。例の「ゲジゲジまゆげ」は見れなかったが、元気そうで何よりだった。

つづく



## 6月19日(金)雨・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月19日(金)06時29分28秒

今朝は涼しい。

山中湖・芙蓉台のスキーの先輩Yさんは、御歳95歳。

12月に96歳になる。

私と22歳違う。ちょうど会のI君と私の違いくらい。

体調は、補聴器を使っているが、特に悪いところはない。極めて健康である。健康の秘訣は「ストレスを持たない」という。

山の上の自宅で生活している。炊事・洗濯・掃除などの全て自身でこなす。

奥様は、30年前ころ亡くした。

買い物は、時間かけて車を運転して(!!!!)いく。時には、仲間に頼まれてもいく。

自宅までの道は狭くて急。95歳でよくあの道を走ると思う。

免許証返上など考えられない。免許は「年齢制限」はないのだろうか。

冬は積雪もある。雨風の日もある。凄いものだ。

登山・スキーは無論だが、天体観測も趣味。庭に天文台もある。

最近、山中湖は環境悪化で、星が見えにくくなったという。

どこかもっとイイところで観察したいと、意欲満々。いやはや、

頭が下がる大先輩です。

思うに、10万人にひとりとか、このような「超人」がいらっしゃる

のだろう。少しでも見習い、近づきたいものですね。





## 6月18日(木)晴・22・度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月18日(木)05時38分48秒

石割山

の花は、アヤメ・ツクバネウツギ・別荘地に  
ハコネサンショウバラなど。

頂上で、ヤナギランが伸びていた。花はまだまだ。  
ほか、アサギマダラを早くも2頭(匹)見ました。  
これは早いですね。



## 6月17日(水)晴・22度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年6月17日(水)05時36分47秒

昨日は

好天を狙い、山中湖・石割山でした。  
山スキーの先輩の別荘（自宅）から上ったので、往復  
2時間の山でした。

久しぶりに石割山でしたが、イメージは、展望が良いスッキリ  
した山かと思いきや、樹木が多く、展望はイマイチでした。

ま、冬上る山かも知れませんね。







## 6月16日(火)晴・22度

[返信・引用](#)

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年6月16日(火)05時42分32秒  
コロナ

自宅待機ではないですが、  
写真の「積み木ゲーム」は、結構、面白いです。

就学前くらいの子供と一緒に出来るのもイイですね。





**6月15日(月)晴・23度**

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月15日(月)08時23分35秒

山の会

の会報（機関誌）・7月号が出来ました。  
御覧下さい。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>

花は「レンゲツツジ」



## 6月13日(土)曇・22度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月13日(土)05時50分56秒

つづき

永禅寺まで、ダラダラと上っていく。集落を外れると寺が見えた。  
この辺りは、静かな山間。  
寺は大きく立派。以前は、前住職の奥様がいたが、現在は高齢（92歳）  
で施設に入居している。

山門は扉があった。以前はなかったが、無住になって取り付けたようだ。  
本堂でお勤め。広く明るい本堂で気持ち良い。ちょっと高台なので風通し  
は抜群。

本堂を開けてくれた檀家の方は、「ヤマモトさん」だった。「以前、  
見たことがありますね」といった。2年前も確か開けてくれた記憶  
がある。覚えてくれたようだ。境内で記念撮影。

寺を辞し、「ヤマモトさん」と一緒に家の前まで歩いた。お礼をいって  
75番・天然寺に向かった。天然寺は、国指定重要文化財・岩科学学校の  
横にある。岩科学学校が立派すぎて霞んでしまう。

ちょっと暗い感じの本堂で、本日最後のお勤め。皆は朝、久しぶりのお経  
でぎこちなかったが、最後は、まあまあ良かった。帰りは、「梅月園」  
に寄って、「さくら葉餅」を購入し帰りました。

3ヶ月ぶりの巡礼でしたが、新しい方も元気に歩いて良かった。バス移動も  
今日現在、コロナ発症はなく、特に問題はなかったです。こちらも良かった  
です。





## 6月12日(金)曇・23度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月12日(金)05時45分27秒

昨日の雨は、畑に有難かった。昨夜は結構、降りました。

つづき

昼寝は約30分。終了後は、スッキリし気持ちよかった。  
本堂の戸締りをして、午後の巡礼。  
寺入り口の階段の脇に見事な赤い花が咲いた木があった。

最初、ブーゲンビリアと思ったが、「ザクロ」という。  
ただ、実がなく、未熟な実みたいなのが、たくさん落ちていた。  
植物の探索に興味深い、Tさんが実を拾って観察していた時、  
丁度、地元の方の軽トラックが来た。

Tさんは、すかさず軽を止め、運転手のオジサンに実を見せて  
いろいろ質問。オジサン曰く「そのザクロは実がならないものだよ」  
と答えて、「俺が植えた」といった。・・・・??!!偶然にしては  
ビンゴ。何とオジサンは寺横に住む方だった。

翌日、ネットでザクロの結実を調べた。結果、ザクロはもともと、結実  
が難しい植物らしい。

・・・・・・ザクロは中々に実が付きません。かなりの年数を要します。  
販売店で実付きを販売していますのは、水切りや薬剤による抑制栽培に  
よるものです。

ザクロには雄花と雌花が有ります。雄花が咲いても雌花が咲くのが遅れ  
ることも有ります。

剪定を致しますと徒長枝ばかりが伸びまして、結果が益々に遅れますの  
で、有る程度は放任に大きく育ててください・・・・・・ネット

岩科の田園地帯を進む。田んぼは、早苗が風に揺れ、オタマジャクシが  
多い。25年前は下土狩でも見られた風景だが、今は見られなくなった。  
岩科川の流れが、よどんでした。田んぼに引水するので、本流が「水不  
足」だった。田んぼに、比較的若い男女が二人作業をしていた。田んぼ  
に若い方は最近珍しい。

岩科は、「ナマコ壁の蔵」が多かった。故郷が松崎の「入江長八」の影  
響だろう。では、なぜ「ナマコ蔵」なのか。

・・・なまこ壁は見た目ではなく、昔の最高級の金庫と思って見てみよう。防火性、保温性、保湿性に優れ、明治時代から昭和初期まで各地で見られた外壁の工法。守備力 MAX の倉庫です。その外壁がなまこ壁だった・・・ネット

峰集落にさしかかった。マスクをしたオバさまが、「どこに行く、永禪寺??」と聞いてきた。「そうです」と答えると、「本堂が開いていないから、私が開けます」といって、主人の車で寺に向かってくれた。

後でよく考えると、確か2年前（伊豆は一周2年かかる）も、お世話になったような・・・。有難い、檀家の方でした。

つづく





## 6月11日(木)雨・23度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月11日(木)04時34分6秒

昨日は

6月度・伊豆巡礼でした。

巡路は、波勝崎入口～石部（いしぶ）～72番・禅宗院～73番・常在寺（昼食）～74番・永禅寺～75番・天然寺～松崎・岩科学学校  
天気＝朝小雨～晴、距離＝25000歩、参加＝18名

4・5月、コロナで休講。やっと再開。しかし、まだ参加できない会員もいた。ただ今回、4月募集した新しい仲間が6名参加した。嬉しいことだ。

3月最終の波勝崎入口から出発。天気は、マアママの感じだったが、高通山

入口下で小雨が降ってきた。だが、ほどなく止んだ。旧道を歩き石部集落着。石部は「棚田」で有名だが、下部は、ほとんど草ボウボウで見る陰はない。

途中に「ビワ」がたわわに実っていた。ちょうど歩道に枝が伸びて簡単に取れた。特に持ち主はハッキリしないような感じ。皆でワラワラといただいた。甘酸っぱくて美味しかった。

グングン下り禅宗院着。途中、ブーゲンビリアの大木が見事だった。赤色が半端でなかった。お勤め後、松崎への旧道を上り返す。ほぼ海拔0



mから峠まで標高差約185mの上り。思ったほど苦しい上りではない。ただ、暑い。途中、地元のオジサンが「桜葉」を手摘で収穫していた。

峠から松崎を俯瞰。一体のお地蔵さまが、微笑んでいる。昔は、多くの方がこの峠を越えたであろう。巡礼道としては、味がある峠。一気に下り、73番・常在寺着。以前は若い寺番夫婦がいたが、現在は無住職。でも、中は掃除がいきとどいている。トイレもリフォームしキレイ。檀家の方が、頑張っているのだろう。

予定外で本堂で昼食。窓を全て開け放って気持ちよい風が渡る。昼食後は、30分昼寝。皆さん、ゴロゴロ横たわった。ただ、この場合、「仏様に足を向ける」のはご法度です。

つづく





## 6月9日(火)晴・23度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月9日(火)06時20分4秒

第一展望台から

第二展望台に向かう。上部でシャクナゲが咲いているかと思ったが、まったく咲いていなかった。下山後、鉱泉で送迎バス運転手さんに聞いたら、まだ早いそうだ。

ちなみに、この運転手さん、巨体の髭面で強面。しかし、話をしてみると、柔らかく優しい感じだった。

シャクナゲだけでなく、ほかの花もなかった。この時期、上信越の山は、花々で溢れているのだが。積雪が少ないのが理由だろうか。しかし、7月になれば、コマクサは咲く。

第一展望台で写真を撮ってもらったら、そのままズルズル遅れをとった。記録写真を今回も80枚ほど撮ったが、いい写真を撮るには、人物を入れ、前か後ろから撮る。この場合、ある程度距離がないと絵にならない。

前からの場合は、遅れることはないが、後ろからだとは、遅れをとる。被撮影者は、その先を普通に歩くが、距離を縮めるのは、倍の速さで歩くから大変。飛ばせば、ますますバテる。ま、最終的には頂上下で待ってはいるが・・・。

GYも自粛後、2回目の登山で相当、バテていた。ノンビリ一緒に行く。

ゆっくり行けば、まったく問題はない。年齢差もあるだろう。一番若い  
I君とは23歳違う。無理もない。私が50のころは、まだバットレス  
をガンガン上っていた。

つづく



## 6月8日(月)晴・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月8日(月)06時44分50秒

土曜日は、

ハッ・西天狗岳(2646m)でした。コースは、唐沢鉱泉～西尾根～第二展望台～西天狗岳～東天狗岳(I君のみ)～黒百合ヒュッテ～唐沢～唐沢鉱泉。参加=5名、天気=晴れ(風あり涼しい) 標高差=806m、所要時間=約7H。

唐沢鉱泉から出発。自粛が明けて駐車場はいっぱい。鉱泉も6月1日から営業していた。登山は、今回で10週連続。

小屋前の「アズマシャクナゲ」が美しい。ただ、これは自然物でなく、植えた物。ここの自然物は、「ハクサンシャクナゲ」同じシャクナゲでも、種が違くと増えないようだ。

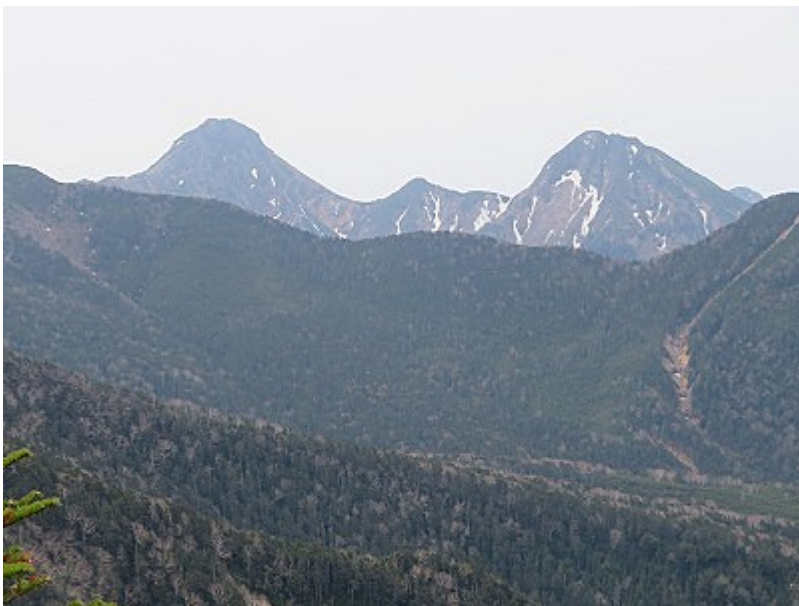
西尾根を上る。このところ雨が少ないのか、コケが何となくカラカラだった。単独の若い女性に抜かれた。結局、この方とは最後、唐沢鉱泉まで前後した。車のNOは、諏訪だった。

上りやすい尾根を上る。ただ、意気が上がらない。久しぶりの3時起床5時発の影響か。今年になり寝不足の影響が大きい。荷物も重い。カメラ・GPS・細引き(ザイル)・ビア2・キュウリ・枝豆・ジャガイモ・むすび2・麦茶2本。次回から食料を減らすか。しかし、コースタイムは、地図通りだった。ただ、かったるいは、かったるい。

赤シャツの単独女性に追いついた。新宿から来て、鉱泉に宿泊し、西天狗を往復といった。電車で来たが、茅野駅まで鉱泉の車が送迎してくれるそう。第一展望台で集合写真を撮ってもらった。

久しぶりの八ヶ岳だった。すっかり雪がなくなり、何となくさみしい八ヶ岳だった。

つづく



## 6月5日(金)晴・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月5日(金)05時18分6秒

昼食後

作業開始。まず、杭を点検。  
この杭は、2001年に設置したもの。  
19年経過した割に、案外としっかりしている。

傷んだものを抜いてみたが、硬い木で長く重い。  
これなら19年もつわけだ。  
上げるのも、ずいぶん重かったらう。

使えそうなものもあったが、新しく上げたものが15本あるので  
なるべく交換した。  
今回は、腐食防止でペンキも塗ってきた。ただ、長さが前回ほどでなく  
もう少し長いほうが良さそう。しかし、今はこんな長いものは販売して  
いない。

一通り杭を入れ替えて、古いトラロープを抜いて入れ替えた。  
やっぱり新しい杭・新しいロープは気持ちよい。  
これで、5～6年は大丈夫だらう。

さてさて、今度は越前岳頂上のメンテナンス。  
どのように進めるか、どのように結果になるか、  
今から楽しみである。





## 6月4日(木)晴・21度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月4日(木)04時32分51秒

昔、

といっても、大雑把すぎるが、「十年一昔」では、それほど昔とは思えない。ま、ここでは、50年くらいだろうか。

昔は、「自然保護」とかの言葉は、それほど使われなかった。そもそも、まだまだ自然は多く、動物・植物は、豊かだった。いつから、「自然保護」とかが、声高にいわれだしたか。

登山も昔はそれほど登山者が多かった印象はない。50年以上山に上っているが、知らない間に、登山者が増えた。そこには、様々な背景があるとおもう。

世の中がますます索漠として自然回帰が強まった。車が増え、同時に車道が整備された。ディスカバージャパンに代表される観光志向。所得が増加しレジャーを楽しむ人間が増えた。などなど。登山者が増えれば、結果として自然は少しずつ自然から離れていく。ここで話題の越前岳は、昨日、ブナ枯死を書いたが、オーバーユースも大きなストレスとなっている。

越前岳頂上の表土は、年々減少続け、三角点標柱は、三分の二ほど露出し、今にも倒れそうだ。我々が保護区を設定した、20年前に比べて、写真で検証すれば、表土30cm近く減っている。

原因の一つは、越前岳頂上の土が赤土の粘土質。多くの登山者が訪れ登山靴に付着した表土が運ばれるがある。私も毎回下山後、登山靴を洗うが、靴底に付着した土は、ビブラム（登山靴の靴底）の溝にビッシリ付着している。

先日の土曜日、越前岳を訪れた登山者は、仮に200人としよう。一人平均靴底の土は5g（1gは1円玉の重量）程度か。200人で1000g=1kg。そんなに多くはないか。

では、一人1gなら200g。それでも多いか。一人0.5gなら、一日100g。計算は、それでも多いかな。いずれにしても登山者が多ければ多いほど、表土は減っていく。もちろん、雨・雪などの流出もある。これは何とかしなければマズイ。

つづく







## 6月3日(水)晴・22度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月3日(水)06時25分20秒

越前岳(1504m)に11:50着いた。  
頂上は、大勢の方がいた。学生さんらしき方も多かった。  
山神社から約3時間半だった。

とにかく空腹なので、先に昼食にする。  
ちょうどベンチが空いた。ただ、ベンチは基礎の土砂が流れ  
グラグラしているから、油断が出来ない。

そもそも50年前、越前岳は、大きなブナが林立し展望が悪かった。  
それが25年前あたりから、枯れ始め、巨木はすべてなくなった。  
原因は、さまざまだが、ハッキリはしない。

土砂に関しては、20年前の写真を見ると、30cmほど流失している。  
土砂流失に関しては、やっぱりオーバーユースだろう。  
多くの方が訪れれば、靴について運ばれる土砂は半端でない。  
特に越前岳は、赤土だから付着しやすい。

昼食後、作業にかかる。まず、杭が使えるか、使えないか、チェックから始めた。

つづく





## 6月2日(火)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月2日(火)04時45分48秒

### 呼子岳

でブナ観察後、越前岳に向かう。

以前、この尾根で「サクラソウ」を見たが、場所が分からなかった。尾根の道は意外と荒れていない。

樹木が多く、土が粘土状でなく、硬い岩状なので、表土が流れないかも。春ゼミは、まだ鳴いていなかった。従って、静かだった。上から、多くの方が下ってくる。聞けば、あさ6時ころ、山神社を出た方々だ。京浜方面が多い。

京浜方面といえば、大沢で会った方(比較的若い衆)は、何と「今日は、トーキョーから電車で来た」といった。家は5時ころ出たらしい。新幹線で来たのだろうか。位牌岳に行くというから、下山は?と聞いたら、「沼津駅まで歩く」といった。

えええ～、それは無茶だ。止めたほうがよい、下るなら駿河平(森林公園)に下り、御殿場線・なめり駅がよいと、アドバイスした。ただ、結果的にどこへ下ったか不明だ。

いよいよ、越前岳の上りにかかった時、上から老若男女が大勢下ってきた。こちらは、荷物が重いので下向きで上っている。下ってきた方が誰か分からない。が、誰かが「ゴトーさん??!!」と声を掛けた。

仰ぐと、確かに見覚えがある面々だった。S山の会の方々だった。ま、懐かしい面々である。写真を5～6枚撮った。家で改めて写真を眺めたら、現場で分からなかった方が分かった。

Sさんだった。Sさんは聾者だった。旦那様も同じだった。昔、何回か登山をした。当時、小学校前の娘さんがいた。娘さんは健常だった。お母さんの手助けをしている姿が印象的だった。その娘さんが今回一緒に登山をしていた。感無量であった。

つづく





## 6月1日(月)晴・19度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年6月1日(月)05時43分9秒

土曜日は、

愛鷹連峰・山神社～大沢～割石峠～呼子岳～越前岳～山神社  
でした。今回は、ブナ活力度観察と越前岳ブナ植樹地柵交換。

ブナ活力度は、決めたらブナ木の葉の出具合を観察する。  
大沢に3本、呼子岳に1本ある。ブナ観察は、2000年から  
おこなっている。今年で20年目。

4本のブナは、5段階評価ですべて活力度5だった。大沢の3本は  
木が大きいので下から仰いで観察する。呼子岳のブナ、愛称＝ヒデコ  
は、呼子岳の山腹にあるので、頂上から容易に観察が出来る。

驚いた。今年はすでに結実し、ドンダリのような実が沢山ついていた。  
いままで、秋に結実度（実の付き具合）を観察していたが、今回のよう  
にまじかで結実を観察したのは初めて。

同時に花の後のような、茶色のものも沢山見た。ブナ開花は見たことが  
ない。ネットでは、同じようなものが花とあった。これは間違いなく  
花跡だろう。

ただ、すべての花が結実するわけでもないようだ。これは、家のミカン  
の木なども、すべての花が結実するわけではないので理解した。今年は  
大いに期待できる感じだった。

つづく



## 5月29日(金)晴・19度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月29日(金)06時22分3秒

伊豆

天城・猿山の標高は、丁度、1000m。

天城連峰で、標高が1000m以上は少なく、貴重な存在。

ただ、以前、国土地理院の標高改定前は、1000mに欠けていた。

しかし、頂上の三角点に立ってみると、三角点の東がいくらか高い。  
実は国土地理院の標高は、測量を行う三角点の標高で、実際の山の標高ではない。

このような所は、他の山でも多く見られる。

従って、猿山も厳密に言えば、三角点の標高1000mより、  
実際は、もう少し高いかも知れない。





## 5月28日(木)晴・21度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月28日(木)06時20分40秒

猿山

西尾根を下って、仁科川上流に達した。  
河原に見慣れない花が咲いていた。

園芸種・天然花??か不明。  
まだまだ、わからない花がおおいですね。







## 5月27日(水)晴・21度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月27日(水)05時30分2秒

コロナ

以降、下山後の「反省会」は、最寄りの場所で行っている。  
ビア2～3本と昼食の残り。

もともと、卑しいから、ちょっと飲めれば、それで満足。  
ま、天気がよければ、外は気持ちよい。

今回は、仁科峠のベンチ。  
「外飲み」は、イイですね。



## 5月26日(火)晴・21度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月26日(火)05時53分13秒

日曜日、

仁科峠下でタイヤがパンクした。  
車は長く乗っているが、何十年、記憶がない。

狭い林道で下から来たバイクをやりすごそうと、脇に寄った。  
そこに角が尖った落石があった。  
その石がタイヤを破いたらしい。タイヤもいささか耐久年度過ぎかも。

8人乗りの車だから、タイヤも大きく交換は大変。  
そもそも、スペアタイヤが何処にあるかも最初、分からなかった。  
しかし、若い(50歳)のI君が大活躍。

やっぱり、若く馬力がないと難しい。女性ではJAFを呼ばなければ  
絶対無理だろう。(JAFは加盟している)  
何故か、テキパキとこなし、約30分で終了。

時間が掛かれば山もダメだったかもしれない。  
雨とかだったら、イヤになってしまう。  
ともあれ、無事終わって、ヤレヤレでした。





**5月25日(月)晴・20度**

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月25日(月)06時35分49秒

昨日は

天城・猿山(1000m)でした。  
目的は、西尾根バリエーションとシャクナゲ。  
シャクナゲは、ぎりぎり、間に合いました。



## 5月23日(土)晴・18度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年5月23日(土)06時50分6秒

畑の

「ジャガイモ」を試掘した。  
食べた。  
美味しかった。

初物は、なんでもイイですね。





## 5月22日(金)晴・17度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月22日(金)06時25分45秒

今、

庭の「クレマチス」の花が美しい。

「クレマチス」は、長泉町でも推奨している花。

宿根だから楽ちん。

手入れもあまり必要としない。

それでも美しい花が広がる。

贈答用で高いものは4000円～10000円する。

庭用は600円くらいからある。

ただ、庭の場合、高い塀などがあるとよろしいですね。





---

[返信・引用](#)

[編集済](#)

## 5月21日(木)曇・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月21日(木)06時21分26秒

殺人の

半分は、尊属殺人といわれる。

昨夕の「長泉町主婦殺人事件」容疑者逮捕報道は、ショックだった。事件から日数が経過し、ひょっとしたら迷宮かと思われたが、そうでなかった。

事件は、第一発見者に容疑がかかる場合が多い。今回もそうだった。閑静な住宅街。拙宅から歩いて10分ほど。近くの防犯カメラには、おかしい人物はなかったという。



凶器の包丁も自宅のもの。目撃者もいない。警察は当初から若い嫁に目をつけたいたかもしれない。ただ、容疑者はまだ31歳。一体、何があったのだろうか。

亡くなった方（69）の旦那様は、うちにWと同級生だった。優秀な方で、沼津東から教師になった。が早世した。

亡くなった方はその後、独身だった。容疑者は長男の二回目の嫁だった。長男の年齢は不明だが、亡くなった方の年齢から推察するに、二回目ということもあり、年齢差があったと思われる。

再婚で若い嫁。が、事件のポイントだっただろうか。しかし、いくら姑と葛藤があっても、殺人に至るものであろうか。人は時として、「あの野郎～、ぶっ殺してやる」と思うことが、まあ、あったとしても、普通は実行しない。

そこには「抑制力」があるからだ。殺したいと思っても、冷静になり、後から考えてみれば、つまらないと思うのが自然。ただ、その瞬間、「切れてしまう」のは怖い。

昔、「切れる」は、「頭が切れる奴」で誉め言葉だった。しかし、現在、「切れる奴」は、危ない言葉になった。「切れる」まで、ある程度時間の積み重ねがあったであろう。

人は、いきなり「切れる」訳ではない。最悪の結果になる前に、対処出来なかったか。

もちろん、容疑者に大きな問題があるが、長男とか配慮が欲しかった。31歳の若さで「塀の向こう側」では、あまりに気の毒である。どこにでもあること故に後味が悪く残念だった。

（身近な事件だったので、今回、題材にしました。配慮がない表現がありましたら、指摘下さい）



## 5月20日(水)雨・19度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月20日(水)06時15分40秒  
山で

変わった形の樹木を見ることは多い。  
先日も、丹沢で「変木」があった。

ま、何らかの事情で、真っすぐ育たなかったのだろうか。  
気の毒といえば、気の毒だが、何となくおかしい。

でも、このようなものは、山の中で特異な存在。  
従って、いい目標・目印。  
場所の特定には、とても役立つものですね。

ゾンビ・ブナ、頑張ろう!!!





## 5月19日(火)雨・20度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月19日(火)06時30分51秒  
西丹沢

の「サクラソウ」がなかなか良かった。  
岩場を好む可憐な花。

厳しい山で健気に咲く。





## 5月18日(月)晴・18度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月18日(月)06時27分15秒  
西丹沢

で早くも「シロヤシオ」の開花が見られました。  
上部は、まだ蕾が多いですが、今年は当たり年の  
ようです。

来週あたりが、みごろでしょうか。



## 5月16日(土)曇・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月16日(土)06時04分22秒

温故知新・7

あのころ丹沢は寒かった！！！！

- ・山行NO.0185
- ・1974年2月2日～3日(日)
- ・西丹沢・沖箱根沢
- ・荻野 哲

### MEMO

大滝橋	8:30
F1	9:10
F2	10:15
稜線	12:00

\*快適な登攀だった。





FUJICOLOR 35 74





## 5月15日(金)晴・17度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月15日(金)06時06分52秒

温故知新・6

- ・ 1976年4月28日～5月4日
- ・ 加賀・白山～笈ヶ岳
- ・ 井上茂貴、大場康正、荻野哲、後藤

4/28

三島 18:23  
名古屋 20:18  
名古屋 20:33  
美濃太田 22:46 (泊)

4/29 (雨)

美濃太田 6:38  
美濃白鳥 8:31  
上在所 10:10 (ジープチャーター)  
登山口 11:10  
神鳩ノ宮避難小屋 14:00 (泊)

5/1 (雨)

起床 3:00  
出発 5:15  
銚子ヶ峰 6:25  
一峰 7:30  
二峰 8:10  
三峰避難小屋 9:15 (泊)

5/2 (晴)

起床 3:20  
発 5:15  
別山 7:07  
2244峰 9:00  
南竜ヶ馬場 9:30  
弥陀ヶ原 11:15  
白山 12:15  
小日水谷下降点 13:20  
北弥陀ヶ原2160m 16:00 (泊)

つづく

▼ 76-13-218 <sup>234 230</sup>

▼ 加賀白山

▼ 山産電杖登山學部春山合宿

▼ 井上泰豊, 下島康正, 萩野哲

▼ Sp. 4.28 ~ Sp. 5.4

4/28	三島	18:23	
	石居	20:18	
	石居	533D	20:33
	美濃田		22:46
1/29	美濃田	6:38	
	美濃田	8:31	
	上石所	10:10	3-70
	登山口	11:10	90-2-
	神橋宮	14:00	(三)

1/30 停泊

5/1	三島	三島	3:00
		本丸	5:15
		御子山	6:25
		一峰	7:30
		二峰	8:10
		三峰	9:15 (三)

5/2	起床	3:20
15分	三峰(平岩山)	5:15
4分	81山	7:07
	2244峰	9:00
	南麓(馬場)	9:30
	赤松(原)	11:15
	白山(頂上)	12:15
	小白谷(谷への木道)	13:20
	赤松(原) 22160 42.33E	16:00 (20)
5/3	起床	3:20
CE405	土茶	5:20
509	地蔵ノヤ	5:45
9361)	夏25の接合	6:15
	三峰(峰)	7:20
	妙正山	9:45
	野谷(谷)	11:45
	三石(山)	13:15 → (20)
	赤松(山)	14:30
	国(山)	15:05
5/4	起床	3:00
CE405	国(山)	4:45
509	三石(山)	5:45
9361)	三石(山) (20)	6:10
	三石(山)	7:00
	白谷(谷)	8:00
	日(山)	9:00

## 5月14日(木)晴・19度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月14日(木)05時32分8秒

つづき

小屋まで分かりにくい道だった。角檜小屋は、日当たりが良い、小ぎれいな小屋だった。二つ建っていた。

荒川をへつり、平岩山の尾根に取りつく。上りは急登。急登は確実に高度を稼げるからいい。平岩山を過ぎ16:00、大朝日小屋に入る。いい感じの小屋で、収容は30名くらい。すでに2人いた。後から7名来た。

今日は、大きな標高差で本当に疲れた。昨夜、濡れてよく寝れなかったからだ。

とにかく無事終了した。

写真・上

1998年8月10日  
大朝日岳から竜門岳に向うレイホー・パーティー  
大朝日小屋が小さく見える（撮影＝後藤）

写真・下

8月12日、大井沢に下山後、橋本屋で祝杯  
（後列左＝2005.01、亡くなった飯塚さん）

<http://susono-reihou.babyblue.jp/990.pdf>



**5月13日(水)晴・20度**

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月13日(水)06時02分37秒

つづき

1975/5/1

タイム＝徳網5：07－角檜小屋8：50－平岩山14：00－  
大朝日岳15：45－大朝日小屋16：00（泊）  
標高差＝徳網約350m～大朝日岳1871m＝約1521m

飯豊は終わったが、30日雨が降って、杵差岳（えぶりさしだけ）に上れなかったことが心残りだった。

（杵差岳は、22年後の1997.8に登頂した）

今日は、朝日連峰に上るべく、小国から五味沢（朝日平）～徳網に来た。徳網は、20～30の小さな集落だった。林道の途中で山菜取りの地元の方に会う。

飯豊の時も見た、カタクリをたくさん取っていた。

「これを食べるんですか？」と聞けば、「ちゃんと、食べられる」とのこと。

朝日を下山して分かったが、茹でて保存食にするようだ。

徳網上の川原でテントを張った。天気は良く満天の星だった。荒川でイワナを釣ると、五味沢で糸・針・おもりを買ってきたが、どうやら使われじまいのようだ。

5/2

どうしてイワナ釣りをやろうかと思ったかを考えたら、五味沢の雑貨屋のオヤジにそそのかされた。針生平（はんなりだいら）に行けば、イワナが沢山釣れると言ったからだ。

エサは、徳網でミミズを取ればいいと言った。

針生平は、上高地を小さくしたような気持のよいところ。

確かにイワナは沢山いそうだった。

針生平から角檜（かくなら）小屋めざす。途中、かなり危険な吊り橋を二回渡った。

こちらの地方独特なものだろうか、一本の吊り橋である。（写真・上＝2013.9 ネット）

ヒノキ（スギ？）とワイヤーの組み合わせ。

ヒノキの皮を剥いたばかりで滑りやすい。

小屋まで分かりにくい道だった。角檜小屋は、日当たりが良い、小ぎれいな小屋だった。

（写真・中＝2013.9 ネット）

つづく



## 5月12日(火)晴・20度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月12日(火)05時47分45秒

温故知新・5

- ・1975年4月27日～5月3日
- ・飯豊連峰～朝日連峰
- ・荻野 哲

4/27 三島～川入(テン泊)

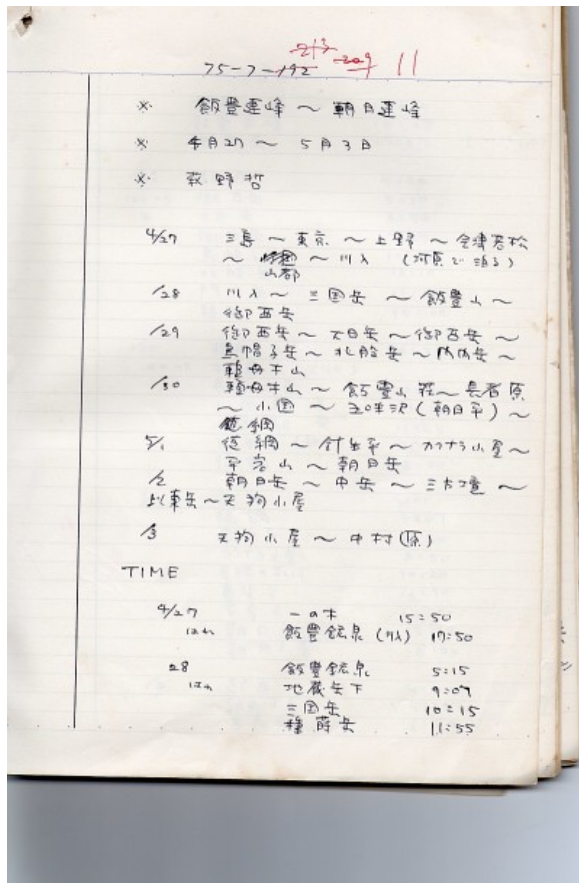
4/28 川入～三国山～飯豊山～御西岳

- 4/29 御西岳～大日岳～御西岳～北股岳～頼母木山
- 4/30 頼母木山～飯豊山荘～小国～五味沢（朝日平）～徳網
- 5/1 徳網～平岩山～朝日岳
- 5/2 朝日岳～中岳～以東岳～天狗小屋
- 5/3 天狗小屋～中村（原）

MEMO

4/27 寮起床6:00。三島発7:12。上野発9:41で会津若松に向かう。  
 東北はこれで仕事を入れて3回目。  
 猪苗代湖を初めて見た。大きかった。安っぽい食堂、喫茶店、モーターが乱立。  
 車窓からいたるところで田植えをやっていた。桜が満開だった。磐梯熱海の桜が目をついた。  
 会津若松で降りて、磐越西線で山都に向かう。駅からバスがすぐあって、一の木に向かう。  
 同乗の女性のアクセントが分かりにくかった。一の木から林道を2時間歩いた。川入から飯豊連峰に感動。河原でテン泊した。

つづく







## 5月11日(月)晴・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月10日(日)15時44分56秒

温故知新・4

- ・1974年4月28日～5月3日
- ・北ALPS南部縦走
- ・荻野 哲

4/28	大町	4:00
	餓鬼岳白沢登山口	4:50
	2100m峰	14:30
	幕営	15:00
4/29	起床	3:00
	餓鬼岳	15:50
	餓鬼小屋	16:05
4/30	起床	3:00
	出発	5:00
	東沢乗越	9:55
	ビバーク(降雪)	13:30
5/1	起床	3:40
	吹雪	
	出発	10:00
	燕岳	12:30
	大天井岳	16:50
	ビバーク	17:00
5/2	起床	3:00
	常念岳	8:00
	蝶ヶ岳	12:30
	徳沢	16:00
5/3	徳沢	5:30
	上高地	7:00
	松本	10:00
	甲府	11:45

- MEMO
- ・餓鬼岳の下りは難しかった
  - ・東沢乗越から稜線までキツイ。  
途中、燕からの縦走者が滑落。
  - ・燕岳までルートが非常に難しかった。





## 5月9日(土)晴・16度

[返信・引用](#)  
[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月9日(土)06時41分17秒

今、

山々の新緑が美しい。  
二週間前は、まだまだ新芽だった。  
二週間で青葉に変わった。

ブナの花を観察したかったが、まだ開花ではなさそう。  
大きなブナは、望遠鏡がないと観察できない。  
花がたくさん咲けば、実も豊作になる。

たくさん咲いて欲しいね。



## 5月8日(金)晴・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月8日(金)05時21分30秒

写真は

先日、御殿場の田園風景。  
御殿場地方の田植えは早い。  
おおむね、5月連休に行く。

この時期、富士山の残雪と相まって素晴らしい。  
ただ、もう少し風がなく、もう少し高い位置から  
撮りたかったが・・・。

世間はコロナで騒がしいが、季節は粛々と進んでいますね。





## 5月7日(木)晴・18度

[返信・引用](#)

[編集済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月7日(木)05時42分24秒

畑に

落花生を蒔いた。

種類は、「オオマサリ」

「オオマサリ」は、普通の落花生の倍くらいの大きさ。

小さい落花生は面白くないので、最初からこの種類。

大きいから、大味と思いきや、そんなことはない。

甘くて美味しい。

昨年まで、何となく実の付き方が、イマイチだった。

先輩のSさんも、そうだという。

先日、たまたま育て方の動画を見ていたら、目からうろこ。

コツが分かった。今年は期待できそう。試してみよう。

秋が待ちどろしいですね。

ちなみに、写真の白いものは、「芽」でなく「根」のようです。

種は、先に根が出て、養分を得て、発芽する。なるほどですね。



## 5月6日(水)晴・20度

投稿者:たかちゃん 投稿日:2020年5月6日(水)05時48分0秒

温故知新=3

- ・ 1972年4月29日～5月7日
- ・ 大町～湯俣～北鎌尾根～槍～鷲羽岳～烏帽子岳～七倉～大町
- ・ 槍まで東 正昭、以後単独
  
- ・ 4/29 沼津（当時、沼津在住。乗降駅は下土狩駅）～大町
- 4/30 大町～湯俣（東を待つ）
- 5/1 湯俣～P2取り付き（泊）
- 5/2 雨、停滞
- 5/3 P2取り付き～北鎌沢出合～独標～槍～肩の小屋（テン場泊）  
行動時間=11時間
- 5/4 肩の小屋～三俣蓮華岳～鷲羽岳～水晶小屋（テン場泊）・・・  
東、上高地に下山  
行動時間=9時間半
- 5/5 豪雨・停滞
- 5/6 水晶小屋～烏帽子小屋～七倉～大町～沼津

### MEMO

1. 5/2、前線通過で一日雨。午後より晴れ間が見え、夜、快晴。
2. 5/5、昨日、15時から雨。低気圧通貨で夜半豪雨。停滞。
3. 単独時、あまり飛ばさない。いつか着く。
4. オーバーズボン（??）持参のこと。（ステテコでも可）??
5. 手袋、もう少しとオーバー手袋。耳当ても。
6. 食料は、長い山行の割によかった。
7. 行動時間は、10時間が限度である。
8. 今後も単独でも歩こう。



158  
160  
72-7-138 ○ 4月27 ~ 5月 7日

- 大町 ~ 湯沢 ~ 北鎌沢出合 ~ 船 ~ 鷺羽出  
~ 高帽子出 ~ 針ノ木岬
- 高帽子出 ~ 東正岬 ~ 河口岬  
船

- 7/29 砂津 ~ 大町
- 7/30 大町 ~ 湯沢 (東正岬)
- 7/31 湯沢 ~ 北鎌沢出合 (北正岬)
- 7/1 北鎌沢出合 ~ 鷺羽 ~ 船 ~ 高帽子出
- 7/2 船 ~ 高帽子出 ~ 鷺羽出
- 7/3 鷺羽出 ~ 高帽子出 (東正岬)
- 7/4 高帽子出 ~ 船
- 7/5 船 ~ 針ノ木岬
- 7/6 針ノ木岬 ~ 大町 ~ 砂津

7/31 ~  
7/30 (晴午珍 夕雨)

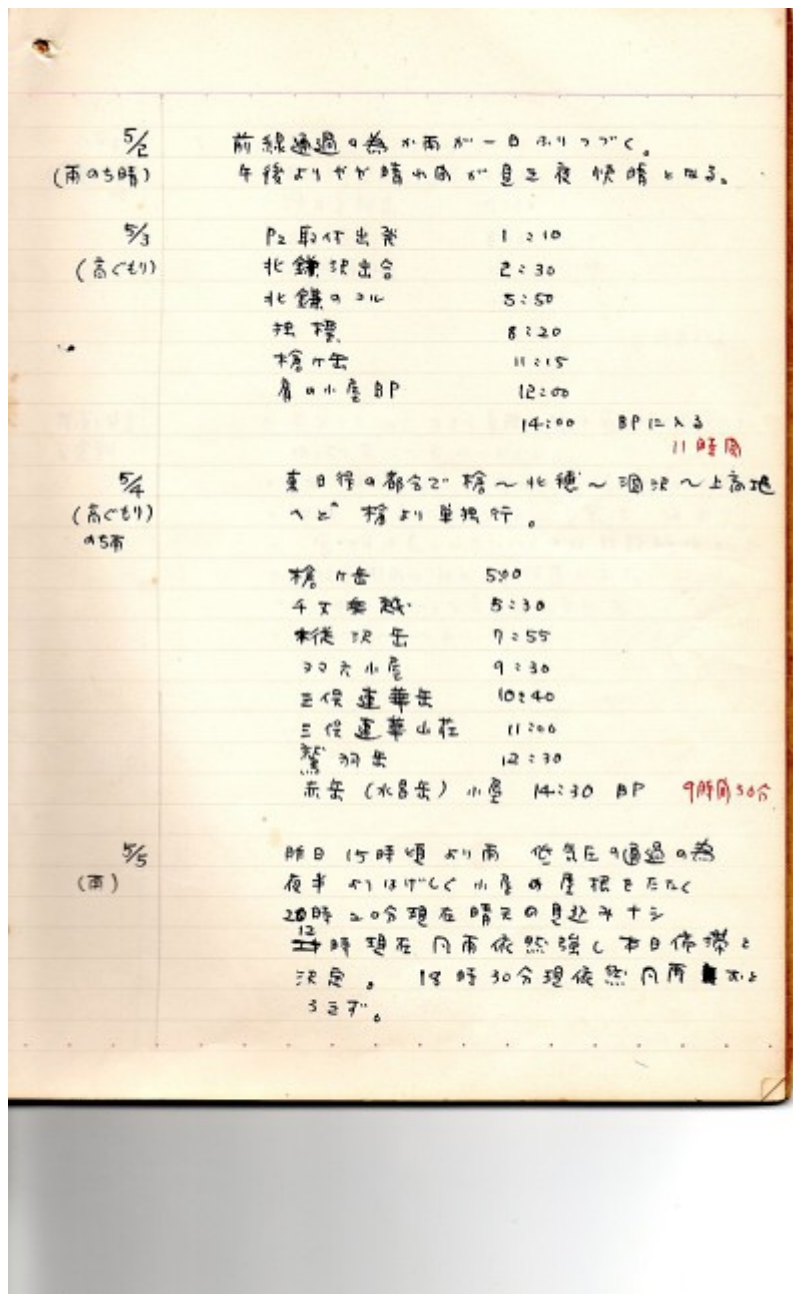
七倉 6:15  
湯沢 10:00 (東正岬)

7/31 (雨) 湯沢 10:00  
北鎌出合 12:00  
P2 取付 BP 14:00 (雨止)

食料計画 (4月27日 5月7日)

日	朝	昼	夜
7/29	持参	持参	持参
7/30	210gPX- エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油
7/31	210gPX- エネ サトウ 醤油	エネ サトウ 醤油 サトウ サトウ	エネ サトウ 醤油 サトウ
7/1	エネ 醤油 サトウ サトウ	エネ サトウ サトウ	エネ サトウ 醤油 サトウ
7/2	210gPX- エネ サトウ 醤油	エネ サトウ サトウ	エネ サトウ 醤油 サトウ
7/3	エネ 醤油 サトウ サトウ	エネ サトウ サトウ	エネ サトウ 醤油 サトウ
7/4	210gPX- エネ サトウ 醤油	エネ サトウ サトウ	エネ サトウ 醤油 サトウ
7/5	エネ 醤油 サトウ サトウ	エネ サトウ サトウ	エネ サトウ 醤油 サトウ
7/6	210gPX- エネ サトウ 醤油	エネ サトウ サトウ	エネ サトウ 醤油 サトウ
7/7	エネ 醤油 サトウ サトウ	エネ サトウ サトウ	エネ サトウ 醤油 サトウ

7/6 魚  
10:00-1  
10:00-  
10:00-  
10:00-



## 5月5日(火)曇・20度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月5日(火)05時04分51秒

温故知新

先日、50年前の連休の山を紐解いたので、今日は、49年前の山。山日記では、

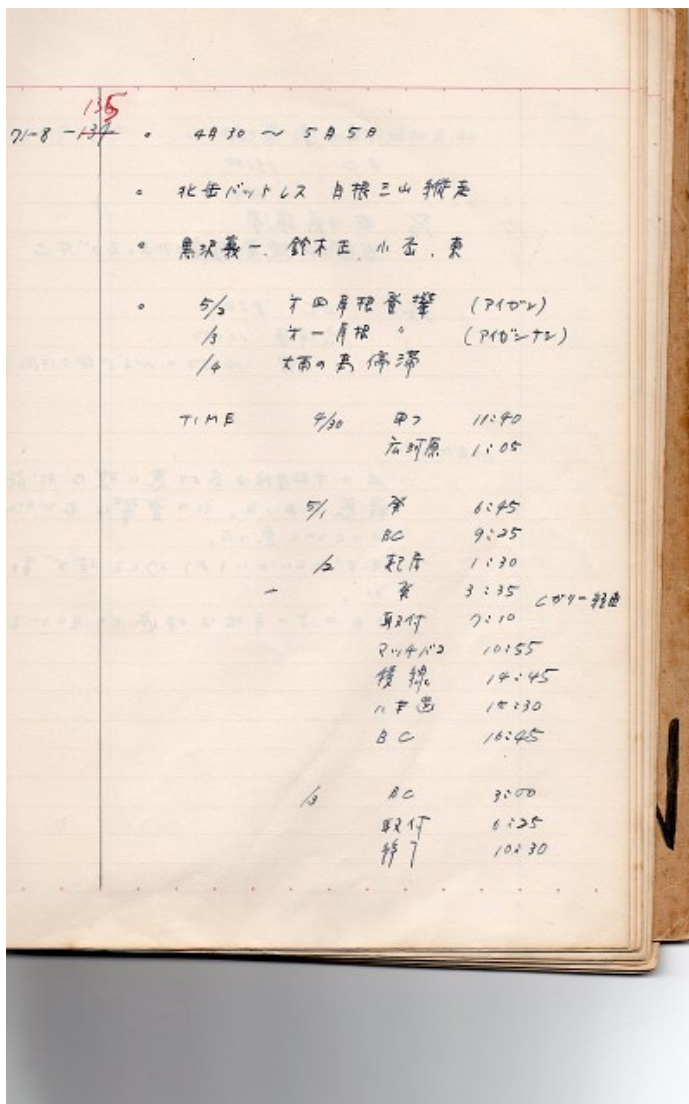
- ・ 1971年4月30日～5月5日
- ・ 北岳バットレス
- ・ 黒沢義一、鈴木正、小岱正男、東 正昭、後藤隆徳

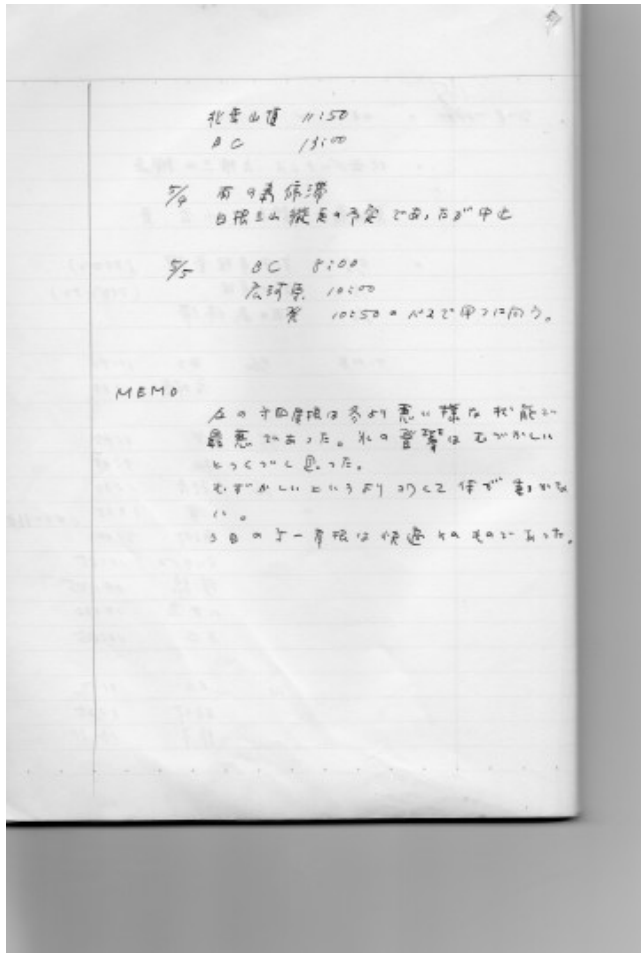
[返信・引](#)  
[用 編集](#)  
[済](#)

- ・ 4/30 甲府 23 : 40 ~ 広河原 1 : 05 (泊)
- 5/1 広河原 6 : 45 - BC 9 : 25 (泊)
- 5/2 起床 1 : 30 - BC 発 3 : 35 - C ガリ一經由  
第四尾根 7 : 10 - マッチ箱 10 : 55 - 北岳 10 : 45  
一八本歯 15 : 30 - BC 16 : 45 (泊)
- 5/3 起床 1 : 30 - BC 発 3 : 00 - 第一尾根 6 : 25 -  
  
終了 10 : 30 - 北岳 11 : 50 - BC 13 : 00 (泊)
- 5/4 白根 (白峰) 三山重曹予定だったが、雨停滞。
- 5/5 BC 発 8 : 00 - 広河原 10 : 00 - 発 10 : 30 - 甲府

MEMO

第四尾根は冬を彷彿させ、最悪の状態だった。  
氷の登攀は難しいものと思った。  
難しいというより、怖くて体が動かなかった。  
第一尾根は、アイゼンなしで快適だった。





## 5月4日(月)雨・19度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月4日(月)06時54分21秒

久しぶりの雨。  
恵みの雨。  
豊作を届ける雨

この時期、「ゼブラ模様」の富士山が  
素敵でした。





## 5月2日(土)晴・20度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月1日(金)19時11分9秒

昨日は

畑のソラマメ（五月豆）試食しました。  
だいぶ、大きくなり親指大になった。  
こうなると、我慢ができない。

大き目のものを8本収穫した。  
毎年書いているが、ソラマメは、「焼いて食べるのがサイコー」。  
魚を焼くグリルで約10分焼く。皮が黒くなればオーケー。

中の豆は、ふんわり・ほんわり・ぐじゅぐじゅ、で美味しいそのもの。  
やっぱり熱いうちに頂きたい。

美味しかったです。今年も、ソラマメの時期がやって来ましたね。



## 5月1日(金)晴・18度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年5月1日(金)05時54分6秒  
時間が

あるので、昨日の五月連休の記録を紐解いた。  
将来は分からない。明日のことも不明だ。だが、  
過去は振り返ることが出来るね。

昨日の

1970年 4/30~5/5 北ア・屏風岩東稜（村岡 博）、  
槍ヶ岳（村岡・小川洋子・和泉光子）は、懐かしい記録だ。  
今から、50年前だから、私は23歳（??!!）だった。

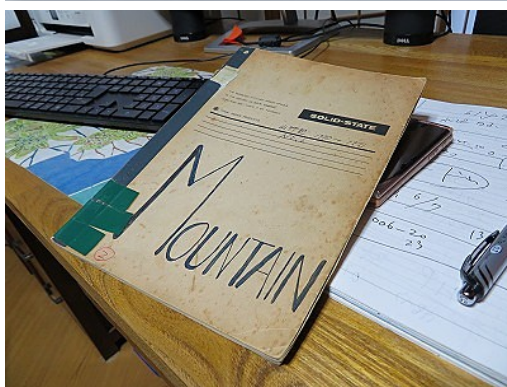
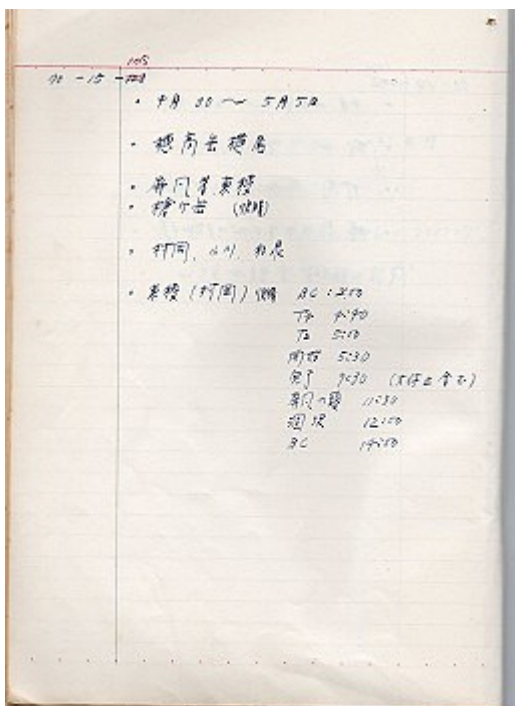
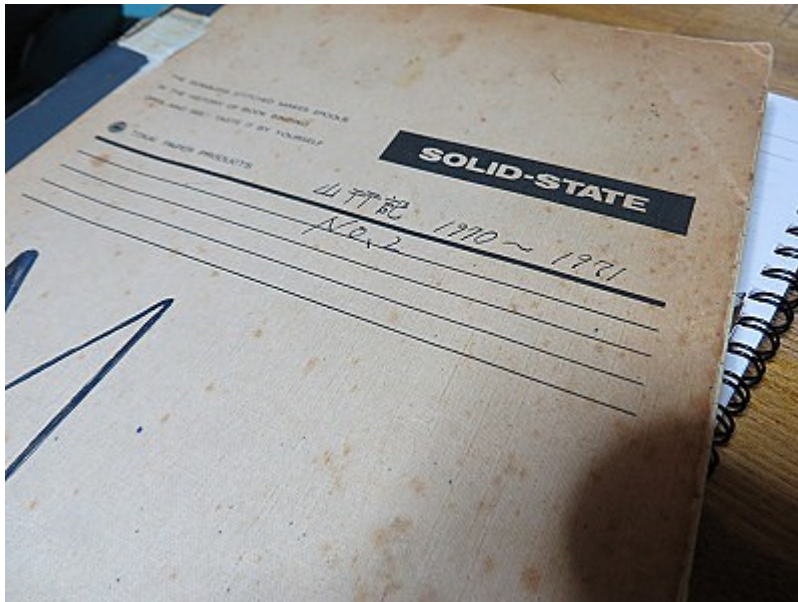
BC	2:00
T4	4:40
T2	5:00
登攀開始	5:30
墜落者目撃	8:00
終了	9:30（大休止含む）
屏風の頭	11:30
涸沢	12:00
BC	14:00

記録の詳細は、あまりなかった。屏風岩のコースタイムだけあった。  
写真もない。残念。ただ、要所要所は鮮明に記憶している。  
横尾谷を渡り、T4テラスまで、案外、しょっぱかった。

T4テラスから仰ぐ、花崗岩の屏風岩は圧倒的だった。上れるだろうか。  
一抹の不安がよぎる。やるっきゃない。いくしかない。のぼるしかなかった。  
現在は、東稜も結構、フリー化されたいるが、当時は最初から「アブミ」  
登攀だった。

天気は良かった。無風快晴に近かった。北穂が大きい。股間から下を覗くと、  
横尾谷に豆粒の登山者が行き来していた。登攀は佳境に達した。東稜  
と呼ばれるように幅1500mある屏風岩の尾根を上っていた。気分はサイコー。  
これ以上のテンションはなかった。

つづく



4月30日(木)晴・15度

[返信・引用](#)  
[編集](#)



1965～2020 5月連休山行実績

今年、残雪の峰々に上れないのは、悔しい・残念・空しい。  
コロナのバカ野郎～！！！！

- 2020 なし(2020・コロナ禍)
- 2019 4/27～5/2  
鳥海・栗駒・至仏(山岳スキー)、浅間隠(登山)
- 2018 4/29～5/1 鳥海・月山・至仏(山岳スキー)
- 2017 5/2～6  
越後・御神楽岳、菱ヶ岳～五頭山、栗ヶ岳
- 2016 4/30～5/1 唐松岳～五竜岳(唐松山荘まで)
- 2015 4/24～26  
唐松岳・頸城駒ヶ岳(登山)・白馬乗鞍岳(山岳スキー)
- 2014 4/26～27 谷川岳・西黒尾根、上州・十二ヶ岳
- 2013 5/3～6  
頸城・駒、青海・黒姫山(登山)、白馬・乗鞍(山岳スキー)
- 2012 4/29～30 阿弥陀岳～硫黄岳
- 2011 5/3～5 上越・白毛門、新発田・二王子山
- 2010 5/2～4 佐渡の山旅
- 2009 5/4～5 唐松岳、頸城・鉾ヶ岳
- 2008 5/5～6 白馬・小日向山、頸城・駒ヶ岳
- 2007 4/29～5/3 白馬・小日向山、頸城・駒ヶ岳
- 2006 4/18～5/1  
ヨーロッパ＝オートルート(山岳スキー)
- 2005 4/29～5/2  
日本海オート・ルート(白馬～朝日岳～親不知(山岳スキー))
- 2004 4/29～5/2 北ア・剣岳一周(山岳スキー)
- 2003 4/25～30  
東北・八甲田山、岩木山、白神山(山岳スキー+登山)
- 2002 4/26～5/2  
日本オート・ルート(立山～薬師岳～槍ヶ岳～上高地)
- (山岳スキー)
- 2001 4/30～5/3  
北ア・北ノ俣岳～三俣蓮華岳～双六岳～新穂高(山岳スキー)
- 2000 4/28～5/2

東北・鳥海山、月山、燧ヶ岳（山岳スキー）  
 1999 4/29～5/3 屋久島・宮ノ浦岳、鹿児島・開聞岳  
 1998 4/23～5/6  
 ネパール・ヒマラヤ＝ヤラ・ピーク（5520m）  
 1997 4/26～30 剣岳（登山）・剣沢（山岳スキー）  
 1996 5/3～5 ハッ・阿弥陀岳、赤岳、硫黄岳  
 1995 5/4～5 奥秩父・甲武信岳～雁坂峠  
 1994 4/29～5/1 頸城・火打山（山岳スキー）  
 1993 4/28～5/1 北ア・霞沢岳、黒姫山、白砂山  
 1992 4/29～5/3  
 西日本＝伯耆大山・氷ノ山・荒島山・御在所山  
 1991 4/28～/2  
 北ア＝北穂・東稜、前穂・北尾根～奥穂～涸沢  
  
 1990 5/2～05 剣岳（早月尾根往復・柳下慰霊登山）  
 1989 5/2～5  
 早月尾根～剣岳 柳下紀之・前剣滑落死亡事故  
 1988 4/28～5/1 鹿島槍ヶ岳（赤岩尾根）  
 1987 5/1～3  
 北ア・涸沢岳西尾根（悪天候で涸沢岳まで奥穂上れず）  
 1986 5/2～5 槍ヶ岳（新穂高から往復）  
 1985 4/27～29  
 西穂高岳 04/29～5/2 鳥甲山、苗場山（単独）  
 1984 5/2～5 鳳凰三山  
 1983 なし  
 1982 なし  
 1981 なし  
  
 1980 5/2～5 爺ヶ岳東尾根～鹿島槍ヶ岳  
 1979 5/2～6 涸沢岳～奥穂高岳  
 1978 5/2～5 戸隠連峰＝一夜山～西岳～高妻山  
 1977 4/28～5/2  
 頸城山塊・妙高山～火打山～雨飾山（登山・単独・3月結婚）  
 （当時、山田旅館、一泊二食＝4000＝）  
 1976 4/28～5/4 加賀・白山～笈ヶ岳  
 1975 4/27～5/3 飯豊連峰～朝日連峰  
 1974 4/28～5/3  
 白沢～餓鬼岳～燕岳～大天井岳～常念岳～蝶ヶ岳～徳沢  
 1973 なし  
 1972 4/29～5/7  
 北鎌尾根～槍ヶ岳～鷲羽岳～烏帽子岳～針ノ木峠

1971 4/30~5  
北岳バットレス＝第四尾根、第一尾根  
1970 4/30~5/5  
北ア・屏風岩東稜（村岡）、槍ヶ岳（村岡・小川・和泉）  
1969 4/29~5/5 八ヶ岳・赤岳～硫黄岳  
1968 なし  
1967 なし  
1966 なし  
1965 なし





## 4月29日(水)晴・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月29日(水)05時54分6秒

畑で

グリーン・ピースを収穫した。  
毎年、この時期が楽しみ。  
グリーン・ピースは、「畑のエメラルド」と呼ばれる  
くらい美しい。

そして美味しい。茹でて軽く塩味でいただくのがよらしい。  
ビアの友としてサイコー。

ただ、わが畑で作る方はいない。何故だろう。不思議だ。  
豆類は比較的作るのは楽。

また、冷凍していろいろの料理に利用できる貴重な作物  
ですね。





## 4月28日(火)晴・16度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月27日(月)17時44分39秒

つづき

チェリーラインを上っていく。正面に真っ白な富士山が素晴らしい。演習所付近の道路わきの山桜が満開。更に上は、マメザクラだった。ただ、富士山・ニッ塚は雪がほとんど無かった。

洞門に着いた。時間が遅かったので、狭い駐車場な満杯。NOは、足立・横浜の京浜地区

とか、中には名古屋NOもあった。ま、希望的観測をいえば、「地元の山」の上って

もらいたいと思うが、富士山は絶対的存在だからね～！！

洞門駐車場は置けないので少し上の道路わきに駐車。そこは既に、やっぱり

県外 NO 車があった。カーブでちょっと心配だったので、道路わきに放置されていた

黄色・黒のゼブラ模様の通行止めでガードした。

そこからニッ塚にダイレクトに向かう。ほとんど上っていないルート。天気は無風快晴高温。様々な小鳥のさえずりが聞こえる。繁殖期だろうか。ルートは、もちろん登山道はないが、ヤブはなく快適そのもの。

富士山は日本一の標高で上部は他にない景観があるが、実は低・中間部の自然が素晴らしい。多くの方は車で五合目まで一気に上ってしまうが、それでは富士山の本当の姿は分からない。

すぐオーバーヒートで大汗をかく。大体いつも同じだが、上り始めの最初は大汗をかく。とことん、絞り切ると安定し収まる。不思議な人体。若干、単独で上っていることに罪悪感があった。

山好きの若手 I とか、ベテラン K とか、H とか、来れば、喜んだであろうと思うと残念だった。いまは「戦時下」だから仕方がない。ここは我慢・辛抱・忍耐・（修行）・でしょうか。

つづく





## 4月27日(月)晴・17度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月26日(日)16時40分9秒

土曜日は、

富士山・ニッ塚(1929m)でした。コースは洞門～・1477m  
～幕岩への道～上塚南～四辻～上塚・下塚コル～上塚～洞門。標高差  
=639m、参加者=単独

この時期、本来、登山はご法度かも。ただ、先のブログに書いた「カナダ方式」ならいいかもと考えた。カナダ方式とは、

1. 登山口まで車の乗り合わせはしない。車一台一人を推奨。
2. 2mのソーシャルディスタンスを守る。

3. 登山道が平らで、日帰りが出来る危険度が非常に低いコースを選ぶ。
4. 登山後は、飲み会や食事はせず、まっすぐ家に帰ること。
5. 往復路、トイレ・SAは極力避ける。
6. 県外に出ない。県内の山とする。 (5・6=私の意見)

である。それが免罪符になると思わないが、やっぱり登山家は、ジムではダメなのだ。今朝TVでやっていたが、瀬戸大地が自宅のプールで泳いでいた。体にゴムを付けて前進しないように泳ぐ。訓練としてはサイコーにいい。

プールは結構大きかった。住まいは東京かその近郊か不明だが、こんなことが出来るのは、マンションでは出来ないし、相当、裕福なんだろう。で、彼が言ったのは、「やっぱりスイマーは、泳がないとダメ」だった。

ジムで筋力を鍛えるのとは、基本的に違うという。その時、私は「山も同じ」と思った。登山家もジムで鍛えることは出来る。ただ、瀬戸と同じように、山でなければ鍛えられない部分はある。

上り・下りの微妙な足の使い方。急登の息つぎの仕方。ガラ場・岩場のバランス。雪渓の上り・下り技術。冷たい風に対する対応。藪でのルート選択などなど、枚挙にいとまがない。ジムでは絶対ダメなのだ。

つづく (写真は、富士山周遊道・チェリーラインの山桜と富士山)







## 4月25日(土)晴・13度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月25日(土)06時20分38秒

外出自粛で何をやるか??

1. 断捨離 . . . . . 不要物片づけ
  2. 楽器練習
  3. 庭整備
  4. HP 整備 . . . . . 温故知新 . . . . . 上げてない昔の記録
  5. 読書 . . . . . 図書館が閉まっているので、蔵書再読
  6. 畑仕事
  7. 料理研究
- などなど。

昨日は、2001年の山岳スキー写真を上げた。  
懐かしかったですね。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-78.pdf>



## 4月24日(金)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月24日(金)07時11分44秒

憂鬱な季節だ。天気は良い。気温も快適。  
だが、外出自粛とは。こんなことがあるか。残念だ。

コロナに関して、「カナダから提言」あった。結果的には国立公園閉鎖になったが、その前に手を打っておけば、閉鎖は免れたかもしれないとの話です。

1. 登山口まで車の乗り合わせはしない。車一台一人を推奨。
2. 2mのソーシャルディスタンスを守る。
3. 登山道が平らで、日帰りが出来る危険度が非常に低いコースを選ぶ。
4. 登山後は、飲み会や食事はせず、まっすぐ家に帰ること。
5. 往復路、トイレ・SAは極力避ける。

(5 = 私の意見)

カナダは、アウトドア立国で、基本的に日帰り登山やハイキングは、事故の可能性が低く、適度な運動は健康によく、ほかのスポーツに比べてソーシャルディスタンスが保ちやすいが根底にあります。  
要はやみくもに自粛でなく、状況を踏まえてということです。

今日届いた労山全国連盟の見解も、絶対自粛というものではない。  
「個人山行は絶対事故を起こさない前提で判断して下さい」との見解です。

また、今朝のTVで山中伸弥教授は、今後はコロナとの「闘い」でなく「共存」提言していた。ただ、「共存」て難しそうですね。

写真は、中伊豆「たか惣」の新しい「ワサビ・モナカ」





## 4月23日(木)曇・15度

[返信・引用](#)

投稿者: たかチャン 投稿日: 2020年4月23日(木)06時23分31秒

[編集済](#)

ついに来るべきものが来た

山岳スポーツ愛好者の皆様へ

新型コロナウイルス感染被害は拡大の一途をたどり、ついに緊急事態宣言対象地域が全国に拡大しました。

山小屋の従業員を感染から守り、宿泊登山者の3密による相互感染を防ぐため、多くの山小屋やスポーツクライミング施設の閉鎖が相次いでいます。

新型コロナウイルスは、潜伏期間が長い、感染しても自覚症状がでない、一度陰性になっても再度陽性反応がでる感染者が多く見られます。このような潜在的感染媒介者には若年・壮年層が多いのも特徴です。

全国民が、外出制限、商業施設の相次ぐ閉鎖あるいは在宅勤務等々、日々逼迫した窮屈な生活を強いられています。このような現況下で、都市を離れ、清浄な空気と自然を求めての登山やクライミング行為は、出先の方々への感染を広め、山岳スポーツ愛好者自身が感染するリスクを高めます。

この緊急事態に対処するには、山岳スポーツを愛する皆様の他者への思いやり、そして何よりご自身の感染防御に専心され、事態の収束を見るまで山岳スポーツ行為を厳に自粛していただきますよう山岳四団体としてお願いいたします。

山岳スポーツに係わる皆様の緊急事態宣言へのご理解とご協力で、感染症拡大阻止に寄与し、この未曾有の感染危機が一日も早く収束することを願っております。

近々事態が収まり、山で、岩場であるいはスポーツクライミング施設で皆様と再びお会いできる日を楽しみにしております。

#### 《山岳四団体》

公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会

日本勤労者山岳連盟

公益社団法人 日本山岳会

公益社団法人 日本山岳ガイド協会

わが山岳会母体の全国連盟の要請では無視は出来ない。

登山人生55年でこんな事態は初めて。

さて、解除までどうしよう??!!





## 4月22日(水)曇・16度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月22日(水)06時15分48秒

つづき

- ・ 1033m峰に立った。ここから今回の山行のハイライト。
- ・ 849m峰まで複雑な尾根が続く。慎重に下降が始まった。しかし、結論からいうと今回の下降ルート選定は大誤りだった。

1. 上図、ピンク太字がGPS下降予定ルートだが、何故か最初から外れていた。
2. また、そもそも下降設定ルートが正しくなかった。ここは、2019/9に上っている。

その時のGPS軌跡は、ピンクより北のルート of 赤細線。

3. ピンク下降予定ルートを外れたが、一旦、ピンクルートに乗った。  
この時点で左に沢状地形を確認している。  
ここで沢の北の尾根に気が付けば問題なかった。  
しかし、何故か右の尾根に向かってしまった。  
右の尾根は目視ではハッキリした尾根だが、地図上では明確でない。
4. GPS軌跡を見ると、これは完全に「迷走」である。  
また、下った尾根は、実際は明瞭な尾根だが、2万5千図ではハッキリ確認できない。
5. 正規ルートに戻るべく、荒れた沢を横断したが、非常に厳しく危険なものだった。
6. ・849m峰手前で、ようやく正規ルートに戻ったが、当たり前だが、やっぱり正規ルートは「安全・安心・安定」している。  
正規ルートに戻らず、そのまま下降するかの考えもあったが、結果的には、戻って正解だった。また、ここまで突っ込む前、もう少し上部で戻るべきだった。（ただ、尾根が不明だった）
7. 2万5千図は、ある程度、拡大しないと明確に尾根など分からない。
8. I が今回地図読みに積極的でなかったが、（メガネが不調だった??）  
万全の態勢で臨みたい。

つづく





## 4月21日(火)曇・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月21日(火)05時47分17秒  
つづき

下っていくと少年が上ってきた。聞けば、両親と妹と来たという。西沢経由の結構大変な道を頑張って来たようだ。下に両親と妹がいた。その先の日当たりのよいベンチに単独行が昼食を摂っていた。結局、この日、人に会ったのは、7名だった。濃厚接触なし。

傍らに最近では珍しい「土管」が何故か転がっていた。「土管」は昔、東海自然歩道でよくみた。地中に埋めてあり、タバコの吸い殻など捨てていた。ただ、ゴミは回収されないので、いつも溢れていた。

最近では、全く見られなくなったが、何故ここに転がっていたのか。



一般道はコルから人工林の中を西沢に向かっていった。

我々は一般道を外れ、左手の急登に行く。

我々も腹が減った。昼食は展望の良い・1119m峰を予定していた。が、Kは善六のタワと思っていたらしく、いつまでも昼食にならず、大いにクレームだった。

・1119m峰まで上り69mはキツかった。しかし、やっぱり上りきって良かった。燦燦と陽光が降り注ぎ暖かく、展望は素晴らしい。さっきまでいた畦ヶ丸が大きかった。

ここでゆっくり昼食。食後はあまりに気持ちがいいので、30分昼寝もした。これは珍しいことだ。

30分の昼寝で心身はリフレッシュ。午後の山行に移る。

まずは・1033m峰に向かう。

いい感じの尾根が続く。大きなブナが林立する。素晴らしい丹沢。

・1033m峰に立った。ここからが今回の山行のハイライト。

・849m峰まで複雑な続く。ルートを見極め慎重に下降を始めた。

つづく





## 4月20日(月)雨・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月20日(月)06時25分23秒

昨日は、

西丹沢・西沢～上権現山(1138m)～畦ヶ丸(1292m)～善六の  
タワ～・1119m峰～・1033m～・849m～720m峰～西沢で  
した。累計標高差=約935m、天気=晴れ、参加=3名。会った方=頂  
上2名、下り=4(子供二人ずれの親子)+1名のみ。

世の中、コロナ・コロナですが、登山は別世界と考え実施。西丹沢自然教  
室に着いたら、予想に反して、首都圏を中心に50台ほどの車にビックリ。  
山の世界には、コロナは存在しないのか??

西沢を遡り、上権現山・東尾根に取りつく。頂上まで標高差約588m。厳しい上りだった。頂上から北の大室山（1587m）を仰ぐと、昨日、降ったと思われる、新雪が光っていた。

頂上から、西沢分岐まで108m下降。ただ、何故か分岐はパスしてしまった。

分岐を過ぎ、特徴的な地形で気が付いた。パスは以前もあった。ルートが変則的なのか。

分岐から畦ヶ丸まで標高差約277mの上りは厳しかった。花は、ミツバツツジも開花なしで、山桜が少しと、お山はまだまだ冬枯れ状態だった。モーレツな上りをこなし畦ヶ丸着。とても1300m程度の山と思えなかった。

頂上にアベックが2名、早くも昼食だった。バリエーションゆえ、思わぬ所か突然現れた、我々闖入者に少し驚いた様子。ただ、濃厚接触は避け  
遠くから挨拶のみで、すぐ善六のタワ（たわみ・峠）に下った。

つづく





## 4月18日(土)雨・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月18日(土)05時45分25秒

昨日の

夕餉は、山菜パレードでした。

ワラビ採取は今回二回目。ちょっと高い所だったので少し早かった。大きいものだけいただいた。

タケノコは、前日報告のもの。アクが抜けて味付けをしていただいた。前回のものより美味しかった。あまり早い時期のものは成熟度が低いだろうか。

フキは、中伊豆の某所でいただいた。近年、フキも少なくなっかなか見つからない。地主が作っているものも多く注意が必要。今回は、無断でなく許可をいただいて採取。フキは、サイコーに美味しい。

コゴミは、伊豆にもあった。普通、雪国・寒冷地が多い。伊豆ではなかなか見られない。コゴミの語源は、「屈み」からきている。独特の風味がある。お浸しもイイが、みそ汁もよろしい。

ほか、仲間はアケビの新芽をいただいている。これは以前、新潟で初めて食したが結構、行けます。

そんな訳で春は、嬉しい・楽しい・美味しいですね。



## 4月17日(金)曇・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月17日(金)08時10分57秒

昨日は、

某所で第二回「タケノコ掘り」でした。  
小一時間ほどで、実質、二人で写真のような成果でした。

2～3日前、大雨だったので、掘りやすかったです。  
道具は、スコップのみ。  
大げさな道具は必要ない。

スコップでも、長くても10分あれば掘れる。  
食べるのも嬉しいが、掘るのが楽しい。  
うまく掘れたら、快哉です。

春は愉快的な季節ですね。





## 4月16日(木)晴・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月16日(木)06時05分18秒

14日、つづき

11:30、椿丸で昼食。このところ3回連続で昼食が12時を回っていた。やっぱり、昼食は12時前が望ましい。

県外登山の場合、登山口発9:00ころ。上り4Hだと、どうしても12時を回ってしまう。

長泉発6時の場合、朝食は4時半。12時を回ると「空腹登山」がつづく。あまりに空腹になると、本当に力が出ない。血糖値は落ちてフラフラだ。それにガツガツ食べると、体に良くない。食事は、ゆっくり・まったりいただきたい。

展望は素晴らしかった。左に大拇(1204m)、奥に菰釣山、その右に大室山の頂がちょこん。犬越路を経て、檜洞丸、さらに盟主・丹沢山が屏風のごとく連なっていた。

昼食時間は十分あったが、風が冷たかった。それでも(いやしく)ビア・ツー(2本)だった。つまみは春らしく、ウド・新タマ・タケノコ。仕上げは先日、同行者が「ぽつんと一軒家・静岡」のTVでやっていた黄色い黄金のお茶。

このお茶、何と50g=5000-!!!(1g=100-)という。そんなお茶飲める??でも、いただいた。確かに美味しかった。甘味・渋み・苦味がサイコーだった。若い男子のIは、全て食べてしまっ

た!!!  
(笑い)

つづく





## 4月15日(水)晴・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月15日(水)06時32分3秒

裾野麗峰山の会

会報「れいほう」5月号を発刊しました。  
ご覧下さい。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>

昔、労山の指導者で、波木井さん(??)という方がいた。  
その方の理論は、理想的な山岳会は、  
「決められた会合・定期的な会報発行・豊かな山行」と提唱  
された。

会報は豊かな活動がないと発刊出来ない。豊かな活動は、しっかり  
した会合がないと出来ない。会報はその結果で、会活動の証。  
すべて連動しているといえる。





## 4月14日(火)晴・12度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月14日(火)06時27分36秒

つづき

大又沢をやりすごし、少し先のヘアピンカーブのカーブ・ミラーが椿丸・南尾根の取りつきだった。立派なふみ跡が伸びていた。多くの方が上っていると推察された。

例によって、最初から物凄い急登。綺麗な尾根が続いていた。山名になっている、やぶ椿が点在していた。丹沢は、「丸」の名称の山が多い。檜洞丸・畦ヶ丸・大丸など。「丸」は、「山」と同じ。ただ、「山」より響きはよい。

快適な尾根をグングン上る。藪はまったくくない。暑くて汗が噴き出る。上はアンダー・シャツ一枚になる。後方には、ミツバ岳がいい感じで上がってきた。

盛りは過ぎたミツマタが多かった。早くもミツバツツジが開花していた。ハルリンドウも小さな花をつけていた。陽光はサンサンと降り注ぎ、春爛漫だった。

椿丸が近づくと防火帯のような幅広登山道になった。北は自然林、南は人工林だった。人工林からの風は冷たい。ほどなく椿丸着。ネットでは、山名表示板があったが、見当たらなかった。表示板がない山は、名無しで何か寂しい。

椿丸は、標高902m。1000m以下だから、決して高い山でない。だが、行程が長いので2時間半かかった。北は大展望。南は自然林でサイコーの頂だった。大展望は伐採したからだった。ただ、人工林の

伐採でなく自然林の伐採だった。普通、考えられないが事実だった。

つづく



4月13日(月)嵐・13度

[返信・引用](#)  
[編集](#)

土曜日は、

西丹沢・椿丸（902m）登山でした。コースは、世附（昔は、ゆずく・今は、よずく）浅瀬ゲート～大又沢～椿丸・南尾根～・862m峰～850m峰

～南尾根～旧山神峠～旧三保山荘～吊り橋～林道～浅瀬。

天気＝晴れ・上部風あり、累計標高差＝約672m、参加＝4名。

登山は55年、1862回だが、丹沢にこんなステキでロマンチックな山があったとは知らなかった。ただ、名称は2万5千図表記はない。あくまで、通称・ローカルネームである。

コロナ・コロナ・コロナで出かけるのは、不謹慎・非国民（古い??!!）と非難を受けそうだが、登山は「三密」でないし、散歩の延長と考え出発。むしろ、家に籠っているほうが、精神・肉体に悪い。

桜満開の丹沢湖を通過し浅瀬ゲート着。車は何故か多い。天気は良い。ゲート先に小屋がありオジサンが薪を割っていた。聞けば、オジサンは、釣り管理人で、入渓者を管理をしているという。

車が多かったのは、ほとんど釣り人だった。世附川の地図があって、どこの沢に何人入っているか表示されていた。これで、入渓者が重複することは避けられる。なかなかいい方式である。

若い衆が一人声を掛けてきた。聞けば、釣りでも登山でもなく「逍遥（しょうよう）」大又沢に昔あった、森林軌道跡を見に行くといった。釣り小屋のオジサンの話では、昔は浅瀬まで軌道があり、材木の集積場があったという。そういえば、玄倉川・小川谷にも軌道レールがあったなあ。

大又沢にかかる橋を渡る。ここに石碑がある。2万5千図に記載がある。大きいものと思ったら小さいものだった。読んだが分からない。一番上は梵字だが、以下は不明。ただ、小山町は読めた。この林道は、昔、山中湖に抜ける街道だった。その関係だろうね。

つづく



**4月11日(土)晴・14度**

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月11日(土)05時06分29秒  
タケノコ

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

シーズン。  
元巡礼の仲間のところで掘らせて貰った。  
例年、桜が満開のころがよろしい。

どうかと思って出かけたが、丁度、地表から頭が少し  
出ているくらいでタイミングはよかった。

道具はスコップのみ。  
周りを掘って、ある程度タケノコを露出させたら、曲がっている  
背中をグサリ。

途中で折れると勿体ない。  
根の部分のイガイガから掘り出したい。

結局、いいものを4本だった。先日、八百屋で同様のモノが  
一本＝800ーだった。  
まだまだ、高い。

家に帰り、すぐアク抜き。翌日、いただいたが美味しかった。  
タケノコは、何故か食べたい。すぐ早く食べたい。何故だろう。  
不思議な味ですね。





**4月10日(金)晴・15度**

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月10日(金)06時05分19秒

昨日は

富士霊園に桜を見に行った。  
いま、盛り。  
素晴らしかった。

車は下の駐車場に置いて、展望台まで歩いた。  
ちょっと汗をかき、気持ちよかった。

人出は、それほど少なくなかった。

高齢者も多かった。

ただ、富士スピードウェイが近くで、バリバリ・ブウ〜ン、ブウ〜ンと排気音がうるさかった。

あれでは、埋葬者が安らかに眠れないね。





## 4月9日(木)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月9日(木)06時19分51秒

巡礼の

Nさんに、「真鯛」をいただいた。

大きさは約40cm、重さ2.2kgの丸々太った立派なもの。  
この時期、「桜鯛」「花見鯛」とも呼ばれるようだ。色はさくら色、  
ピンクで実に美しい。

2.2kgは大きく重い。冬の登山靴が片足1kgない。  
両方持つとズッシリくる。それ以上だから、かなりの重量。

とても自分では下せないなので、近くの魚屋に頼んだ。  
主人曰く、「買えば4000円」するといった。  
ま、買うにしても、こんな大きなものは、なかなか売っていない。

夕方、魚屋に取りに行って、いただいた。  
美味しかった、甘かった、新鮮だった、シコシコ・コリコリだった。  
Nさんの話では、「釣り上げて3~4日がサイコーに美味い」そうだ。

これはよく聞かれる話。置くことにより、タンパク質がアミノ酸  
＝うまみ、に変わるといふ。ならば、明日・明後日がサイコーかも。

いずれにしても、「ありが鯛、ありが鯛」。ご馳走様でした。  
合掌していただきました。





## 4月8日(水)晴・13度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月8日(水)05時46分53秒

今日は、

4月度・伊豆巡礼でしたが、コロナで中止・延期でした。  
サークル活動は定年後、13年やっていますが、悪天候以外で休止は初めてです。

つづき

ただ、恒例の赤岳を上れなかったのは心残り。恒例＝高齢か??  
上から数人下りて来た。中に「六本アイゼン」の輩がいた。  
カチカチの雪面で腰が引けている。危険極まりない。

思わず「こんなアイゼンでは危険です」といってしまった。  
本人もそれを承知していた。困ったものだ。

頂上下でシュカブラの「タテシナ・アイス」を頼張った。  
なだらかになり、ゴロゴロ岩を越えて頂上着。  
どこかのご婦人に集合写真を撮ってもらった。今回も12時を回ってしまった。  
昼食を早く食べたいのですぐ下山。

頂上から西南に回り込むと、暴力的な風の洗礼。蓼科は強風で有名。  
ゴロゴロ岩をこなし樹林帯に逃げる。下山道は、ガジガジの氷道だった。  
今年の少雪を象徴していた。とにかく腹が減った。

今回で3回連続「空腹行脚」だ。やっぱり日帰りは時間が厳しい。  
13:15、風を避け昼食。ビヤをやってホッと一息。  
私が持参した「初物ワラビ」を皆でガツガツ食べた。

下山は、物凄い氷道だった。これが延々と続いた。  
三角点の2114mで一旦、アイゼンを脱いだが、  
その下で再び履いた。ただ、女性軍はノー・アイゼンでスイスイ。  
ま、荷物が重いと氷道は厳しい。

無事、ススラン峠着。標高差の割に厳しい山だった。  
温泉に入ろうと、「滝の湯」に入館したが、1400-+消費税でやめた。  
すぐ下の、「小齊の湯」は、税込みで700-。座敷の休憩所利用可。  
こちらに入った。少し塩分がある、サラサラの綺麗な温泉だった。

温泉後は、「長寿更科」で空腹を満たし、アルコールの消毒した。  
諏訪の酒「高天」は美味しかったが、何故かうすい気がした。  
疲れていると、案外、味覚が狂う。（疑似コロナ??）

八ッの雪山は今回で賞味期限が切れたか。今回も完全燃焼。満足いく山でした。

おわり



## 4月7日(火)晴・12度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月7日(火)05時49分29秒

つづき

将軍平・蓼科山荘分岐の天祥寺平まで案外長い。天祥寺平から仰ぎ見る蓼科山は素晴らしい。ただ、蓼科山は樹林帯が八合辺りまで伸びているの

で、  
雪化粧が見られず残念。分岐で休憩。空腹を感じたので腹を満たす。

K手製の「タイ焼き」をいただく。美味しかった。道標を左折して將軍平に向かう。

上りのトレースはなく、下りのトレースだった。樹林帯を黙々上る。雪は深くなく締まっているので歩き易い。途中、大きなガレ場を通過する。上から若い男性が下りて来た。随分、早い。

上りがキツくなった。今回の山は、全体で標高差が1000mない。天祥寺平から將軍平の標高差は400m。しかし、キツイ。やっぱり、3時起床、5時発が原因だろう。上れど上れど蓼科山荘は遠かった。背の低いブッシュがうるさかった。

ようやく蓼科山荘着。苦しい上りだった。休憩するが寒い。すぐ出発。山荘から踏み跡が多くなり、歩きやすくなった。上からド派手なファッション・モデルみたいな、ご婦人が下りてきた。

スタイルは良い。聞けば、白樺高原スキー場七合目から来たという。こちらは、標高差が700mと楽ちん。「上は風が強い。上っ張りを着たほうが良い」といった。

次第に展望が広がる。しかし、雲が多くスッキリしない。今年、権現岳・三ツ頭、横岳・杣添、硫黄岳、蓼科山とよく上って来た。

つづく





## 4月6日(月)曇・15度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月6日(月)06時24分24秒

土曜日は  
八ヶ岳・蓼科山(2531m)でした。

裾野麗峰山の会・山行報告書

文・写真 GT

山行NO. 1860

日時 2020/4/4(土)晴・上部強風

山域 ハツ・蓼科山(2530.7m)

コース 長泉5:00ー諏訪南ICーピラタス・スキー場(トイレ)ー  
竜源橋下駐車場ー登山口発8:37ー蓼科山・將軍平分岐1  
0:21ー蓼科荘11:52ー蓼科山12:41ー昼食13:  
15~44ースズラン峠15:15ー登山口15:30

累計標高差 上り 竜源橋登山口約1650m~蓼科山2531m=約8  
81m  
下り 同上

快適度 (5段階評価) 4 (将軍平下やや藪うるさい)  
参加者 後藤、加藤、星、井上=4名

久しぶりの蓼科詣で。長泉5:00発。富士ICでK、Hを拾う。  
今回は、H、Iの上っていない蓼科山を選んだ。諏訪南ICからアプローチ。  
途中、コンビニがなかったので、ピラタス・スキー場のトイレを借りた。  
綺麗なウオシュレットで有難かった。

竜源橋下駐車場から出発。天気は良い。水源地脇から上ったが登山道でなかった。ビーナス・ラインを上り返し正規登山口から再出発。樹林帯で凍った道が続く。30分上ったところで、堪らずアイゼン装着。大きさを調整していなかったHのアイゼンがすぐ外れた。

アイゼンは入山前に調整していなかった。これは基本的でない。  
いったん外して、ネジを緩め一目短くする。ところが、車に「ねじ回し」  
を置いてあったが、持参しなかった。

困ったと思ったらKが「このシャレルのアイゼンは、ねじ回しが付いている」という。アイゼンは元々、御殿場のNから私が譲り受けたものをKに上げた。だけど、私はその「ねじ回し」は知らなかった。

確かにバンドを締めるリングの形状が、「ねじ回し」になっていた。  
ひとつ勉強になった。一目詰めたら、ジャスト・フィット。  
良かった。これはなかなか「おシャレ(ル)」だね。

前を三名歩いていった。年配者の感じだったが、全員最近見られなくなった、「尻皮」を付けていた。これは、休憩時、雪の上に座るとき、お尻が冷えないようにするもの。カモシカの皮がサイコーらしいが、私は何となく「年より臭くて」イマイチ、シッコリこない。

つづく





## 4月3日(土)晴・14度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月3日(金)17時55分1秒  
過日、

某所で「ワラビ狩り」でした。  
今春、最初。  
例年、この時期に訪れる。

結果、期待通りでした。  
ま、今後はガンガン出るだろうが、やっぱり、初物は  
いただきたい。

タケノコも期待したが、まだまだ、早いようだ。



タケノコも早く食べたい。  
何故か、タケノコは美味しくて、やめられない・とまらない。

春はいいですね！！！！



## 4月3日(金)晴・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月3日(金)06時38分33秒

またまた、

一番恐れていたことが起こってしまった。長泉町の北欧帰りの70歳代の女性の感染が判明した。

新聞によると、3月16日帰国。発熱の症状はなかったが、23日から30日まで経過観察。しかし、27日ごろ発症が判明。女性は近所の人に会うなどしているため、濃厚接触者の特定を行っている、という。そんな折、山の仲間が「コロナに思う」の話を寄せてくれました。

新型コロナウイルスに思うこと・・・ あさぎり山の会 村上恵理

新型コロナウイルスが大騒ぎになっています。先日お店に植木用の霧吹きを買いに行ったら、

携帯のアルコール除菌に使うとかで売り切れていました。

テレビの電源を入れると、さかんに手洗い、マスクの装着、アルコール消毒を奨めています、

なりより重要なことは、それぞれが自分の“免疫力”を普段から高めておくことではないでしょうか？

あるサイトで、『首相官邸が発表している「新型コロナウイルスに備えて」の中で、

一人ひとりができる新型コロナウイルス感染症対策として、十分な睡眠とバランス

のよい食事を心がけて“免疫力”を高めることが重要である、と書かれていた』

という文章を見つけました。でも残念ながら、ニュースやマスコミの話題には、

『免疫力』の部分はほとんどでてこないような気がします。

この騒ぎが始まったまだ早い段階で、関東で漢方薬剤師として活躍している長谷川恵さんが、

タイムラインでこんなことをいっていたので紹介します。

※※※※※※※※※※※※※※

新型コロナウイルスが大騒ぎになっていますが、不安に怯えるより、知識をもちましょう。

免疫力は心が30%、腸内環境が70%。コロナウイルスもインフルエンザウイルスもウイルスは

弱いものです。菌より格段に弱い。飛沫感染で伝わりますが、温度や湿気に弱いです。

また、ウイルスのタンパク質はとても壊れやすいです。閉鎖された環境ではなく、  
風通しよく過ごしましょう。鼻や喉の粘膜を守り、身体の中は腸内細菌に守ってもらいます。  
アルコール消毒や界面活性剤の石鹼もコロナウイルスを壊しますが、植物が持っている  
栄養素のなかにも、ウイルスを包み、動きをとれなくしてくれるものがあります。  
抗酸化作用をもつ食物も強い味方になります。  
ウイルスを怖がるより、自分自身の免疫力を高めましょう。  
100%防御できると安易な事は決して申し上げませんが人間の元気な体作りは、  
3大栄養素、ビタミンミネラルなどの必須微量栄養素の底上げ、ライフスタイルの改善が  
基本ベースです。環境が激変する中、日々私たちが日常でできることだと思います。  
予防や、大難が小難に転じることもできると思います。  
※※※※※※※※※※※※※※

これだけ大騒ぎになっている以上、それこそ安易なことは私も言えませんが、でも、  
私たちの体はしばしば小宇宙にたとえられるほど、実に精巧な仕組みをもって作られているのです。

その力を信じ、自然の摂理に乗っ取った生き方をしていれば、恐れることはない、  
そんな気がします。  
それができていたなら、もしかしたら、「いつもより風邪がはやっているね」、  
くらいのスタンスですんでいたかもしれませんね。

さて、皆さんは自分の免疫力をどうやって高めますか？

(注)タイムラインは一部抜粋、変更させていただきました)



**4月2日(木)晴・14度**

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月2日(木)05時27分27秒

コロナ渦は、

[返信・引  
用編集  
済](#)

ついに私の行事に影響を及ぼした。

伊豆巡礼B班は年配者が多い。昨日、富士宮で感染者が出た。

10日、富士から参加の方が、即、反応した。

本人もさることながら、家族・親戚・知人などなど、反対者が多いようだ。静岡県東部もこの勢いで拡大すると最悪。ただ、感染者は、海外帰国者・病院関係が多い。その所は、抑えたいね。

話変わってダニー・ボーイの話。

確かに過去、ダニに2回やられた。頭が不調なのはあれからか??!!

ほかに、ハチ刺され被害もあった。2005年・奥秩父の和名倉沢に入った。午後、ザイルをつけ、トップで岩場のへつり（トラバース）にかかった。

30m進んだところでハチの襲来を受けた。岩場は曲がっていて確保者は見えない。加えて沢の音で声も届かない。ハチは、岩場で動きが取れない私をいのように襲った。

大きなハチではなかった。一般的に地ハチと呼ばれるものか。

ミツバチくらいだった。しかし、岩場で動きが取れない。

進もうにもザイルで確保され進めない。声も届かない。

後退も出来ない。ようするに、ハチにいのように刺された。

つづく





## 追伸

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月1日(水)06時19分27秒

下田・下田街道さま

投稿、ありがとうございました。  
私も過去、2回やられました。

一度は、白神山地のヤブをトップで上っていた時。  
数時間後、背中がチクチクする。  
下着が肌から離れない。下着の上からダニが噛みついていた。  
引っ張って除去した。

二回目は、伊豆の山。日曜日、やはりトップで上っていた。  
水曜日になって背中がチクチクする。見たらダニが食いついていた。  
引っ張って除去。

食われたのは、いずれもヤブ。  
今回Sさまのようにザックからは経験がない。しかも本人でなく  
家族の方とは意外ですね。

山で休憩時、ザックは草むらに置くことはしばしば。  
今後、気を付けよう。ザックを家に持ち込むときは、念入りに  
クリーニングを施しましょう。ワセリンは、いい方法ですね。

追伸 ダニに食われた私は、「ダニー・ボーイ」でした。  
いやいや、今回は。「ダニー・ガール」でしたね。（笑い）





## 4月1日(水)雨・15度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年4月1日(水)05時51分43秒

[編集済](#)

4月です。

コロナが止まらない。  
新しいウイルスは、免疫がないから蔓延するか。  
それにしても、随分、簡単に広がる。

今週は、月曜日から「小豆島おへんろ」だったが、結局中止。  
年配者が多く、家族・兄弟・親戚など、「やめろ、やめろ」の合唱。

伊豆巡礼も来週予定だが、どうなるか先が見えない。  
換気・密閉状態・濃厚接触を避ければ、それほど問題はない  
と思うが、実際は葬儀・卒業式・会食で感染が広がる。

天気も悪い。山・畑も行けない。プール・ジムもダメ。  
家に体育館があればいいが、ストレスが溜まる。こんな時はどうする。  
ま、普段できない、溜めている仕事をやるか。

倉庫の断捨離・パソコン掃除・山道具手入れ・山の研究などなど。  
ただ元々、マグロ人間で動かないとダメタイプ。ある程度は体を  
動かしたいね。





## 3月31日(火)曇・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月31日(火)08時51分28秒

3月が終了です。早い。

志村けんの急逝は、ショックでした。  
人間てこんなに簡単に死んじゃうものか??

やっぱり、芸能人は、睡眠・運動不足は否めないか。  
相当、体は酷使していたんだろう。

写真は、うちのラブ子の散歩です。  
老犬で長時間は無理ですが、短時間ならOKです。  
人間と同じで、散歩は、気持ち良いようです。



## 3月30日(月)曇・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月30日(月)06時35分23秒

土日は

悪天候で、行事・山行はすべて中止。  
たまにはこんなこともある。

昨日は、午後から晴れたので、荷物12kgを背負って  
沼津・角池までウォーキング。

普通に歩いて一時間ちょっと掛かる。  
角池は、土曜日「お花見」を計画していた。  
しかし、桜はパラパラで、これからだった。

コロナにめげず、散歩者は多かった。  
野外活動は、問題ないだろう。  
このままでは、コロナ・コロナで太陽もかすむ。

ただ、感染経路が不明は怖い。どのようなことでしょうかね。





## 3月28日(土)雨・16度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月28日(土)05時02分5秒

つづき

伊東漁港前を通過する。

第一回・伊豆ウオーキングは、2018年4月25日。

出発地の汐吹崎が近くなった。

第一回の当日午前は、物凄い暴風雨で皆さん、ズブレになった。

道路は氾濫し靴はグジャグジャだった。

ただ、私は「長靴」履いてきたのでれなかった。(ゴメンなさい)

R135を離れ旧道に入る。やっと静かになった。

海がキレイ。手石島が見える。

ここは潮が大きいと、小規模の「トンボロ」が出来る。

将来は、大きくなるかも知れない。

汐吹崎手前で天城の向こうに富士山頂が見えた。

懐かしい汐吹崎着。「汐吹現象」が見えるらしいが、この日は波が静かすぎた。

諦めバスで伊豆高原に向かう。桜並木の「ソメイヨシノ」は、殆ど咲いていなかった。

めげずに「さくらの里」に上る。ところがどうだろう、さくらの里は、

様々な桜が満開状態だった。良かった。天気は良く風はない。

ここで「お花見」を敢行。

サイコーのお花見だった。コロナなど何処かに飛んでしまった。

Kが中心になり、女子が作ってくれた「とん汁」は、具沢山で美味しい美味しい。

これだけでお腹が一杯になる。

「ゆっくり・のんびり・グビグビ・ゴロゴロ・まったりまったり」して終了。

バスで赤沢温泉郷に向かい温泉。

久しぶりに快哉を叫ぶ、完全燃焼のウオークでした。

おわり





## 3月27日(金)曇・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月27日(金)04時55分1秒

つづき

網代のR135沿いの街道を歩く。干物屋は、宇佐美に向かい右に多い。以前来た時、美味しそうなイカがズラリ干してあった。余りの見事さに「凄いですね」と聞けば、実は「プラスチック製のイカ」だった。

その時、「イカくち」と飛ばれる、イカの干物を買った。これは美味しかった。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/index9.html>

ところが、今回なかった。店の主人に聞けば、「イカが獲れない」だった。温暖化で海水温が上がったためらしい。イワシもしかり。温暖化の影響は大きい。仕方がないので、「真イカの炙り焼き」を買った。650ーとやや高かった。

網代～宇佐美間は、先月、東浦路を歩いているので省略。バスに乗る。海岸線は意外と長い。宇佐美で降りて再びウオーキング。宇佐美の海岸はキレイ。丁度、潮が引いてイイ感じ。途中、小川がある。何故かアルミ梯子があり、梯子を伝わり渡った。

伊東のマリン・タウンに寄る。案内係の男性がすつとんで来たがトイレだけで残念。コロナ減客で手持ちぶさたのようだ。

つづく





## 3月26日(木)晴・13度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月26日(木)06時10分0秒

昨日は

3月度・伊豆ウォーキングでした。コースは、多賀・長浜公園～網代～バス～宇佐美～伊東～汐吹公園～バス～伊豆高原・桜の里お花見。天気＝晴れ・風なし、歩数＝19000、距離＝12km、参加＝19名。

2月最終の多賀・長浜公園から出発。熱海のAさんが初参加で合流。労山の「山筋ゴーゴー体操」をサポートのKが指導し心身をほぐした。

朝の気持ち良い冷気の中、海沿いをウォーキング。風がなく静かな海が広がる。砂浜がサクサクと足裏に優しい。犬を二匹連れた男性年配者がいた。犬はノー・ロープ。誰かが「あの犬は幸せだ」といった。

街道に「秋葉山・石灯籠(いしどうろう)」があった。網代に入った。マリーナに桜が咲いていた。午後は、伊豆高原・桜の里でお花見予定。咲いているかな??

海岸の釣り船屋さんにババさまが座っていた。聞けば「船は今朝6時ころ出た」という。何が釣れるに「底もの」といった。網代駅前に来た。朝のウォーク予定はここまでだが、網代の干物屋をひやかしに行く。

つづく





## 3月25日(水)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月25日(水)04時45分55秒

つづき

車が滑落し始めた。

私はこの経験は人生初めてだった。冬山を始めて50年以上。数多くの雪道を走ってきたが、もらい事故はあっても、あたえた事故はなかった。

四駆にスタッドレスに絶対的自信はあった。しかし、その確信は崩れた。滑り始めて後車に当たるまで、時間にして5秒くらいだったか。距離は10~15mくらい。

滑落方向を定めるべく窓から後方を確認したら、すぐ後ろに車がいた。前述、横浜のTさんだった。すぐ後ろに車がいるとは、予想だにできなかった。

しかし、もし後車がなく滑ったら、ひょっとして林道から転落したかも。

ある意味、後車がストッパーになったかもしれない。5秒間で車をなるべく

フロント正面に当たらないように右にもっていきこうとハンドルを切ったが思うようにならなかった。

一番幸いだったのは、Tさんほかの方が、車から離れていたことだ。

もし仮に、かがんでチェーンを巻いていたりしたら、人身事故は避けられなかった。

お金で済むことならなんとかなる。

人を傷つけたらそうはいかない。Tさんらに大きな損害・迷惑・負担をかけて

誠に申し訳なかった。Tさんは「事故はお互い様」の姿勢で事故を受け入れ、許してくれた。本当に有難かった。

そして、事故は不幸であったが、結果は「すべて不幸中の幸い」だったと感じた。

つづく



## 3月24日(火)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月24日(火)06時36分27秒

つづき

駐車してある車をやりすぎし、急坂にかかった。  
やや右にカーブし上っている。  
道路はカチカチの氷道。しかし、過去ここで問題はなかった。

ただ、今回は余りに氷道でちょっと様相が違った。  
後で聞いた話では、このような条件の場合、わだちを外して  
走るのが正解という。しかし、現実的にそれは難しい。

それとスピードをつけて一気に上ることもコツという。  
後で考えたら、今回は慎重すぎてスピード不足だった。

右にハンドルを切って上っていったら、最初のスリップ。  
この時点では、まだ、滑落はしていない。  
車は上れなかったが、止まっていた。

私は前方に夢中で気が付かなかったが、この時点で後方下部に  
後続車が来て止まっていたと思われる。後で分かったが、直下の後続車は、  
横浜のTさんだった。

もう一度、アクセルを踏んだ。四駆だが全輪スリップで上れない。  
やはり加速が必要だった。その瞬間、車が滑り出した。ブレーキは  
踏んだまま。次第に加速がつく。恐怖の瞬間だった。

つづく



3月23日(月)曇・15度

[返信・引用](#)  
[編集](#)

土曜日は

八ヶ岳・硫黄岳（2760m）でした。コースは、赤岳山荘～北沢～赤岳鉱泉～硫黄岳往復。天気＝晴れ・強風。参加＝5名。登頂は3名。

赤岳山荘から出発。連休で登山者は多い。今年は山雪型でアプローチの美濃戸から赤岳山荘までの林道は、ガチガチの氷道だった。林道は過去何回も通っていた。

いつもここは杞憂。里雪型で積雪が多い時はいいが、積雪が少なく氷が多い時はスリッパが嫌らしい。美濃戸から最初の下りは問題なかったが少し滑った。上れなかった軽が帰って来た。

以後順調だった。上るにつれ氷が酷くなった。もうじき赤岳山荘に着く急坂の下の林道脇の空き地に何故か3台車が駐車してあった。「なんだろう??」「連休で赤岳山荘の駐車場が満杯で下に置いたんだろう」と思った。

しかし、この観察は大きな間違いだった。結果的にこの判断が最悪だった。

つづく





## やられました

[返信・引用](#)

投稿者: 鈴木 投稿日: 2020年3月19日(木)23時28分34秒

たぶん昨日のことだと思いますが、松崎町の宝蔵院への参詣古道を歩いている時、沢で滑って尻餅をついてしまいました。リュックを背負っていたので、その底に泥がつきました。

帰宅してうっかり室内にそのリュックを持ち込んだのですが、今日になって、愚妻の腕に虫さされが発覚。

次いで次女の足の小指と薬指の間にこいつが食いついていました。

ネットで調べると、「ダニにたっぷりワセリンを塗って30分置くと自分から離れるから、頭から引き抜くと良い。」と出ました。

その通りにやってみたら、幸いなことにダニは取れました。

油断大敵！ 山から帰ったら着衣等に気をつけないといけませんね。  
不適切な投稿でしたら削除してください。







**3月19日(木)晴・12度**

[返信・引用](#)

投稿者: たかちゃん 投稿日: 2020年3月18日(水)17時08分7秒

[編集済](#)

今、

新タマネギがサイコーの美味しい。  
毎日、食べている。  
今日も食べるべく、スーパーに買いに行った。

ところが、新タマの棚は売り切れで空だった。  
「ったく〜」と思ったが、そういえば、畑の新タマがポチポチ  
収穫を思い出した。

スーパーは、畑に行く往路だから、そのまま畑に行った。  
新タマの苗は昨年、11月20日に仕込んだ。  
あれから約4ヶ月、食べられるのが2ヶあった。

皮を剥くと真っ白でキレイ。まるで〇〇の如し。  
皿にレタスを敷いて、タマネギを乗せる、その上に短冊切りの  
ネギをたっぷり。

このサラダは、全て自家製・無農薬。  
サイコーに美味しい。今日もビアがすすみました。



## 3月18日(水)晴・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月18日(水)06時34分52秒

コロナ

は、終息が見えない。

4月初旬に小豆島おへんろを予定しているが、香川でも、とうとう発症者が出た。

実行するか、延期するか今週中に決定しなければならない。  
難しい選択だ。比較的若い方はそれほどの心配はないが、年配者は心が揺れる。

そもそも、ここ13年、つまり退職後、風邪はひいていない。

「よく食べ・よく動き・よく寝る」が肝心だろうが、ま、多忙な方はそれが出来にくい。

加えて、手洗い・うがい・水分補給が肝心。(アルコール消毒もほどほどに(´艸`))要は免疫力を高めること。

長泉でも稲荷さんの祭典が中止。区の総会は延期。

町サークル活動も中止。生協の会議室使用がしばらくダメ等、枚挙にいとまがない。

あまり過剰反応で神経質になるのもおかしい。何でもかんでもダメ・中止・延期では、は正に「日本沈没」する。

密閉された人込みは避ける・換気の励行など守れば十分対応出来る。

皆で頑張っって乗り切りたいものである。





## 3月17日(火)晴・10度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

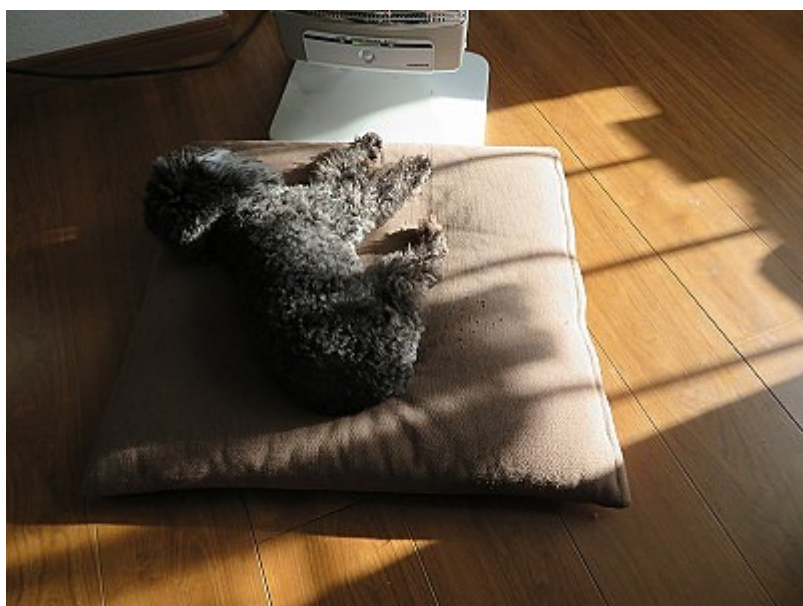
投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月17日(火)06時50分6秒

うちの

愛犬・ラブです。  
トイ・プードル。  
13歳。人間なら70くらい。

最近は寝ている時間が多い。  
特に食事後は、ストーブの前で至福の時間。

犬が安気なら、人間も幸せですね。



## 3月16日(月)晴・9度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月16日(月)06時16分17秒

13日、つづき

伊浜集落を通過し上って行く。左手に普照寺が見えた。住職が迎えてくれた。感じの良い方。本堂は高台にあるので眺めがよい。この位置なら、津波は心配なさそう。

本堂は響きがよく、気持ちが良いお経だった、終了後、住職の話聞く。本尊の観音菩薩は、奈良時代の793年、海に流れていたものを漁師が引き上げたという。

漁師の末裔は、今でも正月三が日に集まり、お祝いをしているという。しかし、今から1200年前、今でもかなり辺鄙なこの地に、何人かの住民がいたのだろうか。疑問に思った。

今回はここで終了。ただ、R136まで上がっておかないと、次回大変なので最後の踏ん張り。標高差は約100m。皆さん頑張った。ゲストの30代のM君は、ここでだいぶ参ったようだ。それでもバスには乗らなかった。

波勝崎入口まで上り終了。今日も完全燃焼でした。





## 3月15日(日)曇・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月15日(日)05時53分17秒

昨日

今日は、悪天候で山は中止。学習・計画に没頭。  
最近、CDはあまり買わない。かわりに、ユーチューブのJAZZ  
を聞いている。

若くフレッシュなアーティストが多く刺激的。  
ただ、パソコンの音源は冴えないので、BOSEのコンポにつないだ。  
いい音だ。低音がいい。

連結コードは、ノジマで2070-+243-だった。店員の瞳美さんが親切だった。(´艸`)

今はいい時代だ。ネットで簡単に音楽が楽しめる。昔は、「すみや」に通い、洋盤を輸入してまで入手したものだ。今でも二階の納戸にJAZZのLPは200枚ある。

分厚いブルーノートのLPは、ずっしりと重い。レコード溝が目視できるくらい。もう一度、プレーヤーでLPを回したいものである。







## 3月13日(金)晴・11度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月13日(金)06時11分56秒

つづき

常石寺で昼食。日当たりが良く暖かく快適だった。何故か住職が鐘を何度も鳴らしてくれた。最後は住職を囲んで記念撮影。ババさまが、夏ミカンのお土産をくれた。

寺を下り、このあたりの地名にもなっている「蛇石」を見に行く。青野川の対岸に大きく長い石が蛇のように見える。見学後、午後の巡礼。平戸集落を通り峠を越えて伊浜に向かう。

R136を横断して海拔0mに急下降。途中、日当たりの良いところに「ワラビ」が数本顔を出していた。下るほどに風が強くなる。海は白波を立てて、あまり見たことがないような荒れ模様だった。皆さん、夢中でシャッターを切った。

伊浜は100戸ほどの集落。20歳のころ会社の先輩のSさんがここの出身で、伊豆一周のサイクリング時、一晚世話になった。ただ、家がどの辺りか、どうしても分からなかった。狭い路地を自転車を引っ張った記憶はあるのですが・・・。

つづく



## 3月12日(木)晴・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月12日(木)05時47分46秒

昨日は

3月度・伊豆巡礼でした。巡路は、妻良、60番・善福寺～子浦、70番・金泉寺～蛇石、69番・常石寺～伊浜、71番・普照寺～R136。天気＝快晴・強風、歩数＝3万、距離＝約18km、参加＝16名。

前回最終の妻良・善福寺から出発。海岸沿いのR136はモーレツな風が吹く。時々、よろけながら小浦を目指す。70番・金泉寺着。檀家の御朱印係が来ない。

外でお勤め。最初3・11犠牲者・被災者の黙とう。お勤めが終了間際、檀家の方が来られた。子浦から標高160mの峠を越えて、蛇石に向かう。途中、道端の地蔵を掃除する子浦のご婦人2人がいた。子育て地蔵といった。しばし談笑。有難いことである。昨日は風があり気温は比較的低かったので、快適に上れた。

途中、車で散歩??の松崎町の「変な外人(フランス人)」に会う。巡礼が珍しいのか、スマホで動画を撮影していた。蛇石の途中、2年前になかった素敵な「ホワイト・ハウス」を見た。娘さんの家らしいが、お母さんが庭掃除をしていた。2年来ないと情景は変わる。

69番・常石寺着。鈴木住職は昭和7年生まれ。今年88歳。2010年、初めてお会いして10年経った。ちょっとお歳をめされた。般若心経が後半、飛んでいた。

つづく





### 3月11日(水)晴・16度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

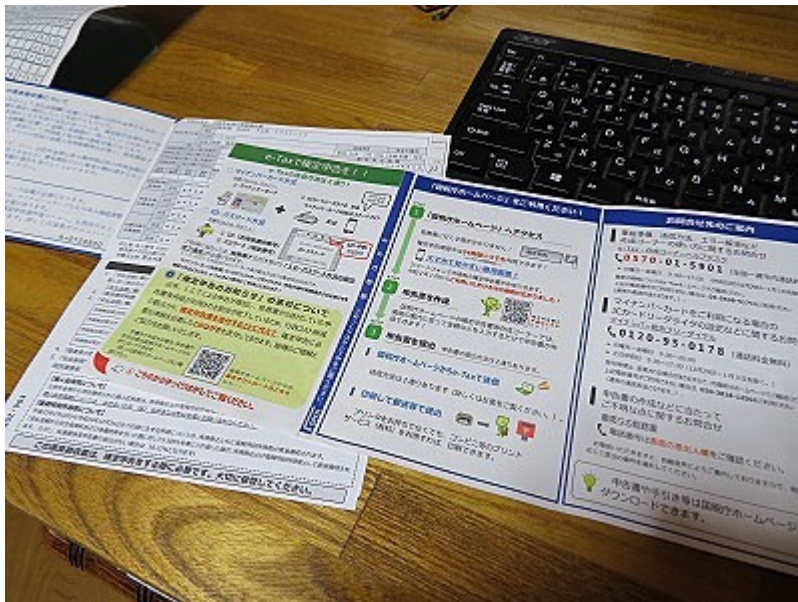
投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月10日(火)15時01分4秒

収入は

年金しかないが、確定申告に行ってきた。  
これは、定年からずっとやっている。  
最初のころは、ずいぶん返って来た。

結果、  
一ぱい飲める程度、還付金があった。  
ま、庶民のささやかな「よろこび」か。

元々は、自分のお金ですが・・・。



## 3月10日(火)雨・16度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月10日(火)07時00分41秒

つづき

P1350mから右折して、千本桜コースに向かう。  
尾根手前は岩場だったので右手に巻いた。尾根に出たが女子班がいない。  
携帯で待つように指示。別々に上っては意味がない。  
尾根はイイ感じが続いた。冬枯れの尾根は快適。登山者は皆無。

急登を喘ぐと防火帯コースに合流。ここまで来れば頂上は近い。  
上部は氷が溶けたようで、地面が濡れていた。  
しかし、時間は既に12時近い。全員、空腹で空腹で参った。  
長泉発の30分とアプローチトラブル30分が大きかった。

あと1時間あれば余裕だったのに。最悪の空腹だったが、  
先は長いので茅ヶ岳は写真撮影のみで金ヶ岳に向かう。  
頂上の方は疎らだった。土曜なのにコロナの影響か。

北面は雪・氷が少しあった。慎重に下る。  
最低コルから少し上ると「石門」があった。  
記念撮影。金ヶ岳はとても無理なので、「石門」上で風を避けながら昼食。  
こんな空腹は近年珍しい。

ガツガツ飲み食いでお腹がおかしくなってしまった。  
昼食中に男子が2名下りて来た。

つづく





## 3月9日(月)晴・11度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月9日(月)05時46分30秒

つづき

久しぶりに茅ヶ岳に向かう。茅ヶ岳は「深田久弥急逝の山」として有名。深田急逝の地は女岩コース上部。今回は、明野から千本松登山道を上るので、そちらには行かない。

千本松コースは歩いたことがないので楽しみ。かつ、下部はバリエーションを狙った。キャンプ場から林道を出発。右折して千本松コースに向かう。バリは林道末端から上る。更に末端前からショートカットでも上れる。

ただ、急峻な山腹を上げるので男子3名は敬遠。女子2名のみ向かった。元気がいい。末端からは問題なかった。乾ききった尾根は綺麗だった。南面故雪はない。落ち葉がガサガサ。茅ヶ岳は落ち葉が有名。

尾根は物凄い上りだった。訓練でフル装備なので荷物が重い。汗が噴き出る。塩分が濃厚な汗だった。ようやく1350mのピーク着。ここから穏やかな上り。ホッと一息した。

つづく





## 3月8日(日)雨・13度

[返信・引用](#)

投稿者: たかちゃん 投稿日: 2020年3月8日(日)07時10分23秒

[編集済](#)

昨日は

山梨・茅ヶ岳（最高峰・金ヶ岳＝1764m）登山でした。  
コースは、明野キャンプ場・登山口～大明神登山道・1404m  
西尾根～大明神登山道～茅ヶ岳（1704m）～金ヶ岳～明野登山道  
～キャンプ場。標高差＝704m＋164m（868m）、天気＝晴・風あり、  
参加＝5名。

つづく





### 3月7日(土)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月7日(土)04時33分5秒

[編集済](#)

今日は、茅ヶ岳登山です。

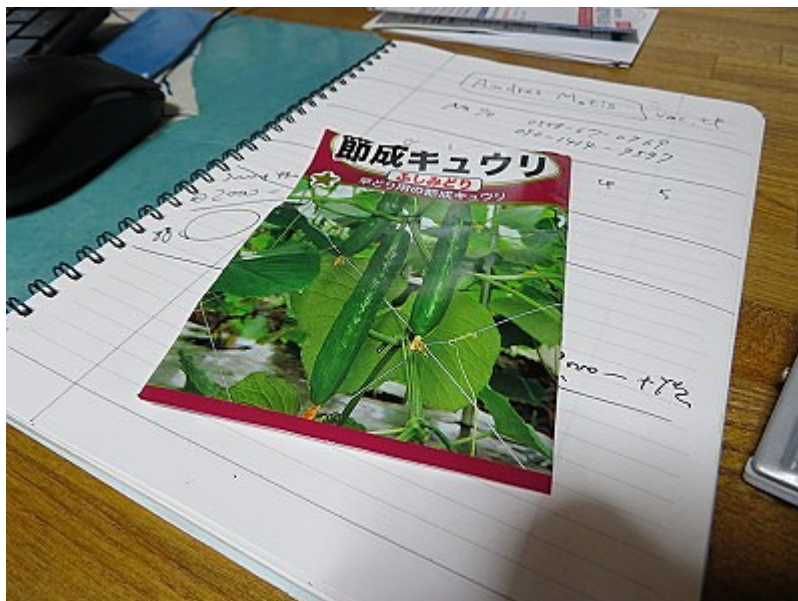
昨日、キュウリの種を蒔いた。

「早どり」の種。

通常は3月末。

袋の説明は、3月頭でOK。

結果が楽しみです。





### 3月6日(金)晴・10度

[返信・引用](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月6日(金)06時05分17秒

[編集済](#)

コロナ

コロナ・コロナである。

昨日、友人から聞いた話では、毎年、春分の日前後に行われる、長泉町の稲荷神社の祭典が中止という。

また、3月末から4月頭に多い、区の総会も中止・延期という。異常事態である。

幸い静岡県東部では、今のところ発症はない。

昨日、ジャンボエンチョーに行ったが、何か閑散としていた。見たい映画もあるが、密閉された人混みは避けたい。

山はどうか。空気はいいし人は少ない。そもそも山屋は、肺年齢が若いのではないか。毎週毎週、ゼイゼイ・ハーハーで鍛えている。

山屋にコロナは無縁でしょう。



## 3月5日(木)曇・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月5日(木)05時57分46秒

今日も

気温は高め。畑は花盛り。今、ブロッコリーが美味しい。

2分茹でて、「辛し和え」がイイ。  
茹で過ぎると、柔らかくて旨くない。やや、固めがポイント。

ジャガイモは、地割れしているが、まだ芽は出ない。  
例年、出るまで一か月掛かる。サトイモは、まだまだ。

レタスもイイ。スーパーのものと、やっぱり味が違う。  
ここまで半年かかる。冬物は成長がゆっくり。





### 3月4日(水)晴・15度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月4日(水)07時06分22秒

先週は、

週中に伊豆ウオーク、日曜日に県連総会があり  
登山が出来なかった。

ほぼ、毎週登山をしているので、行かないと体調・精神??に良くない。  
そんな訳で、昨日は好天に誘われ、二つ塚に向かった。  
ただ同日同会、ハイキング志向者の「まったりハイキング」が、  
焼津・静岡間の満観峰であった。

そちらにも行けないことはなかったが、ま、ペースが違うので忍従を強い  
られる。上りは、まあまあなのだが、下りは、特に遅い。  
数回参加したが結局、「待っていない」「後ろを見ない」「わがまま」と  
責められる。ちょっと、辛いシーンだ。

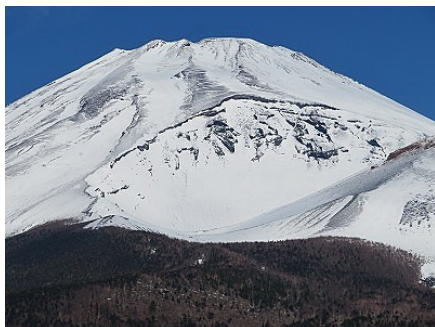
登山で難しいのは、ペースだ。各々のペースがベスト。遅い人は遅いのが  
いい。速い人は、速いのがいい。他人に合わせるのは難しく大変。人数が  
多いと特に難しい。

私自身も、最近は若い方が速いのでペース作りが難しい。  
私の場合、往復登山なら、若く速い方には、先に行ってもらおう。  
若い方が、遅い年寄りに合わせさせるのは気の毒。

そんな訳で、今日は一人登山だった。駐車場に車は4台あったが、

会ったのは2名のみ。平日ではこんなものだろう。  
雪・氷は、先週と違い二つ塚までゼロ。

ただ、先週上った南面を俯瞰すると、雪・氷がベッタリ。本来、  
東面に多いはずだが、自然は分からなく不思議。  
サクッと上り、サッサと下り、午後から畑仕事でした。



## 3月3日(火)晴・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月3日(火)04時36分48秒

先日、

サヤエンドウ（スナックエンドウ）を収穫した。  
うるう日だが、2月は初めて。例年は、3月末だから、一か月早い。

五月豆も花が満開。ブロッコリーは、パンク寸前。  
野菜価格は暴落。

今年は、確かにおかしいね。







## 3月2日(月)雨・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年3月2日(月)06時24分14秒

昨日は

第53回・静岡県勤労者山岳連盟総会が、静岡・長田生涯学習センターで行われました。

時間は、10:00～16:00。参加は約60名。

午前は、理事長挨拶、県連の歌、会長挨拶、来賓挨拶、活動報告、会計報告、その後、討論・採決。

午後は、浦添全国連盟理事長の「労山趣意書」の話。方針案・予算案の討議・採決、役員選出、栄誉功労者選出でした。

天気が良かっただけに、山に行きたいところでしたが、ま、一年一回の総会は、それなりに有意義でした。





## 2月29日(土)曇・16度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月29日(土)06時16分16秒

つづき

「はしり湯」から、熱海～湯河原間のR135に上り返す。  
なかなかキツイ。海岸線の「熱海ビーチライン」は、有料道路  
で歩行は禁止。

お宮の松に向かう。親水公園は、なかなかいいところ。  
熱海は相当、お金を使っている様子。ヨットハーバーは、  
今まで見たことがないような、凄いヨットが数多く並んでいた。  
世の中、お金持ちは多いようだ。

「大寒桜」が満開。ただ、この桜は色がやや薄いので、派手さはない。昼食時間なので場所を探すに適地がない。

結局、バスで錦ヶ浦に移動して車内でいただいた。外は景色が素晴らしいところだが、風が強く冷たかった。昼食後は、再び親水公園に戻り、午後のウォーキング。

錦ヶ浦から先は、道路と歩道が狭く危険極まりない。日本の道路事情（行政）は、歩くとよく分かる。ゆっくり静かに歩ける旧道を歩きたいが、そこに渡る横断歩道がない。オリンピック投資の少し回せば解決できる歩道なしの道路、などなど。

錦ヶ浦先は、歩道があり余裕をもって歩けた。錦ヶ浦は、いずれトンネルを掘るしかない。午後は14:30、多賀まで歩いた。皆さんは今日も頑張った。

距離はそれほど多くはないが、上り下りが多かった。でも、完全燃焼。満足のウォークでした。





## 2月28日(金)晴・10度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月28日(金)06時18分11秒

昨日、畑に行ったら、五月豆の花が満開、  
サヤエンドウの実がたわわ。驚いた！！

つづき

ハッキリしない天気の下、網代峠を後にする。  
西行か東行かだが、迷わず東行。  
出るところは網代駅で同じだが、西行は、別荘道路が  
錯綜しルートが難しい。

ただ、東行はスッキリしている分、急激に下っている。  
物凄い急下降で膝がおかしくなる。また所々、苔むして  
いるので要注意。

無事、R135に出てバスに乗り、伊豆山神社に向かう。  
本来、流れは伊豆山から網代峠に向かうが、峠道は2時間  
掛かり、途中で時間切れはまずいので先に歩いた。

般若院でトイレを済まし、神社に向かう。神社は長い階段が有名。  
最下段から837段といわれる。般若院からは、途中入場だから  
そんなにはない。

境内に綺麗な鯉がいた。パンを上げたが、ガツガツしていない。

上品??!! お参りをして記念写真を撮って下山。「はしり湯」に向かう。長い階段を下る。「はしり湯」は凄い。洞窟の奥の湧湯場からゴンゴンと熱湯が湧き出ている。さながら温泉地獄の様相。

入り口には、学生が休んでいた。聞けば、「春休みで来た」そうだ。

つづく



## 2月27日(木)曇・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月27日(木)06時46分8秒

昨日は

2月度・伊豆一周ウォーキングでした。  
コースは、網代・東浦路～網代峠～宇麻美～バス～  
熱海・般若院～伊豆山神社～はしり湯～親水公園～  
錦ヶ浦～多賀。歩数=27000、距離=17.5km。  
天気=曇、参加=14名。

朝から天気がハッキリしない。気温も低い。寝坊・免許証  
紛失などで参加者が少ない。

はじめに、網代～宇佐美間の古道「東浦路」を歩く。網代駅  
から入口の看板がなくわかり難い。

ただ前日、伊東市観光課に連絡し、山道入口に看板を付けるよう  
頼んだ。係りの若い方は「今日、付けに行きます」と約束した。  
実際行ってみると、確かに看板はあった。しかし、下から見えない  
方向だったので、ちょっと工夫が足りなかった。

湿っぽい山道を上る。よく踏まれているので、歩き難くはない。  
山中に「コンコンコン」の音が響く。竹を叩くような音。  
お寺の水琴窟と思ったが、移動しているので、鳥だろうか。

辺りは、キリシオンみたいな感じで、湿気が多いが、風は案外冷たい。  
道々、様々な遺跡がある。  
吉田松陰が座った岩・U字状歩道・法界萬霊塔・馬頭観音などなど。  
おおむね、文化・文政のころのもので、約200年前。

上り切れば網代峠。昔は、ここに大島茶屋があったそう。名前は、  
ここから大島が見えたから??!!

つづく





## 2月26日(水)曇・12度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月25日(火)17時33分6秒

この時期

「イルカ肉」が出回っている。  
欧米人が聞いたら、目をむくかもしれない。  
ただ、私たちは、子供のころから食べていた。

あの独特の風味が郷愁をよぶ。  
冬は特に美味しい。野菜をたくさん入れる。特に大根がいい。  
昔は、伊豆産もあったかもしれないが、現在は三陸産が多い。

結局、四パック購入した。前は血合いが多かったが、最近はすでに処理してあるのか、強烈さは弱くなった。それでも、食べると、半日は口の周りが臭い。

若い女性は、食べれないかもね！！  
でも、やっぱり、美味しい。止められませんね！！





## 2月25日(火)晴・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月25日(火)06時28分52秒

つづく

相変わらずの氷道をガシガシ上る。  
でも、深いラッセルよりはいい。  
私より一回り若い衆??!!にトップを任せる。  
荷物が軽いせいか、スイスイ上っていく。

御殿庭についた。雪が多いので印象が違う。  
仰ぎ見る、富士山が素晴らしい。  
強風で生き物のような、雪煙がポンポン上がっている。  
恐らく、風速は、50mくらいあるかも。

通常、ここから2352m峰を上る。標高差は200m。  
時間は30分ほど。しかし、今回は止めた。強風とアイスバーン。  
仲間が作った「誕生日祝いの横断幕」で記念写真を撮って下山。

すぐ下の風がないところで昼食。ビアをいただいた。ポケットで  
温めたのが、ちょうど良かった。焼いた餅がサイコーの味だった。  
午後はブラブラ下る。

下から一人上って来た。御殿庭まで行くようだ。雪道の下山は楽だ。  
グングン下る。幕岩でアイゼンを脱ぐ。この下も周遊道まで草付きで  
膝に優しい。

冬枯れに陽光が注ぎ美しい。今回も、いい山でした。





## 2月24日(月)晴・9度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月24日(月)06時43分13秒

昨日は

富士山・御殿庭でした。コースは、幕岩沢（仮称）周遊道橋～幕岩～宝永山南沢（仮称）～御殿庭。天気＝快晴・強風、標高差＝809m、参加＝5名。

当初、22日に茅ヶ岳だったが、雨で中止。代替えは、23日だったが、23日は富士山の日。なら、富士山にしようになった。

周遊道の橋から出発。天気は良いが上空は風がゴーゴー鳴っている。

幕岩から一般道でなく、宝永山から南に下る沢を詰める。ところが、前回スキー時同様、ガジガジの氷道が続く。

ツルツル・スベスベ、苦闘が続いたが、30分後、堪らなくアイゼンを装着。以後、スイスイ。御殿庭に続く尾根に取りつく。この辺りは、雪が多くいい感じ。青空・雪・岳樺・富士山が眩しい。

早くも上から誰か下って来た。中年男性一名だった。聞けば、横浜から来たという。「早いですね〜」に、水ヶ塚を6時ころ出たという。では、横浜は一体何時だったのだろうか？

つづく





## 2月22日(土)雨・11度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月22日(土)05時32分8秒

つづき

釜トンネルを抜けると、上高地トンネルがある。以前はなかった。こちらは590m。短いので明るいのに、何故か灯りが点いている。むしろ釜トンネルに明かりが欲しいのに。おかしい。

トンネルを抜けた所でアイゼンを装着。「おいらく山の会」の方と会話。県連のネームプレートで静岡と分かったらしい。

先の林道はガジガジの氷道。降雪が少ないので、氷が発達している。氷道をガシガシ行く。程なく私の左アイゼンの止め金が外れてアイゼンがブラブラになった。止め金は探してもなかったので、しばらく片足で上った。

その後、Kが片足を貸してくれた。

大正池に到着。穂高はガスで見えない。写真を撮る。林道を降りて、池沿いの散策路を進む。トレースがあって歩き易い。

梓川の堤防を歩く。途中、田代橋がある。冬季用トイレがあった。有難い。橋から対岸も行けるが、そのまま前進。梓川に向こうの穂高連峰が見え隠れ。

前穂は見たが、奥穂はなかなか出ない。少し晴れている間、写真撮影。梓川の河原に降りるのにラッセルが深く難儀。

つづく



## 2月21日(金)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月21日(金)05時52分27秒

### Iハイキングクラブの

Kさんが亡くなった。73歳、私と同級だった。  
Kさんとは、40年前、M労山で一緒だったが、  
その後、Iハイクに入った。

独身で孤独死だった。山仲間のNさんが、  
偶然(?)訪ねたら、新聞がたまっていた。  
新聞は、一週間分だった。新聞配達は、不審に思わなかったのか。

以前は、三島のヤキトリ屋でよく飲んだ。「GちゃんGちゃん」と  
何かと気を使ってくれた。明るい、いい方だった。  
最後にあったのは、Iハイク30周年だった。

元気なころは、東海自然歩道を完歩した。  
三島の合唱団でも活躍した。  
仲間が逝くのは残念。今日、三島で葬儀が行われる。合掌。





## 2月20日(木)晴・13度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月20日(木)06時51分50秒

つづき

林道の雪は、確かに少なかった。  
乗鞍岳入り口手前右の滝は例年、凍っているが今回はガンガン  
流れていた。

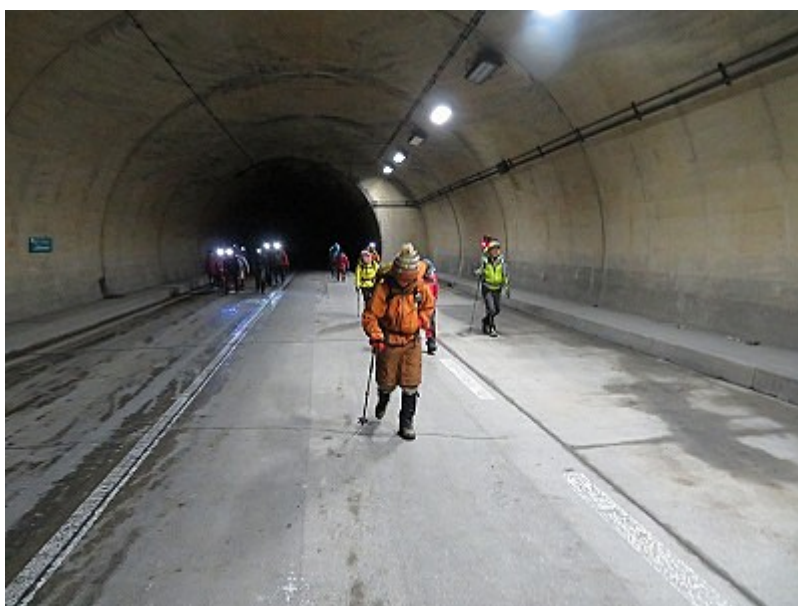
中の湯は久しぶりだった。裏山の雪は、マアマアの感じだった。  
夕食は6時からだから、それまでゆっくり過ごした。  
ここの温泉は、やっぱり素晴らしい。雨で露天から穂高が見えず残念。

翌日、雨は止んでいた。食堂から青空が見えた。雨でなければ良い。宿のバスで釜トンネルまで送って貰う。「おいらく山の会」の人たち9名も一緒だった。バスに食堂の出前箱があったので運転手に聞いたら、「釜トンで番をしている方の朝食」といった。

釜トンネルは、全長1310mある。傾斜が強く、上りは息が切れる。電灯が点いていないので真っ暗。ヘッドランプがないと歩けない。でも、今は歩きやすい。昔は湧水があったので、冬は凍って怖かった。

そもそも、昔（1984年当時）は、上高地に入るのに沢渡から歩いた。釜トンまで約7km。標高差は300m強。そこを冬山の重荷30kgで行き1日目のテント泊は横尾だった。それに比べれば、今は楽だった。

そんなことを思い出しながら、上って行った。







## 2月18日(水)晴・7度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月19日(水)06時33分27秒

つづき

立派な休憩建屋があったので、昼食を食べた。託児所もあった。しかも、ほとんど来訪者がいないこの冬で、係員が詰めていた。松本市は財政的豊かのだろうか。

芥子望主山を後にする。梓川を渡り、下道で「カモシカ・スポーツ」に向かう。店は最近、経営改革で店長のYさんが代わった。

Yさんは現在、何故か居酒屋をやっている。店名は「酒と雪」。酒と山が好きな名前だ。場所は、松本城南の「華のうら町・夢屋台・はしご横丁」。いかにも、のん兵衛が集まりそうな所。一度は訪れてみたいものだ。

店では、Sさんがローバの登山靴を買った。前回、といっても十数年前、(2006年秋)だが、やはりここで革登山靴を購入した。その靴が、大分傷んだので、今回新調したわけ。正価格は、31000-だったが、型がやや古いせいか、ちょっと安くなっていた。

買い物が終了後は、上高地・中の湯に向かった。ただ、この厳冬期で外は雨だった。過去、冬山で何回か雨に降られたことはある。しかし、それは本当に

タマで、今年のように継続的・何回も・しょちゅうは珍しい。

おかげで、露天風呂で寒くて仕方がなかった。



## 2月16日(火)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月18日(火)06時08分5秒

16～17日は、

松本・アルプス公園、釜トンネル～上高地でした。

16日、雨の中、松本の芥子望主山（けしぼうずやま・892m）を目指した。

本来は、芥子坊主山だが、2万5千図は、望主山の表記。

梓川SICで降りて、松本トンネルを潜り山に向かう。

ところが、芥子望主山は、登山口がハッキリせず、道路が山頂付近まで上がり、ガッカリしてしまった。

代わりに、芥子望主から続く、アルプス公園に向かった。

アルプス公園最高峰は、標高743mで松本盆地の向こうに雄大なアルプスが望める。

長い階段を上り、公園内を散策。公園は広大な敷地で、人工の川や池、滑り台、休憩舎、ポニー、ヤギ、桜並木とか、家族・子供向けの公園だった。桜が咲くころは、素晴らしいところになるだろう。

つづく





## 2月16日(日)晴・10度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月16日(日)04時27分9秒

山の会

会報「れいほう」3月号が出来ました。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-59.pdf>

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page116-44.html>

御覧ください。



## 2月15日(土)晴・13・度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月15日(土)06時21分48秒

### 2月12日のつづき

モンテ・ローザ小屋で待っていたMMは下山しなかった。  
一気にビアの酔いは飛んだ。  
小屋から上り返し、分かれた地点を中心に搜索。

頂上から降りてきた、MT、Nも加わった。YとNはモンテ・ローザ氷河を探した。MTと私は、いったん小屋に下り、最悪の場合を考えへりを飛ばす段取りをした。

そして再び上り返したら、上からN、MMが降りてきた。  
行方不明だったMMは、モンテ・ローザから降りてきて、左に行くところを右に行き、氷河に迷い込んだようだ。

迷ったと思ったら、パニックに陥り、頭が混乱し、ますます分からなくなったようだ。原因と思われたのは、  
1. 極度に疲れて判断が定かでなかった。2. 暗い中での出発で下部の地形を把握していなかった。3. 予定変更で地図がなかった。など。

いずれにしても、最大の原因は、一人にしてしまったこと・単独行動をとらせてしまったこと。「だろう、たぶん、おそらく」などの思い込みはあってはならない。

山での単独行動は、事故につながるケースが多い。





## 2月14日(金)晴・13度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月14日(金)06時15分37秒

つづき

東林寺境内で昼食。天気は良く温かい。午後は小さな峠を二つ越えて一色集落に向かう。峠周辺は、桜が満開で静かで美しいところ。

ここを通るのは5～6回目だが田んぼが、どんどん減っている。殆ど休耕田で草ボウボウ。ある意味、限界集落といえるかも。ただ、不思議なことに、バスが一日一便ある。

法泉寺着。道路から階段を少し上る。ここも無住職。寺の管理は集落の方が交代で務めている。今回は五ヶ寺訪ねるが四ヶ寺無住職。将来どうなるか心配である。

寺を下りて妻良（めら）トンネルを潜り、妻良・善福寺着。住職は女性。ご本尊の大日如来は平安時代の立派なものらしいが、ご開帳が60年に一回。2～3年前、ご開帳があったので、もう生きているうちに見られない。今回は、ここで終了。桜が見事な巡礼でした。







## 2月13日(木)雨・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月13日(木)06時51分51秒

昨日は

2月度・伊豆巡礼でした。

巡路は、65番・最福寺～67番・安楽寺～68番・東林寺～61番・法泉寺～60番・善福寺。天気＝晴、参加＝15名、歩数＝25000、距離＝15km。

1月度は雨中止だった。バスは12月最終の最福寺に向かう。途中、青野川の桜が満開なので、菜の花畑で降りて、青野川堤防を歩く。

素晴らしい桜。すでに葉も少し出ている。遅いくらいだった。道の駅で再びバスに乗り、最福寺から巡礼開始。一つ目の岩殿寺まで1.5km。天気は良く温かい。

寺は無住職。次の安楽寺に向かう。途中、休耕田でヤギを数頭飼っていた。飼い主がいたので聞けば、「畑などの雑草を食べさせる」といった。以前は乳を搾ったそうだ。ただ、ヤギ乳を飲んだ経験者は「青臭くて(草)飲めなかった」そうだ。

安楽寺も無住職。本堂がカビ臭いので、窓を開けて空気の入替え。次の東林寺に進む。この辺りは、同じ伊豆でも、めったに訪れることがない所。近くに立派な「三島神社」があった。「島」が「嶋」でなかつ

た。

東林寺も無住職。人口減・過疎・高齢化の象徴である。

つづく



## 2月12日(水)晴・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月11日(火)17時34分18秒

つづき

パーティーが、バラけてアクシデントになったことがある。  
幾つかあるが一番は、1991年8月、ヨーロッパ・アルプス遠征  
の時だった。

モンブブラン(4810m)を上り、モンテ・ローザ(4634m)に移動。  
登頂し3名で下山にかかった。YとMと私。Mは女性。  
モンテ・ローザは、小屋から標高差が1800mある厳しい山。

3名でモンテ・ローザ氷河舌端に下って来た。Mは相当疲れていた。  
舌端から岩稜が始まり、眼下にモンテ・ローザヒュッテが見える。  
天気は快晴無風。ヒュッテまで、ゆっくりでも1時間程度。

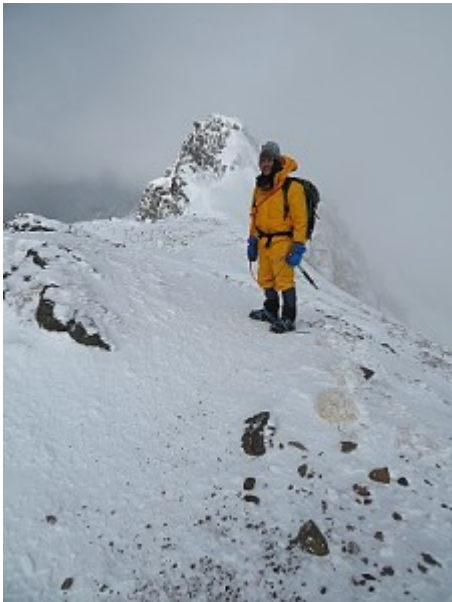
過大に疲れていたMは、Yと私に「先に行ってください」といった。  
真下にヒュッテは見える。天気も良い。時間もまだ早く、他の  
下山者もいる、で、Mを一人にして、Yと私はヒュッテに下った。

ヒュッテに着き、テラスでビアをやった。美味かった。気分はサイコー  
だった。二杯目を飲むころ、ぼちぼち下山してくるはずのMは来ない。  
変だな～、そんなに時間が掛かる訳でもないのに・・・。  
いつしか、「変だな～」は、「これはおかしいゾ」になっていた。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/1-17.pdf>

つづく





## 2月11日(火)晴・7度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月11日(火)06時23分27秒  
つづき

氷道をガシガシ上っていく。  
途中まで、別荘の二人も上ってきた。  
どん詰まりで登山道に入る。

頭上に八ヶ岳が広がった。  
いつもの橋を渡る。橋の積雪量で山の雪量が分かる。  
橋から急登になる。ただ、雪が多いから歩き易い。  
雪が少ない時は、根っこ・石が出ていて歩き難い。

前に大きな荷物の方がいた。聞けば、縦走でなく横岳が目的。  
ただ、日帰りではなく、テン泊希望とのこと。年齢は60歳。  
私と干支が同じかと思ったら、一歳下の「ネズミ」といった。

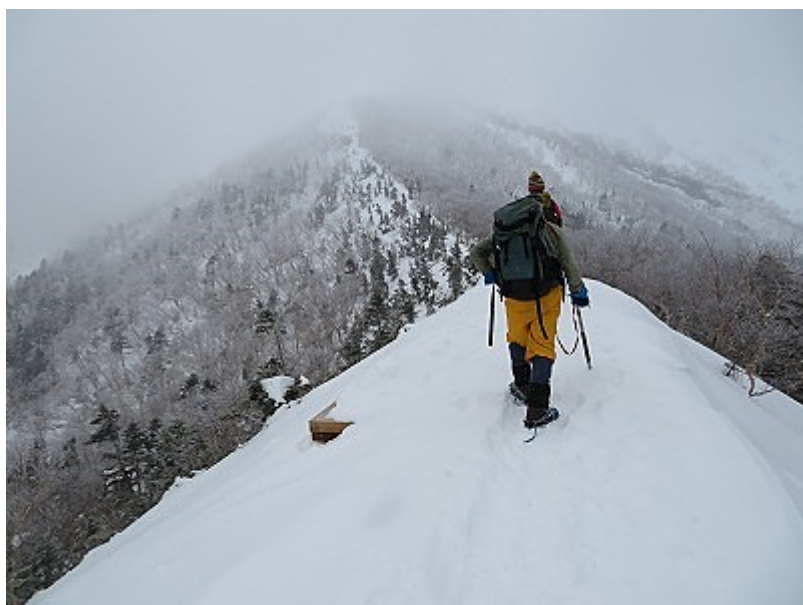
森林限界に達した。山はガスに覆われていた。八ヶ岳は好天が多く  
景色が見えないことは少ない。ここからの景色を初見のI君に見せたかっ  
た  
が残念。雪稜を上っていく。ガスが濃くて雪面の凹凸が分かり辛い。

先日の富士山スキーもそうだった。年齢を重ね視力低下もあるかも。  
凹凸がハッキリしないとバランスが悪くなる。何となく「フラフラ感」  
が否めない。若い衆は、そうでもなさそうだ。

三叉峰（さんじゃほう）の上りにかかる。杣添尾根は、ここがポイント。  
雪が深いので、途中からIにトップを任せた。ガスはますます濃く、上り  
難い。ここでKMが遅れた。

三叉峰を上り切り、縦走路に飛び出た。KMが遅かった。二人上って来たが  
KMでなかった。KMは冬二回ここを上っているが、やっぱり一人はマズイ。  
かと言って、寒いここで待ってる訳にもいかない。  
Iは、横岳未登頂なので私が付いていく。KMはKTに頼んだ。KTは快諾して  
くれた。

つづく





## 2月10日(月)晴・9度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月10日(月)06時22分48秒

つづき

八ヶ岳・横岳(2829m) 杣添(そまぞえ)尾根は、  
2013年から毎年冬に上っている。標高差は、1142m。

上り約4H、下り約2,5Hでちょうど良い。  
ルートはそれ程難しくなく、手軽・手頃。かつ、西面の混雑がなく、  
静かな登山が楽しめる。

今回の参加は4名。70代2名、60代1名、50代1名。  
会としては、揃ったメンバーだった。近年、冬山志向者が

減っている中、うれしい限りである。

海ノ口登山口7：40発。天気はやや悪く、八ヶ岳は黒雲に覆われていた。雪は暖冬の割に多かった。南岸低気圧が多いのが理由だ。

登山口に脇の別荘の方がいて交流。比較的若い方だったが、ずいぶん立派な別荘だった。来訪時は入口の門柱に表札がわりの大きな横看板を掛けるそうだ。

冬はマイナス15度くらいになるという。来訪時は、あらかじめ管理人に連絡をして暖房を入れてもらう。別荘全体に暖房が届くに24時間かかるそうだ。

管理人は、そのような希望者の鍵を持参しているそうだ。勿論、サービスは有料。防犯・見回り・除雪代等、年間、なにがしかの管理費は掛かる訳。

雨でガチガチに凍った道路を、最初からアイゼンを履いて出発。ガジガジは、先日の富士山同様、ここも同じだった。

つづく





## 2月9日(日)晴・14度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月9日(日)05時42分53秒

昨日は

八ヶ岳・横岳杣添尾根でした。

写真集

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-54.pdf>

写真館

<http://susono-reihou.babyblue.jp/page178-13.html>





## 2月7日(金)晴・7度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月7日(金)06時16分46秒

つづき

Iは、座って昼食。私は歩いて、スキーを探しに行く。  
幕岩沢（仮称）に沿って搜索。沢も凍っていた。樹木がないので  
引っかかりません。

下から二名、男女がシールで上って来た。二合目から幕岩経由だったのか。  
あそこをシールで来るのは大変だ。もしかしたら、スキーを目撃したかも  
知れない。会ったら聞こうと思った。

沢を十分ほど下ると、沢が左に曲がっていた。曲がった先に赤いスキーが  
あった。幕岩を落ちなくて良かった。何よりも人に当たらずに幸いだった。  
落下してくるスキーは凶器になる。

以前、冬赤岳を上った時、上の登山者がザックの横に入れたペットボトル  
を落とした。雪面を猛スピードで落下し、下にいた私の頭をかすめて飛ん  
でいった。あれがまともに当たったら大きな怪我をするだろう。微妙な所  
では、滑落の可能性もある。

高速道路の落下物と同じで、非常に危険である。落とし主は、聾啞の方で  
話がなかなか出来なく苦労した。夏山なら問題は小さいが、冬山の落下物  
は絶対ダメだ。

スキーを背負って上り返した。Iは昼食中。Iが持参したビアをポット蓋に  
一杯貰った。美味しかった。再び上り返す。振り返ると、東西に伸びた  
「凍雲（とううん・いてぐも）」と愛鷹山が見事だった。

再び上塚コルに立った。上塚は上らず、ここから滑降した。

写真館・・・越後駒=<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-50.pdf>



## 2月6日(木)晴・9度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月6日(木)06時02分41秒

つづき

ようやく、上塚コルに着いた。  
相方のIは、だいぶ苦勞したようだ。

気を取り直して、コルから幕岩から伸びる沢に滑り込む。  
このコースは、眼下に愛鷹連峰が横たわり、駿河湾が広がり  
伊豆半島が一望できる。以前、雑誌「岳人」に写真を掲載  
した素晴らしいところ。

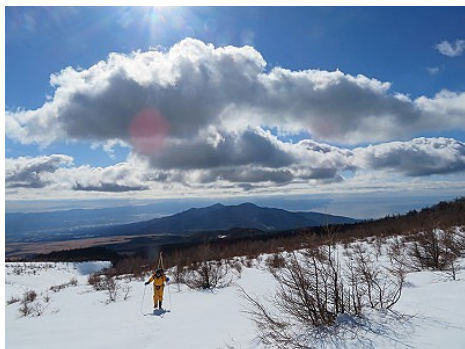
ところが南面だから、雪は緩んでいると思ったが、まったく  
ダメだった。半分ほど滑ったが、良くならないので諦めて  
昼食とした。

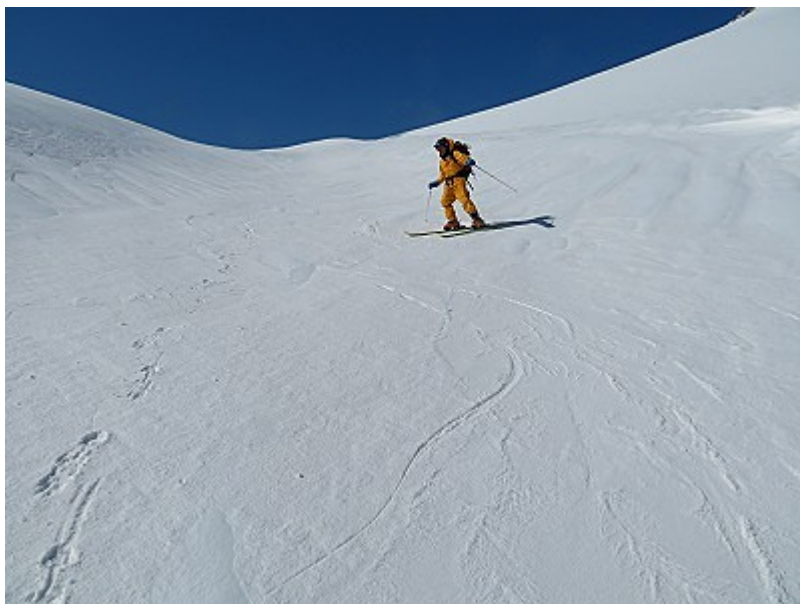
スキー板を脱ごうと、ビンディングから靴を外した。瞬間、  
私は「アッ」と声を上げた。この場合、普通は靴を外した瞬間、  
ビンディング下に二本のツノが下がって雪面に刺さり、スキーが  
流れないようにしている。

しかし、今回は何故かツノが出なかった。スキーは、まるで意思がある  
生き物のように、(蛇のように)クネクネと氷面を滑っていった。相方  
は、「ああああ、止まらん止まらん」と叫ぶ。私は、とにかく流れる方向  
を凝視していた。

こんなことは、長いスキー人生で初めてのことに。下手をしたら、幕岩(大  
きな  
滝)下までいくかもと覚悟した。  
つづく

写真館の写真=<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-40.pdf>





## 2月5日(水)晴・8度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月5日(水)05時30分52秒

つづき

雪は薄いですが、カチカチに凍っているため、ラッセルは不要です。スキーを履いても変わらないので、背負って行く。

6時過ぎ出発。天気は良かった。富士山が大きい。風はない。森林限界を抜けると、丁度、朝日が箱根山を越えて、富士山をピンクに染めた。早朝のしかも、刹那の瞬間。

御殿場口の杭に沿って上る。旧測候所建物跡まで、案外長い。左手の上塚（1929m）を越える。途中でアイゼンを履いた。

やっぱり履くと楽である。単独行に抜かされた。

測候所跡に着いた。雪はますます硬くなった。しかも、例の流水溝も顕著。これでは、いくら上ってもスキーにならないので、少しでも日当たりが良い、南面に方向転換。上塚の幕岩上を目指して大トラバース（横断）。

ガジガジの斜面を滑る。が、エッジを立てるに、足の片筋肉を極端に使うので、足はガクガクだった。

写真を楽しむ、新しいサイト「写真集」を掲載しました。

赤岳～阿弥陀岳 <http://susono-reihou.babyblue.jp/01-45.pdf>

つづく





## 2月4日(火)晴・10度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月3日(月)15時36分17秒

去年の

富士山・初スキーは、3月17日、一昨年は、2月3日、9日。  
今年は、2月1日だから、今年が特に遅いわけでもなかった。  
やっぱり、富士山は、こんなものだろう。

かつて年内に宝永山で滑ったことがあったが、最近では、夢の夢。  
今回は、どうにか雪はあった。洞門と呼ばれる、雪崩除けのトンネル  
から、雪は続いていた。

ただ、雪質がいつもと違った。雨が降って、それが凍って、カチカチの  
アイスバーン。その上、流れた雨が溝を作り、雪がフラットでない。  
これでは、スキーは難儀である。

<http://susono-reihou.babyblue.jp/506.pdf>

この流水溝は、登山では問題ないが、スキーの場合、最悪。  
2015年3月、八方尾根で、今回より酷い、流水溝を経験したが、  
半端でなかった。  
この流水溝は、多くの場合、暖冬にでき易い。

つづく





## 2月3日(月)晴・10度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年2月3日(月)05時51分41秒

土曜日は

富士山・山岳スキーでした。

雪は下からありました。

が、先日の雨で全面カチカチのアイスバーン。

加えて、雨溝で、スキーにならなかったです。(´;ω;`)マーク

<http://susono-reihou.babyblue.jp/01-37.pdf>

つづく





## 2月1日(土)晴・12度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月31日(金)17時00分33秒

つづき

待っていても、なかなか、当選切手は来ない。  
Wに聞いたら、「あら、ハガキがない」だった。  
あちこち探したがない。

この場合、考えられるのが、

1. 何処かに、紛れ込んでいる。
2. 郵便局に交換に行った時、紛失した。
3. 封書が一通あったので、間違っ一緒にポストに入れてしまった。

皆さんは、何が一番可能性があると思いますか??  
やっぱり、一番、考えられるのが、3だろう。

翌日、郵便屋さんが来た。わざわざ、玄関に来て届けてくれた。  
恐らく一番、怪訝に思ったのは、郵便配達の方だろう。  
なんといっても、ハガキには、届いた日付を私が、1/1とか書いてあるわけだから。

そのハガキを、また再配達するのは、「なんじゃこりゃ」でしょう。  
でも、まあ、高齢化社会で、こんなこともある、と思っているかもしれない。

という訳でしたが、無事切手を入手出来ました。今回の切手は、デザインが  
斬新で素晴らしいものでした。よかったよかった。(´艸`)

ま、いろいろ、ありますね～！！（退屈はしないか??）



## 1月31日(金)晴・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月30日(木)17時21分18秒

### 年賀状の

楽しみは、もちろん、賀状をいただいて、疎遠の方との  
情報交換・交流がある。

それと、お年玉年賀はがきの場合、抽選があつて「切手」当選が  
楽しみ。

この切手は、販売していないから、当選しない限り入手出来ない。  
(ネット販売はあるかも)だから、とても貴重品といえる。  
今年は、出したのが約100、返信が(なぜか)約80ほど。

で、切手当選は2枚だった。以前、150枚くらいでゼロもあった。  
ま、だいたい毎年このくらいと思う。  
結婚して、40年以上なるが、毎年、下手な版画で出している。

それと、当選切手をセットでアルバムにしたため残してある。  
ま、自己満の「大いなる遺産」だろう。

はがきを調べたら、2枚当たっていた。(出してくれた方、ありがとう)  
ぼちぼち、切手を交換と思って、玄関の下駄ばきの上に、はがき置いていた。

我が家は、郵便物はそのように置き誰かが、ついでに投函・交換する。  
2~3日して、はがきがないので、wが持って行ったと思ひ安気にまっていた  
のだが・・・。

つづく(日記は、時々、前夜書く場合があります)





## 1月30日(木)晴・15度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月30日(木)06時56分25秒

暖かい、暖かすぎる。

昨日は、陽気に誘われて、畑の畝作り。

3月初めの、ジャガイモ・サトイモの支度だ。

この作業は、適当にやればそれほどではないが、真面目にやると結構大変。

まず、大体の畝を作る。大体できたら真ん中に大きな溝を作る。溝に肥料を仕込むが、浅いとイモに直接かかるので、深くしなければ

ならない。ま、せっかく作った大体の畝はここで壊れる。

肥料を仕込んだら埋め戻す、戻して再び畝を構築。だんだん、腰が痛くなる。畝が出来たら、マルチ（黒ビニール）をかけて固定する。このマルチの出来具合で、耕作者の力が分かる。

上手な方は、ピッチリ張れる。へボは、しわだらけ。山のテントと同じだ。マルチを張ったら、30cm間隔で7~8cmの穴を明けてイモを植え込む。

これが一連の作業である。これを七畝くらいやるから、腰は堪らない。農作業は過酷ですね。（`艸`）





[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 1月29日(水)曇・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月29日(水)06時31分8秒

我が家の

愛犬「ラブ」です。

13歳で人間でいうと68歳くらいです。

老犬なので、猫みたいに、寝ていることが多いです。

散歩も長時間は出来なくなった。

ただ、食事の要求は五月蠅い。

でも、まあ、いないと寂しいし、可愛がっています。



1月28日(火)雨・12度

[返信・引用](#)  
[編集](#)



## 伊豆ウオーク・つづき

昼食後、御浜岬を一周。

まずは、西にある灯台を目指す。

最近、灯台も古いものは撤去されているようだ。

あまり大きなものではないが、使っているだろうか？

記念写真を撮って、さらに岬の先端に進む。

御浜岬は不思議な岬だ。

大瀬崎のように、駿河湾の荒波を防ぐような形で北に伸びている。

このおかげで、戸田漁港は守られている。

また、松・柏楨（びやくしん）の巨木が点在する。幅が100mほどの岬で海が近いのだが、よくこれだけ植物が育つか不思議である。

東には、大きな「諸口神社（もろくち）」があった。赤い鳥居の間に、達磨山が見えた。起源は古いようだ。浜に台風で打ち上げられた木材が山になっていた。撤去は、時間とお金が掛かる。

午後は、午前終了地までバスで行き、再び開始。ただ、私は足裏が痛いので

バスに乗った。講座は十数年やっているが、バスは二回目。一回は、スキー

でふくらはぎ肉離れだった。

ゾロゾロ県道を歩く皆さんを見ながらバスで戸田漁港まで行った。本日は、ここで終了。戸田・道の駅に寄って、足湯に入ったが、ぬるくてイマイチだった。

おわり



## 1月27日(月)曇・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月27日(月)05時51分33秒

土曜日は

山岳スキーで富士山でした。  
が、あっと驚く、雪がない!!!

先日、下界は冷たい雨だったので、雪に期待した。  
しかし、ニッ塚・上塚でも、スキーが出来るほどなかった。

上塚は、約2000m。下界が7度なら上界は-5度。  
この温度なら、当然、雪が期待できるが、実際はそうでなかった。

雪がなければ仕方がない、歩きで上塚まで上りました。  
途中で東京のY会のYさんに会った。  
Yさんもスキー目的で来たが、やっぱり雪がなく、歩きで来た。  
今年は残念だ。何とかして下さ~い!!!

注=Y会は、山好会。Yさんの話では、「好」をバラさないで下さい  
とのこと。バラすと、「山女子会」になってしまうから。(´艸`)





## 1月24日(金)曇・14度

[返信・引  
用編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月24日(金)05時54分43秒

つづき

舟山から上りが続く。海岸線は急激な崖が続き、道路は作れない。ショートカットの歩道があると有り難いが。舟山の以前、五月蠅かった犬はもういなかった。

坂道を行くと途中、戸田に向かう峠道がある。巡礼で使っている道だ。おそらく昔、県道ができる前は、舟山から歩けたと思うが、今はその痕跡はみられない。

途中に「碧の丘」があった。舟山・戸田方面を一望できる展望台。  
依然として風はなく温かい。明日は悪天候予報。崩れる前は、静かな  
ことが多いものだ。

上りって、御浜岬に下りる。しかし、途中11:30になったので、  
バスに乗って向かった。岬の公園で昼食。相変わらず、風は全くない。  
新年でサポーターが、ころもくしの「おしるこ」を作ってくれた。

昼食後のデザートには、サイコーの味でした。

つづく





[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 1月23日(木)雨・14度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月23日(木)06時03分31秒

昨日は、

2月度・伊豆ウオークでした。コースは、小土肥～舟山～御浜岬～戸田港。歩数＝30000、距離＝18km。天気＝曇～晴。参加＝16名。

朝方、雲が厚く、天気はハッキリしなかった。ただ、寒くはなかった。土肥に着いて、まずは、丸山城址に「土肥桜」を見に行く。昨年もこの時期、見事な桜を見たが、今回も満開で素晴らしかった。

次は土肥に戻り、萬福寺で見学。ここも満開状態で美しい。メジロがやってきて、花蜜をついばんでいた。皆さんの意見は、「昨年より良かった。イイですね～」でした。早朝だったが、ほかの見学者もゾロゾロやってくる。小土肥に向かい、ここからウオーキング。

上りで暑く、すぐ上着を脱いだ。県道R17出て更に進む。県道だが比較的交通量が少なく有難い。右手の山に「西伊豆歩道」があるが、年末山行で痛めた、私の足がイマイチで止めた。

土肥・戸田境のリサイクル・センターで休憩。まったく風がなく、温かい。なおも県道を進む。今回はおおむね舗装道で足への負担が大きい。

以前、咲いていた舟山の桜は、チラホラだった。土肥町で土肥桜を、この街道にもっと増やせば、観光に役立つと思ったが・・・。

つづく



## 1月21日(火)晴・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月21日(火)06時34分12秒

つづき

下山は楽だった。特に急な山ほど下りは楽だ。  
また、下りは上りの印象とずいぶん違う。  
当たり前だが上りは、振り返ることもないし、ほとんど下を見ている。

前三ツ頭か綺麗な尾根が続いていた。正面に常に富士山が見えていた。  
風がないところで昼食。体が限界でたべものを吐きそうになってしまった。  
完全に体は「いかまって」いた。

今回の不調の原因は、別にもあった。

1月4日、高松山ハイキング時、朝、林道を上っていたら左足裏に痛みが  
走った。捻挫とかではない。下山時も痛かった。

その後、富士山ハイキング

が続き、今回の登山。上りでずっと痛く、力が入らなかった。途中敗退は  
「クセ」になるから、兎に角、三ツ頭まで頑張った。

ネットを見たら足裏には筋があり、過労・加齢等で炎症を起こす  
「足底けん膜炎（足底筋膜炎）」病気があるとあった。

実は以前もなったことがある。44年前、北海道を2週間歩いた。  
最終日、石狩岳の帰路、長い林道を歩いたら、同じような現象になった。  
しばらく、不自由な思いをした記憶がある。

つづく







## 1月19日(日)晴・12度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月18日(土)18時17分46秒

つづき

結局、長泉発は5:00だった。入山前夜はおおむね眠れない。八ヶ岳横断道路の天女山ゲート着7:30だった。この時間は、前回の2014年と同じだから、三ツ頭に12時前に到着すれば、権現岳往復は十分可能である。

しかし、今年は、やっぱり雪が少なかった。雪山でアイゼン歩行の場合、雪が少ないと歩き難いものである。そして、決定的に睡眠不足だった。パワーが出ない。力が出なかった。

前は前三ツ頭着が10:42。今回は、遥か下で11:02だった。前回、三ツ頭着は、11:40。正午前だった。今回は、12:49で1時間遅れ。体は、バテバテ・ヘロヘロ・グチャグチャだった。

三ツ頭下で下ってきた、笛吹市のオジサンに会った。我々より2時間早い5時半に出たという。一人で三ツ頭までラッセルをしたという。手製の長いストックを持っていた。長すぎて使い難いような感じもしたが、意外と便利のようだ。年齢は私より少し若かった。

前回より1時間遅れ。これでは権現岳往復は難しい。ただ、不思議なことに  
年末山行でバテバテ・ヘロヘロだった相方は、今回絶好調だった。しかし、それでも標高差約1210mを上ってきた。ま、いいじゃないか。いいでしょう。今回も目標の頂は落とせなかった。

つづく（この日記は、18日に書きました）





[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 1月18日(土)雨・12度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月18日(土)06時44分37秒

16日(木)は、

ハツ=権現岳・三ッ頭(2580m)でした。  
コースは、八ヶ岳横断道路~天女山~前三ッ頭~三ッ頭。  
標高差=1210m。

冬の権現岳は、

1986年2月22~23日(22日は、39歳誕生日だった)

<http://susono-reihou.babyblue.jp/1-7.pdf>

2014年3月9日

<http://susono-reihou.babyblue.jp/412.pdf>

に上った。

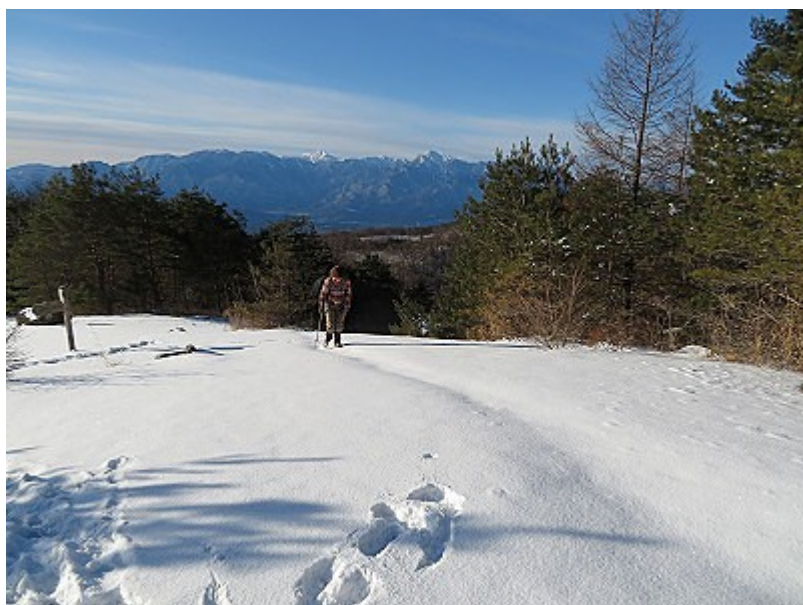
前者は、日帰りでなく山中一泊。男子2名だったが、  
厳冬期でラッセルはなく、厳しい山だった。

後者は、3月の日曜日で登山者が多く、ラッセルは楽だった。  
ただ、前夜宿泊りで、朝食が遅く、時間の制約があった。

日帰りの場合、三ッ頭到着がポイント。ここに12時前なら、  
往復2時間かかる権現岳は上れる。12時を過ぎると、下山  
時間を考えると止めたほうがよい。

また、以前も書いたが、同じ日帰りでも、長泉発と現地発では、体力に大きな違いが出てくる。今回は長泉発5：00で睡眠不足でキツイ山だった。

つづく



## 1月15日(水)曇・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月15日(水)06時43分42秒

「山々のブログ」 NO. 172

### 県連盟の行方

かつて、会員数1000名を擁した静岡県連盟は、来期500名を切る。山岳組織の会員減は、全国連盟もしかりで、とどまるところを知らない。これは、日本山岳会なども見られる。また、この現象は山岳会のみならず、他のサークルも同様のようだ。

大きな要因は、傘下団体の連盟脱退。団体の脱退は、人数が多いだけに影響が大きい。

連盟の大きな脱退は、2012年=25名、2014年=16+11名、2015年=36名、2016年=19名、2018年=35名、2019年=41名。(人数は前年度登録人数)ざっと数えて、ここ7年で約200名弱。驚くべき数字である。

脱退の理由は何か。確かに、高齢化・老齢化・新入会員減・理事を出せない、などある。

ところが、県連を脱退しても会が登山活動を停止する訳ではない。多くの場合、脱退しても活動は続けている。

つづく





## 1月14日(火)曇・9度

[返信・引用](#)  
[編集](#)  
[済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月14日(火)06時18分53秒  
いや～、

サイコーでした。感動した。ウルウルでした。  
昨日の男子高校サッカー。  
前半は、これでは厳しいかも。仮に三点目が入ったら  
完全にやられた、と思った。

しかし、前半最後に一点返し、流れが変わっただろうか。  
危ないシーンもあったが、何とかしのいだ。  
しのいでしのいで、僅かなチャンスをものにした。

同点になった。さあ、勝ち越した。攻める攻める攻める。  
反則を取ってチャンス。見事なパス。  
誰もいない。フリーだった。ジャンプ一発。

入った～あああああ！！！！  
大歓声。怒涛のスタンド。TV 前も大騒ぎ。  
その後、長い笛。

前日の女子に続き優勝。静岡サッカー王国再興。



1月12日(日)曇・10度

[返信・引  
用 編集](#)

一昨日は

洞門から上塚まで。富士山ハイキングでした。  
先日の大雨で下部はだいぶ薄くなった。  
それでも上部はベツタリ。

ただ、風は東風で、帽子を被らなくても寒くなかった。  
この暖冬は困ったものだ。  
一番ヤバいのは、私の場合畑。

野菜の調子が完全に狂っている。  
本業の方は、さらに大変だろう。

上塚に上り、ブラブラ下って終了した。







[返信・引  
用 編集  
済](#)

## 1月11日(土)晴・13度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月11日(土)08時04分39秒

今年も

たくさんの方から年賀状をいただいた。  
相変わらず、皆様、ご活躍。

一番、驚いたのが、山仲間2名から骨折報告があったことだ。  
2名とも、私より若い。  
一人の方は、薬師沢小屋手前で2m滑り落ちて、岩に右手を強打して  
止まった。小指が外に45度折れ曲がり骨折した。

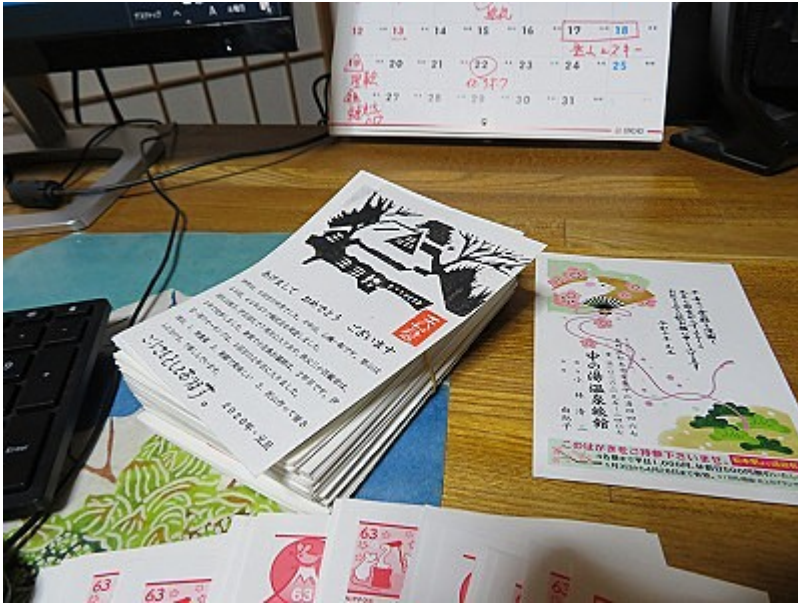
もう一人の方は、詳細はなかったが、5月だった。ボードで利尻を  
滑る方だから、おそらく、ボードでだと思う。足骨折の可能性が高いが  
足の場合、最悪であろう。

私は50年以上、登山を続けているが、骨折事故はない。  
左右のふくらはぎ肉離れは別年でやった。肉離れでも大変だったから、  
骨折は更に大変だろう。

実は、先日の年末登山の下りで、アイゼンを木の根っこに引っ掛けて  
大転倒。ほほに木の根っこがぶつかり負傷した。歩き始めて9時間。  
かなり疲れていたと思う。

事故や怪我は、ちょっとしたきっかけで起きる。また、この年齢に

なると単独登山はやめたほうが良い。単独では何も出来ない。  
今年もこころして登山に励もう。



## 1月9日(木)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月9日(木)06時23分32秒

しかし、温かい！！

ビリ堂を過ぎると、いい道になった。途中、再び新東名の工事現場があった。

現在の東名より遥かに高い場所を通るようだ。ここで小休止。皆でお茶をいただいた。後はミカンの通過しブラブラ下る。

残りミカンを少しいただいた。

下りきって山北駅に向かう。集落はすでに薄暗くなってきた。そこで驚いた。

集落の中のに「三頭の中型イノシシ」が「遊んで」いた。

生け垣を隔てウロウロしているが、我々を見ても全く動じない。

人間に慣れている。ミカンで貰ったミカンを投げたが食べなかった。集落のオバサンに聞いたら、以前から「住みついている」そうだ。追っ払っても「ムダ」のようだ。困ったものだ。最近、住民よりイノシシ・シカ・サル・タヌキ・ムジナ・ハクビシンなど、獣のが多いとか??!!

長い道を歩き、ようやく山北駅。更に打ち上げで、駅前の居酒屋

「ポップ駅前屋」に入る。なかなか感じがよい店だった。

大瓶ビール600-は安い。日本酒は、丹沢の酒「秀峰」を飲んだ。

美味しかった。いい初登山でした。ゆっくり1時間以上お邪魔し

18時の電車で帰った。

追記

5:00 朝食時、I君から携帯。「電車乗っていませんよね？」だった。

メールは前日発信したが、未達で電車時間を誤った。山北駅に先行し合流。

以後、連絡はFAXで。誕生日にやれやれでした。



## 1月7日(火)曇・11度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月7日(火)06時19分44秒

つづき

虫沢分岐を過ぎて下ると、下山コースの「ビリ堂」分岐に出る。前から数頭の犬を連れた女子が二人来た。犬は完全な衣服を着ていた。いくら冬でも、犬には迷惑だろう。

上り切れれば高松山頂上。広く大きく展望がサイコーの頂上。ただ、当日は箱根連山に雲が掛り、富士山も見えなかった。従って陽光は望めず、寒いこと寒いこと。

先発班が作ってくれたとん汁を囲んで新年の乾杯。ホット・ビアが空腹の五臓六腑に染み渡る。テーブルに美味しい食べ物も沢山上がった。

ランチは約1時間。トン汁も美味しかった。この間、誰も来なかった。4日では、まだ家にいる人が多いのだろう。満腹でいよいよ寒くなったので下山。

ビリ堂に下る。人工林の道は掘り裂かれズタズタだった。火山灰のような砂山で浸食が激しい。それでもビリ堂を過ぎると、いい道になった。

途中、再び新東名の工事現場があった。現在の東名より遥かに高い場所を通るようだ。

つづく





## 1月6日(月)晴・7度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月6日(月)06時39分26秒

つづき

立派な階段を上り、西尾根に取り付く。何故、こんな立派な階段があるか不思議。ただ、後で分かったが、「虫沢古道を守る会」なるものがあり、登山道を維持している様子だった。

物凄い急登を行く。途中、2本休憩。皆瀬川対岸に目を転じると、大野山中腹に「ポツンと一軒家」が見えた。南斜面だから陽当たりは良さそうだが、車がないと生活は出来ないだろう。

下部は杉の人工林が続く。枝打ちの残骸が多かった。残骸の枝を自身の片足で踏んで、片足が引っかかる。こんな事が多く、実に歩き難い。

ようやく標高点・657mに達した。周りは自然林に変わり明るい日差しが届いていた。79歳のSちゃんが、「まだか、まだか」と連発する。昼食の時間はすでに過ぎ、全員空腹を感じていた。

ここで「トン汁班」の3名に先行して貰う。このままでは全員「玉碎」するので、頂上に早着し、トン汁を作って貰う作戦。3名はガシガシ上って行った。このようなことが出来ることは実に有難い。

頂上手前に北に下る道標があった。この道は、前述の虫沢方面に下っている。下のほうで、チェーンソーの音が響く。4日からもう仕事をしているのだろうか。

つづく





## 1月5日(日)晴・13度

[返信・引  
用 編集  
済](#)

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月5日(日)08時19分2秒

昨日は

初登山で、西丹沢・高松山西尾根でした。  
標高差が約700mの山だから、時間は掛からないだろうで  
下土狩駅発8:00とノンビリだった。

天気はやや曇りでハッキリしない。参加は8名。最高齢はSさんで  
11月には80歳になる。若手はこの日、50歳の誕生日の1君。  
女性は2名。皆さん、今年も元気イッパイだ。

山北駅発9:13。北に歩を進め、皆瀬川に沿って歩く。途中、  
第二東名の工事が凄かった。人遠(ひとと)集落下まで来ると  
道路わきに数十台の車。その先の林道崖には皆瀬川に降りるロープ  
が張ってあった。河原を覗くと、先ほどの車の人であろう方、30名  
ほどが何やらやっていた。

こんな寒い新年にキャンプでもあるまい。エールを送ると、返事が来た。  
林道を進むと向こうから若い衆が何人か来る。この時間に何だろう。  
聞けば、先ほど河原にいた人たちと合流するらしい。理由は、「皆瀬川  
にあるサンゴ化石の保守」といった。

ネットをみたら、確かに化石があるようだ。

<http://s-ok.my.coocan.jp/eco/091011minase/091011minase.htm>



西尾根取りつきは、人遠橋すぐ先の右手だった。手すりがある、立派な階段があった。

つづく



1月1日(水)晴・15度

投稿者:たかチャン 投稿日:2020年1月1日(水)06時23分32秒

あけまして  
おめでとう  
ございます

本年もよろしくお願いたします。

2020年  
元旦



あけまして おめでとう ございます

昨年は、6回目の年男でした。今年は、心機一転です。登山は49回。44年ぶりで幌尻岳を周遊しました。

巡礼は毎月、伊豆巡礼で7周目に入ります。秩父三十四観音は、3年で完歩しました。新規で小豆島お遍路は、2年目です。伊豆一周ウオーキングは、3回目の2年目に入りました。

畑は、1. 無農薬 2. 新鮮で美味しい 3. 沢山作って皆さんに分ける。で楽しんでいます。

2020年・元旦